

広島県史年表(昭和戦前) 1927年(昭和2)~1945年(昭和20)

1927 昭和2 丁卯

- 1- 4 神田農民同盟解消し、日本農民組合広島県联合会結成。37
- 1- 9 立憲政友会呉分会発会式挙行〔中国 1. 10〕。
- 1-12 三部制廃止県民大会、呉市で開催〔中国 1. 13〕。
- 1-17 日農豊北支部設立〔中国 1. 21〕。
- 1-25 『郡役所廃止記念』(高田郡)刊行。147
- 1-30 三部制維持広島市民大会、広島市寿座で開催。2-15, 3-24にも〔中国 1. 31, 朝日 2. 16, 3. 25〕。
- 2- 9 沢原銀行、藤田銀行と合併し解散。28
- 2- 9 融和事業委員会規則制定。地方改善委員会を融和事業委員会に改組〔告示 66〕。
- 2-11 広島市尾長町で協和会発会式挙行〔芸日 2. 12〕。
- 2-13 三部制廃止期成同盟会主催第2回県民大会、尾道市で開催〔芸日 2. 14〕。
- 2-16 瀬戸田塩田寄子労働組合創立大会、瀬戸田町旭座で開催。100人出席。722
- 2-18 労働農民党広島県支部結成。37
- 2-25 沼隈郡葦戸村村民大会、村費の節減、芦田川改修に伴う悪水路改修等につき決議〔朝日 3. 1〕。
- 3- 1 福山銀行、第一合同銀行と合併し解散。28
- 3- 1 全日本農民組合結成。
- 3- 1 片山病撲滅のため深安郡で4万俵の石灰をまくことを決定〔朝日 3. 3〕。
- 3- 3 日農比婆郡小奴可村支部創立大会開催。600余人参集〔芸日 3. 6〕。
- 3- 6 日本農民組合総同盟結成。
- 3-10 社会民衆党広島支部結成大会、広島市薬研堀禅昌寺で開催〔中国 3. 11〕。
- 3-12 双三郡吉舎町で窃盗犯追跡の警察官2人殺害される(金米糖事件)。21
- 3-15 渡辺銀行等休業、金融恐慌始まる。28
- 3-17 比婆郡美古登村で永小作権・小作料永久減額要求の争議起こる。8-7 調停成立。766
- 3-25 衆議院、広島県三部制廃止に関する建議を議決。328
- 3-25 衆議院、尾道港第2種重要港湾指定に関する建議を議決。8
- 3-25 衆議院、広島県に競馬場設置に関する建議を議決。8
- 3-27 労働農民党県支部、広島無産市民大会を開催。600人参加〔芸日 3. 29〕。
- 3-28 私立高田中学院設立(県立白木高校の前身)。959
- 3-31 芸陽実科高等女学校、豊田郡中野村に設置(現県立大崎高校)。959
- 3-31 日農美古登村支部結成、高津正道講演。37
- 3- 広島電気と可部町太田川漁業組合の水路争議解決〔中国 3. 12〕。
- 4- 1 尾道市に都市計画法を適用〔勅令 35〕。
- 4- 1 広島県自治講習所規則制定。市町村の事務に従事する者に必要な学科・実務を講習〔告示 157〕。5-1~6-30 第1期講習〔告示 169〕。
- 4- 1 広島県醸造試験場清酒醸造場、賀茂郡西条町に設置〔告示 75〕。
- 4- 1 門司鉄道局所管のもとに広島に運輸事務所設置。26
- 4- 1 芸備銀行、広第一銀行の営業を譲受。28
- 4- 1 呉銀行、音戸銀行と合併し、(新)呉銀行設立。28
- 4- 1 広島社会協会経営の中央・東松原・宇品の3職業紹介所を広島市に移管(うち宇品職業紹介所を廃止)。825
- 4- 1 上下農学校、県へ移管され、広島県立上下農学校と改称(現上下高校)〔告示 202〕。
- 4- 6 第3回広島県三部制撤廃県民大会、福山市公会堂で開催〔朝日 4. 7〕。
- 4-10 芸南電気軌道呉本通9丁目~呉越間開業。417

- 4-10 比婆郡東城町で小作人 13 人、小作料永久 3 割減を要求し争議。'28-1-永久 1 割減で解決〔中国'28.1.14〕。
- 4-13 備後新政聯盟、福山市公会堂で尾崎行雄を迎え発会式举行〔芸日 4.7〕。
- 4-17 呉二河競技場で第 1 回関西陸上競技大会開催。30
- 4-18 台湾銀行休業、全国で銀行取付け起こる。
- 4-18 近江銀行広島支店休業。-19 芦品銀行、-20 広島産業銀行各休業。28
- 4-19 広島県の三部制廃止が確定〔内務省令 27〕。'31-4-1 施行。218
- 4-20 田中義一内閣成立。
- 4-21 県知事、金融恐慌に際し言動を慎しみ軽挙妄動しないよう諭告〔諭告 2〕。
- 4-21 広島市内および近郊銀行本支店、一斉取付けにあう。28
- 4-22 緊急勅令で 3 週間のモラトリアム実施。
- 4-22 広島株式取引所、市場立会休止（～5-12）。667
- 4-22 県内銀行本支店、恐慌鎮静のため一斉休業（～23）。28
- 4-25 備後織物業界、銀行取付の影響を受け半休実行と給料 2 割減を協定。603
- 4-25 豊田郡南生口村光明坊塔婆・沼隈郡鞆町安国寺釈迦堂を特別保護建造物に指定〔文部省告示 218〕。
- 4- 県内初の保母養成機関新庄保母養成所、山県郡新庄村に設置。86
- 5- 1 第 8 回メーデー。広島市で 30 人、呉市で 1000 人、因島で 280 人デモ行進、世羅郡神田村で 200 人演説会開催。37
- 5- 8 広島県聯合青年団、発団式を県立広島一中で開催〔朝日 4.14〕。
- 5- 9 広島商工会議所職業紹介所開設。825
- 5-18 軀锚釘会社の労働者 20 人、5 分賃下げ反対争議。アナ系大挙 29 人支援、警官を刺傷し、6-9 送検される。37
- 5-20 中国製紙（広島市吉島町）で組合結成の中心人物の解雇を発端に争議（～11-1）。総同盟の支援をうけ 5 か月余の長期ストライキ決行。争議団側惨敗。37
- 5-28 第 1 次山東出兵。
- 6- 1 立憲民政党結成。
- 6- 1 広島高校同人雑誌『移動風景』創刊。1057
- 6- 3 日本放送協会中国支部設立。*
- 6-13 勝田登一、呉市長に就任。295
- 6-14 御調郡向島西村八幡神社、県社に列格〔告示 404〕。
- 6-18 松田協輔、尾道市長に就任。133
- 6-28 両備鉄道福山～府中間電化。29
- 6-28 労働農民党広島支部を中心とする広島借家人同盟結成委員会、家賃値下運動のビラを撒布（～30）〔芸日 7.2〕。
- 7- 5 山陽燐寸株式会社で労働者 15 人、臨時休業手当・退職手当・工場法厳正実施などを要求し争議。-21 スト突入。評議会指導。-30 工場法厳正実施などで妥結。37
- 7- 8 日農芸北支部結成大会開催。37
- 7-13 政友会広島支部、普選講座を開講〔中国 7.8〕。
- 7-16 全国水平社解放聯盟広島支部結成〔中国 7.18〕。
- 7-25 労友倶楽部、呉市カフェー・ブラジルで発会式を举行〔芸日 7.27〕。
- 7-27 鴻池銀行、呉商工銀行を買収。85
- 7-27 有限責任広島県海外移住組合設立。819
- 8- 1 陸軍造兵廠火工廠忠海派出所設置〔陸軍省達 36〕。
- 8- 1 佐伯郡大柿村に町制施行〔告示 462〕。
- 8-12 宇品港を食肉輸移入港に指定。9-11 施行〔内務省告示 405〕。
- 8-22 立憲民政党広島県支部、若槻礼二郎らを迎え、広島市寿座で発会式を举行〔朝日 8.23〕。
- 8-25 広島市に赤痢流行。846

- 9- 1 広島合同運送株式会社設立。*
- 9- 1 芸備銀行，呉第一銀行の営業を譲受。28
- 9- 1 広島県立福山中学校，広島県立福山誠之館中学校と改称〔告示 590〕。
- 9- 3 民政党尾道分会発会式挙行〔芸日 9. 1〕。
- 9- 7 中野有光，福山市長に就任。343
- 9- 8 広島市修道中学にプール完工。30
- 9-16 広島黒人社，大杉栄追悼会を開催。37
- 9- 9 社会民衆党因島支部結成〔芸日 9. 12〕。
- 9-17 東洋コルク工業，東洋工業株式会社と改称。646
- 9-19 広島県水平社，広島市尾長町説教場で内務省差別パンフレット糾弾演説会を開催。-20
福島町でも〔芸日 9. 21〕。
- 9-23 県醸造試験場附属三津酒造講習所，賀茂郡三津町に設置〔告示 645〕。
- 9-25 普選第 1 回県会議員選挙執行。政友 19，民政 21，その他 11。呉市で独立民衆党員が
当選。21
- 9-30 『世羅郡誌』刊行。152
- 10- 1 比婆郡東城町で，広島・岡山両県の役肉用牛の改良研究調査および共進会を開催（～
4）。これを機に中国和牛研究会発足。581
- 10- 7 中国地方小作調停事務連絡第 1 回聯合協議会，県庁で開催〔芸日 9. 22〕。
- 10-14 株式会社草津魚市場設立。'28-4-16 認可。50
- 10-17 芸南電気軌道呉越～小倉間開業。10-28 小倉～先小倉間開業。417
- 10-18 臨時県会開会（～24）。役員選挙をめぐり混乱のまま会期満了。14
- 10-18 竹原鉄道株式会社発起人水戸幾七ら 7 人，賀茂郡竹原町～同郡莊野村間の鉄道敷設
願を申請。'31-9-28 却下。527
- 10-21 広島電気，太田川水力電気（未開業）を譲受。29
- 10-22 県内の銀行合同に関する会合を日本銀行広島支店で開催〔中国 10. 23〕。
- 10-26 臨時県会開会（～11. 1）。議場混乱の末，肥田辰之助（安芸郡）を議長に選出。12-1
県知事，告示第 939 号をもって取り消す。14
- 10-31 広島電気，熊見発電所（水力 6700kw）運転開始。29
- 10- 広島高等学校に社会科学研究会結成。44
- 11- 2 福山信用組合設立（現福山信用金庫）。28
- 11- 3 県北水平社，三次町で創立記念演説会開催。769
- 11- 4 尾道港を第 2 種重要港湾に指定〔内務省告示 483〕。
- 11- 7 末松借一郎，退任し，横山助成（前石川県知事），県知事に就任。9
- 11-13 総同盟向島造船労働組合結成。37
- 11-21 比婆郡小奴可村で小作料減額を要求し争議。12-23 本年 2 割減，10 年間 1 割減の調
停成立。37
- 12- 3 第 6 回全国水平社大会，広島市で開催。770
- 12- 5 双三郡八幡村農民救済同盟会，県会に政費節約を陳情。334
- 12-10 尾道港，尾道糸崎港と改称し開港に指定〔勅令 351・352〕。
- 12-10 糸崎税関支署，尾道糸崎税関支署と改称〔勅令 350〕。
- 12-15 臨時県会開会（～21）。政友・民政両派協調して役員選挙を行い，望月乙也（豊田郡），
第 26 代議長に当選。三部制即時撤廃の意見書を郡部議員のみで可決。14
- 12-16 輸出柑橘検査規則制定〔県令 86〕。
- 12-17 広島電気坂発電所（汽力 2 万 5000kw）運転開始。1 万 2500kw，3600 回転発電機を使用。
29
- 12-20 『神石郡誌』刊行。156
- 12-24 日農東城町支部結成。37
- 12-25 『郡役所廃止記念安佐郡誌』刊行。145

12-27 通常県会開会（～'28-1-25）。3次にわたる役員選挙の臨時会の関係から招集が遅れ、会期は翌年にまたがる。道路改良事業費（'28年度より10か年継続、1006万円余）可決。

14

1928 昭和3 戊辰

1- 1 広島・尾道・呉の各商業会議所，商工会議所と改称。673

1- 4 日本農民組合（豊田郡）榎梨村支部幹部，対村当局交渉を行い課税の公平を要求〔芸日 1. 11〕。

1- 9 呉工廠，工廠内での選挙運動禁止を徹底〔芸日 2. 26〕。

1-12 県農会・県農政協会の主催により，広島市で県農業者大会開催。-13 双三郡，-14 福山市でも。31

1-15 日本メソヂスト広島中央教会堂（広島市上流川町）建築工事竣成し，献堂式举行

1-17 旧大本営跡，第5師団管理から県管理となる。14

1-18 郡市町村農会長大会を広島市公会堂で開催。米穀価格公定制度・米穀法運用などについて決議〔芸日 1. 19〕。31

1-21 立憲芸南民衆党，広工僚会を中心に結党式举行。710

1-24 呉市水平社結成〔芸日 1. 26〕。

2- 5 芦品郡府中町青年新興会創立。選挙権の公正行使，立憲政治の確立を標榜〔芸日 2. 8〕。

2- 6 広島放送局設置認可〔通信省告示 272〕。

2- 9 労働農民党広島支部，広島市薬研堀善祥寺で時局批判演説会を開催。佐竹新市・上岡利夫・高津正道ら演説〔芸日 2. 11〕。

2-11 修養団呉工廠支部発会式举行〔朝日 2. 12〕。

2-14 広島電気に滝山川水利使用許可。29

2-20 第16回衆議院議員総選挙執行（最初の普通選挙）。これより21回まで3選挙区定員13名。1区藤田若水・森保祐昌（以上民政）・岸田正記・名川侃市（以上政友），2区山道襄一・宮原幸三郎（以上民政）・望月圭介・肥田琢司（以上政友），3区作田高太郎・横山金太郎（以上民政）・嶋居哲・宮沢裕・小山寛蔵（以上政友）当選。346

2-26 総同盟福山労働組合発会式，福山市公会堂で举行。組合加入者，福島紡績福山工場女子労働者を中心に500人。37

3- 3 広島女子専門学校設立認可。4-1 開校〔告示 154〕。

3- 6 日本農民組合総同盟川口支部結成。37

3- 8 広島県教化事業联合会発会式举行〔中国 3. 9〕。

3-11 望月圭介の後援会広島県望月会結成〔中国 3. 13〕。

3-12 総同盟因島労働組合により因島消費購買組合相愛社開店。40

3-14 広島陸軍幼年学校廃校式举行。-31 廃校〔朝日 3. 14〕。

3-15 日本共産党員大検挙（3. 15 事件）。県内で約20人検挙，1週間後全員釈放。37

3-23 立憲民政党広島県支部，広島・呉両市で現内閣倒壊演説会を開催。-24 福山・尾道両市でも〔芸日 3. 25〕。

3-28 呉市宮魚市場の落成式，海岸通2丁目の新築市場で举行〔朝日 3. 29〕。

3-28 西城町立実科高等女学校設置認可〔文部省告示 208〕。4-1 開校（のち西城商業高校）。

1001

3-30 労働農民党呉支部，大山郁夫らを迎え創立記念の時局批判演説会を開催〔芸日 3. 31〕。

4- 1 安芸郡吉浦町・警固屋町，賀茂郡阿賀町を呉市に編入〔告示 199〕。

4- 1 山県郡山廻村を美和村と改称〔告示 169〕。

4- 1 県立八重実業加計分校独立し，広島県立加計実業学校開校（現加計高校）。深安実業学校・双三郡実践農学校，県へ移管され，広島県立深安実業学校（のち神辺工業高校）・同双三実業学校（のち三次工業高校）開校〔告示 155・273・274〕。

- 4- 3 総同盟福山労働組合、労働問題大演説会を福山市公会堂で開催。聴衆 1500 人。西尾末広ら演説。40
- 4- 8 民政党呉分会発会式挙行〔朝日 4. 10〕。
- 4-10 日本商工会議所設立。
- 4-10 労働農民党・日本労働組合評議会・全日本無産青年同盟に解散命令。
- 4-12 財団法人竹原高等女学校、県へ移管され、広島県立竹原高等女学校開校（現竹原高校）〔告示 233〕。
- 4-13 旧労働農民党広島支部員、演説会を広島市横町で開催し、労働農民党解散命令に抗議〔芸日 4. 15〕。
- 4-13 芦品郡府中町水平社発会式挙行〔芸日 4. 17〕。
- 4-14 広島市役所新庁舎竣工式挙行〔中国 4. 15〕。
- 4-15 旧労働農民党員 24 人、広島市で会合し、新労農政党広島県組織準備委員会を結成〔芸日 4. 17〕。
- 4-19 第 2 次山東出兵。
- 4-20 山口銀行呉支店開設。'33-12-9 三和銀行呉支店となる。28
- 4-29 広島県水平社第 6 回大会開催。規約を制定、広島県水平社联合会と改称。779
- 4- 全県統一の和牛登録制度発足。579
- 5- 1 第 9 回メーデー。福山で 700 人、因島で 100 人、呉で 100 人、尾道で 130 人デモ行進。40
- 5- 5 広島県産婆联合会創立総会開会。846
- 5- 6 広島県看護婦联合会発会。846
- 5-12 広島児童愛護会設立。825
- 5-13 広島高等師範学校の中国人留学生、山東出兵反対のビラを広島市内で撒布〔朝日 5. 15〕。
- 5-14 中国山東方面に出動の第 3 師団先発部隊、宇品から出発〔朝日 5. 15〕。
- 5-15 日本農民組合総同盟福山支部創立。738
- 5-17 広島産業銀行破産。28
- 5-17 福島紡績福山工場で総同盟福山労組加盟労働者 6 人の解雇取消しを要求し争議。6-20 2 人復職、4 人への解雇手当支給などで妥結。40
- 5-25 横山助成、警保局長に転じ、岸本正雄（前岡山県知事）、県知事に就任。9
- 5-27 全国農民組合結成。
- 5-29 鞆信用組合設立（現鞆信用金庫）。28
- 5-29 県知事、学生・生徒の思想善導につき訓令〔訓令 20〕。
- 5- 山陽紡績株式会社、関西紡績広島工場跡地に設立。417
- 6- 5 県下一斉に交通安全デーを実施（～7）〔朝日 5. 24〕。
- 6- 6 芦田川改修工事による土地買収につき沼隈郡郷分村の地主 100 余人、買収地価引上げを決議〔朝日 6. 8〕。
- 6-11 広島港湾修築河川改修期成同盟会創立総会、広島高等工業講堂で開催〔朝日 6. 9〕。
- 6-18 広島市都市計画課、福島町 4 万坪の区画整理に着手〔朝日 6. 20〕。
- 6-23 呉市で県下魚市場仲買人組合联合会結成。口銭増額運動を展開〔中国 6. 25〕。
- 6-24 県西部を中心に豪雨。死者 8 人、家屋全壊 19 戸、同半壊 60 戸、同流失 61 戸、同浸水 4401 戸。42
- 6-26 県知事、御大典を前に融和促進につき諭告〔諭告 1〕。
- 6-29 太田川改修期成同盟会結成。541
- 6- 広島県社会事業联合会、広島県社会事業協会と改称。825
- 7- 6 日本放送協会中国支部広島放送局開局。ラジオ放送開始。1023
- 7-15 佐伯郡政友倶楽部発会式挙行〔中国 7. 16〕。
- 7-20 中国山東方面へ出動していた第 3 師団の第 1 陣、宇品に帰還〔朝日 7. 21〕。

- 7-23 警察部に特別高等課を設置。21
- 7-26 呉市営魚市場で仲買組合が問屋口銭の値上げを要求し、不買同盟を断行（～27）〔朝日 7.27〕。
- 7-28 アムステルダムで第9回オリンピック開催（～8-12）。三段跳びで、安芸郡海田市町出身の織田幹雄、金メダルを獲得。30
- 8- 8 広島県交通安全協会発会式挙行〔朝日 8.9〕。
- 8-15 備後電気鉄道株式会社発起人永井義尚ら 319 人、深安郡川北村～比婆郡東城町間と神石郡新坂村～甲奴郡上下町間の鉄道敷設願を申請。'31-8-4 却下。527
- 8-23 芸備銀行、持株会社昭和興信株式会社を設立。28
- 8-28 民政党呉分会、呉市公会堂建設反対演説会を開催〔芸日 8.25〕。
- 8-30 向島船渠で下請職工 20 人の解雇に反対し総同盟向島造船労働組合加盟の本工 109 人、同情スト。9-8 妥結〔中国 9.2, 9〕。
- 8- 広島市・呉市などで電気料金値下げ運動起こる。11-1 広島電気、電力料金値下げ。
- 29
- 9- 1 呉市内の菓子・金物・石炭等各種組合で県内に率先してメートル法を採用〔朝日 9.1〕。
- 9- 5 安芸郡仁保村の広島市合併反対運動員 600 人、村役場へ押寄せる〔中国 9.6〕。
- 9-10 福山市に都市計画法を適用〔勅令 225〕。
- 9-10 民憲党広島支部結成〔中国 9.12〕。
- 9-20 呉洋無尽株式会社設立。608
- 9-21 広島県方面委員規程制定。県方面委員制度発足〔告示 526〕。
- 9-23 総同盟中国紡織労働組合結成大会、福山市公会堂で開催。38
- 9-26 呉市亀山神社で火災。拝殿と中殿を全焼〔朝日 9.27〕。
- 10- 3 県知事、県内の神職一同を招集し、氏子総代会奨励につき指示。876
- 10- 9 呉第一～第十一方面・福山第一～第四方面・府中方面・糸崎方面・三次方面の各方面地区を定め、方面委員を設置〔告示 557〕。
- 10-13 広島乗合自動車株式会社、広島市内乗合自動車の運行を開始。50
- 10-13 広島県聯合青年団発会式、県立広島一中講堂で挙行〔朝日 10.14〕。
- 10-19 芦品郡府中町の郷社甘南備神社県社に列格〔告示 576〕。
- 10- 林芙美子、『女人芸術』に「放浪記」を発表（～'30-10-）。83
- 10- 児玉希望の「盛秋」、帝展で特選となる。148
- 11- 1 安芸郡船越村に町制施行〔告示 573〕。
- 11- 4 産業組合中央会県支会、広島市で産業組合成績品展覧会開催（～7）。36
- 11- 7 深安郡吉津村の村社延広八幡神社、同じく郷社野上八幡神社県社に列格〔告示 606・607〕。
- 11- 8 通常県会開会（～12-7）。財政調査会設置の意見書を可決。14
- 11- 9 広浜鉄道三篠町～古市間で電車の運転を開始。26
- 11-10 天皇即位式。
- 11-10 芦品郡網引村吉備津神社、国幣小社に列格〔内務省告示 302〕。
- 11-21 太田川を河川法第 1 条により重要河川と認定。12-10 施行〔内務省告示 312〕。
- 11-28 福島紡績福山工場で待遇改善を要求しストライキ。12-12 福山市長の調停により 32 人解雇等で妥結〔芸日 11.29, 12.14〕。
- 11-30 安芸郡下瀬野村の大櫨および広島市国泰寺の樟を天然記念物に指定〔内務省告示 314〕。
- 12- 3 芸備銀行、愛媛・西条・伊予三島の 3 銀行を合併し、資本金を 1820 万円に増資、9 支店 23 出張所を設置。28
- 12- 4 広島市寿座で民政党中国四国大会開催〔中国 12.5〕。
- 12-16 呉市西原町に講道館柔道修行所呉弘道館竣工〔朝日 12.16〕。
- 12-20 日本大衆党結成。

- 12-22 新労働農民党結成大会。-24 解散命令。
- 12-25 日本労働組合全国協議会第1回全国会議開催。
- 12-27 呉市、呉日日新聞社作詞募集、藤井清水作曲の呉市歌を制定。1041
- 12-31 芸備銀行、可部銀行の営業を譲受。28

1929 (昭和4)[己巳]

- 1- 1 豊田郡佐江崎村に町制施行 [’28年告示636]。
- 1- 1 賀茂郡内海跡村、安登村と改称 [告示639]。
- 1- 8 安芸郡仁保村淵崎・向洋両海苔組合、帝人広島工場の排液による海苔の被害につき、工場側と交渉。-14 妥協成立し覚書交換 [芸日1.15]。
- 1-11 工場取締規則制定 [県令1]。
- 1-16 広島乗合自動車株式会社で運転手46人、待遇改善等を要求しストライキ(〜17) [芸日1.17, 19]。
- 1-19 比婆郡東城町で小作争議。2-6 小作官の調停により小作料の永久1割減等で解決 [芸日1.29]。
- 1-21 広島市社会課の勧奨により広島鮮友会、広島市役所で発会式を挙行 [朝日1.22]。2-2 第1回総会で旧鮮友会の解散を確認 [芸日2.5]。
- 1-25 県知事、市町村および学校に対し女子青年団体の振興を図るよう促す [訓令6]。
- 1-27 社会民衆党因島支部、知事・県会議長へ自転車税増税反対陳情書を送付 [芸日2.3]。
- 1- 宮島電車の沿線地価、電車敷設前に比して最高14〜5倍に昂騰 [朝日1.13]。
- 2- 2 佐竹新市ら旧労働農民党合法派により、中国無産党を結成。701
- 2- 5 尾道港改修促進市民大会、尾道市偕楽座で開催 [朝日2.7]。
- 2- 6 広島市で中国無産党宣伝演説会開催。上岡利夫・高橋武夫・高津正道ら演説 [山陽2.8]。
- 2-26 比婆郡小奴可村小作争議、深瀬小作官の調停により前年小作料2割減・将来6か年間の小作契約締結で解決 [芸日2.27]。
- 2- 政治的自由獲得労農同盟広島支部結成。21
- 3- 1 深安郡川北村・川南村を廃し、神辺町設置 [告示107]。
- 3- 1 尾道市内防地奥に改築中の伝染病院竣成し、市立尾道病院と改称 [朝日3.3]。
- 3- 4 臨時県会開会(〜10)。前年の通常県会で未議了となった’29年度予算を再議。尾道港湾修築費473万余円(’29年度より13か年継続)を可決。14
- 3- 5 県下自転車組合、広島市に自転車税増税反対運動本部を設置 [芸日3.7]。
- 3-16 世羅郡東大田村郷社和理比売神社、県社に列格 [告示168]。
- 3-20 広島市主催昭和産業博覧会、西練兵場・比治山公園・元宇品町で開催(〜5-13)。552
- 3-30 『佐伯郡制誌』刊行。143
- 3- 旧労働農民党员岡田重夫ら、三原町で社会科学研究会結成。37
- 3- 県北水平社執行委員長原口幸一、陸軍参謀本部地図の差別地名を摘発、以後全国的な大闘争に発展。779
- 4- 1 安芸郡仁保村・矢賀村・牛田村、安佐郡三篠町、佐伯郡己斐町・古田村・草津町を広島市に編入 [告示188]。
- 4- 1 佐伯郡油見村を大竹町に編入 [告示110]。
- 4- 1 佐伯郡津田村に町制施行 [告示7]。
- 4- 1 佐伯郡友原村・三和村を合併し、友和村設置 [告示178]。
- 4- 1 高田郡坂村・戸島村・長田村を合併し、向原村設置 [告示146]。
- 4- 1 広島電気、呉海軍工廠に大口電力(4000kw)供給開始。
- 4- 1 広島文理科大学、広島高等師範学校所在地に設置。4-22 入学宣誓式。44
- 4- 1 呉市立中学校、県へ移管され、広島県立呉第二中学校と改称(現呉宮原高校) [告示

- 200)。広島県立呉中学校，広島県立呉第一中学校と改称〔告示 199〕。
- 4- 1 福島紡績福山工場，7月1日よりの幼年工・女工の深夜業廃止を繰り上げて実施〔朝日 2. 19〕。
- 4- 7 全国新聞記者大会，広島市会議事堂で開催〔芸日 4. 8〕。
- 4- 8 第4回浅海利用研究大会・第3回帝国魚田振興大会・第6回全国漁業組合大会，広島市偕行社新講堂で開催（～10）〔朝日 4. 9〕。
- 4- 9 婦人公民権獲得演説会，福山市で開催。市川房枝・金子しげりら演説〔芸日 4. 9〕。
- 4-12 帝国在郷軍人会第5師管聯合支部総会，広島市東練兵場で開催。閑院宮載仁親王列席〔朝日 3. 27〕。
- 4-25 大日本消防協会広島県支部発会式挙行〔朝日 4. 26〕。
- 4-30 県特高課，呉海工会の労働祭示威行列を禁止〔朝日 5. 2〕。
- 5- 1 広島電気，呉市の電気軌道を芸南電気軌道に譲渡。29
- 5- 1 第10回メーデー。福山市で200人，尾道市で100人，因島で200人デモ行進。呉市・広島市で演説会・座談会を開催。37
- 5- 5 広島県聯合女子青年団発団式および第1回大会，広島市袋町小学校講堂で開催〔朝日 5. 7〕。
- 5-11 備後新人同盟発会式，福山市公会堂で開催〔朝日 5. 12〕。
- 5-20 呉海工会・広工僚会，芸南電気軌道に電車賃値下要求書を提出し，割引回数券発行を要求。705
- 5-24 民政党尾道分会，現内閣打倒演説会を同市信楽座で開催。-25 広島市でも〔朝日 5. 25〕。
- 5-27 県内7か所の煙草耕作組合により広島県煙草耕作組合聯合会結成〔朝日 5. 29〕。
- 5- 広島県工場懇話会，電動力値下げ運動開始を決議〔中国 5. 10〕。
- 6- 7 広島県嘱託産婆規程制定。県の嘱託産婆が貧困妊産婦を無料で診察〔告示 350〕。
- 6-10 広島県臨時行政財政調査会規則制定〔告示 380〕。
- 6-11 音戸町・三原町・鞆町に方面委員を設置〔告示 377〕。
- 6-20 福山市で入江浚渫促進期成同盟会結成。-29 市民大会を開催〔朝日 6. 22, 27〕。
- 6-20 深安郡中津原組合村下岩成で土地返還に発端し小作争議。765
- 6-25 県学務部長，呉鎮守府に活動写真班新設につき，軍事思想普及のため活動写真の貸出を受けるよう市町村長に通牒〔社兵 12136〕。
- 6-28 賀茂郡三津町に広島県醸造試験場附属三津酒造講習所開設〔告示 416〕。
- 6-30 干天続きのため，福山・芦品・沼隈・深安の1市3郡連合で篝火を焚いて雨乞いをする〔朝日 6. 27〕。
- 7- 2 浜口雄幸内閣成立。
- 7- 5 岸本正雄，退任し，川淵洽馬（元福島県知事），県知事に就任。9
- 7- 6 宇品学園（広島市宇品御幸通7丁目），落成式挙行。65
- 7- 7 県内ではじめて広島西警察署に交通巡査を置く。これより緑の腕章，短剣姿の交通巡査が街頭に立つ。21
- 7- 7 社会民衆党福山支部，入江浚渫反対市民大会を開催〔芸日 7. 10〕。
- 7- 7 広島仏教女子青年会，発会式挙行。891
- 7-13 民政党呉分会，吾党内閣祝賀会を開催〔芸日 7. 7〕。
- 7-14 瀬戸内港湾従業員組合，尾道商工会議所で発会式を挙行〔朝日 7. 16〕。
- 7-18 広島市内の司厨士400余人により西日本司厨士同盟結成〔芸日 7. 19〕。
- 7-20 広浜鉄道敷設促進期成同盟会，広島～浜田間陰陽連絡鉄道が新内閣により無期延期となったため，沿線の町民大会を山県郡加計町で開催〔朝日 7. 18〕。
- 7-21 独立民衆党・立憲芸南民衆党，社会民衆党に合流し，社会民衆党呉地方支部結成〔芸日 7. 23〕。
- 8- 7 県知事，財政整理のため地方債を制限する方針を示す〔訓令 43〕。
- 8-10 宮島細工同業組合，設置認可〔告示 606〕。

- 8-15 産業功労者として三津杜氏組合を選奨。176
- 8-15 第5師団戦史交話会，広島偕行社で発会式挙行。451
- 8-20 広島商業，第15回全国中等学校優勝野球大会で優勝〔朝日8.21〕。
- 8-30 福山商工会議所，設立認可。685
- 8- 大阪鉄工所，向島船渠の株式を過半数買収し，その経営に乗り出す。643
- 8- 干魃により県南東部を中心に1万2763町歩の田畑被害。42
- 8- 呉工廠，能率増進委員会を設け役付職工を選んで委員に任命。722
- 9- 1 公私経済緊縮地方委員会設置（勤儉奨励地方委員会廃止）〔告示642〕。
- 9- 2 広島市実費診療所西診療所，堺町に開設。-20 荒神町に東診療所開設〔中国8.31〕。
- 65
- 9- 5 第1回公私経済緊縮県主催講演会，福山市公会堂で開催。以後各地で開催〔社時8-5〕。
- 9- 7 佐竹新市ら，広島合同労働組合発会式を広島市三篠町横川青年会館で挙行。
- 9-10 中央教化団体联合会設立。
- 9-16 労働組合全国同盟結成。
- 9-17 県農業倉庫協会設立協議会，県庁で開催〔朝日9.19〕。
- 9-25 呉軍港麗女島にコレラの検疫船呉丸を設置〔朝日9.27〕。
- 9-28 県畜産組合联合会主催第1回役馬共進会，広島市東練兵場で開催（～30）〔朝日9.12〕。
- 9-29 京都労農大衆党本部で労農大衆党・中国無産党などの6党が無産政党戦線統一協議会を結成。722
- 9-30 県知事，教化総動員運動ならびに公私経済緊縮運動に関し論告〔論告1〕。
- 9- 県内に嗜眠性脳炎が流行し，患者202人，うち死亡107人に達する〔朝日9.15〕。
- 9- 賀茂郡原村に県内初のゴルフ場完成。30
- 10- 1 百貨店福屋，広島市八丁堀で開業。652
- 10- 3 三次実業銀行休業。28
- 10- 7 広島県産業組合青年聯盟結成。36
- 10-12 広島県工業試験場主催工業品展覧会，三次町で開催（～13）〔朝日10.15〕。
- 10-16 山陽高等女学校設置認可〔文部省告示334〕。'30-4-7 第1回入学式。1011
- 10-23 末元玄聡・玖島三ーら，治安維持法違反により検挙される。
- 10-24 世界恐慌始まる。
- 10-25 福山市南小学校講堂で洋画展を開催（～27）。会期中福山絵画人の集い，ぶらんだるじゃん創立5周年を記念する第1回美術講演会を開催〔朝日10.24〕。
- 10-27 民政系有権者が広島商工会議所全議員の解任運動を起こし，解任期成同盟会を結成〔朝日10.29〕。
- 10- 府中水平社，『苧品郡史』の差別的記述を摘発。779
- 11- 1 労農党結成大会開催。
- 11- 1 細川崇円，『大地』を創刊。1086
- 11- 7 日本農民組合総同盟川口支部結成。738
- 11- 9 第1回広島婦人聯合大会および広島県婦人経済大会，広島市袋町小学校講堂で開催〔朝日11.8〕。
- 11-10 第7回広島県水平社大会，参謀本部差別地図に関し決議〔中国11.12〕。
- 11-13 中国無産党，広島市で家賃値下演説会を開催〔芸日11.15〕。
- 11-16 尾道市婦人联合会，土堂小学校講堂で尾道市婦人経済大会を開催〔朝日11.12〕。
- 11-20 通常県会開会（～12-21）。政友・民政両派議員，財政緊縮をめぐり論戦。14
- 11-22 早速整爾銅像除幕式，広島市比治山で挙行〔中国11.23〕。
- 11-26 賀茂郡三津町で海面埋立反対町民大会開催〔芸日11.30〕。
- 12-10 恩賜財団済生会広島県呉診療所設置〔告示849〕。'30-7-18 済生会呉病院と改称〔告示522〕。
- 12-14 帝国人絹広島工場汚水事件起こり，仁保町淵崎沿岸漁民50余人，工場に押しかける。

- 12-15 第1回広島県肉牛共進会，尾道家畜市場で開催〔朝日 12.17〕。
 12-15 中国大衆党，双三郡三良坂町で結成〔中国 12.19〕。
 12-16 広島市特産品輸出のための朝鮮航路船が宇品に初寄港〔朝日 12.13〕。
 12-17 厳島弥山原始林を天然記念物に指定〔文部省告示 370〕。

この年，広島高等学校に思想善導室設置。44

1930 (昭和 5)〔庚午〕

- 1- 1 広浜鉄道三篠町～可部間の全線電化工事完成し，電車運転を開始。26
 1- 5 田中運輸合資会社・広島合同運送株式会社の共同出資で己斐運送株式会社設立。50
 1- 6 竹原・鞆・御手洗・木ノ江・阿賀・鮎崎・長浜の各港を指定港に編入〔内務省告示 1〕。
 1-11 金輸出解禁実施。
 1-19 広島市内の中小業者代表 150 人，電力料金値下げに関する協議会を開催し，広島工業聯合会を設立〔朝日 1.21〕。
 1-24 沼隈郡水呑村宝酒造株式会社工場の廃汁問題，会社側の同村漁民への物的謝礼と工場長の陳謝で解決〔朝日 1.25〕。
 1-27 総同盟福山労働組合，総同盟脱退・全国同盟加盟を決定。福山労組分裂〔朝日 1.29〕。
 2- 3 民政党芦品郡分会，同郡府中町朝日座で発会式挙行〔朝日 2.5〕。
 2-10 広島婦人ホーム，全国婦選獲得同盟の後援で広島市公会堂で政談演説会を開催〔中国 2.11〕。
 2-15 福島紡績福山工場，紡績聯合会の決定にもとづき，操短・1 か月 4 昼夜の休日を実施〔朝日 2.16〕。
 2-20 第 17 回衆議院議員総選挙執行。1 区荒川五郎・藤田若水（以上民政）・名川侃市・岸田正記（以上政友），2 区山道襄一・木原七郎・田中貢（以上民政）・望月圭介（政友），3 区横山金太郎・土屋寛・作田高太郎（以上民政）・米田規矩馬・宮沢裕（以上政友）当選。346
 2-25 広島県商工団体聯合会，電動料金金の第 2 次値下げを要求〔朝日 2.26〕。
 2-27 尾道市土堂町石津海産物商ほか 18 商店，海産物相場の大暴落などを理由に尾道商工会議所を通じて広島税務監督局へ営業収益税減額を陣情〔朝日 3.1〕。
 2- 芦品郡教化事業聯盟結成。以後各郡で教化事業聯盟の結成進む。826
 3- 7 広島高等学院設立認可。1008
 3-15 ロンドン会議全権後援のため広島市民大会を広島市公会堂で開催〔朝日 3.16〕。
 3-15 総同盟三原合同労働組合発会式挙行。西尾末広・金正米吉ら演説。37
 3-17 東京で無産政党統一促進協議会を開催し，無産政党戦線統一全国協議会を結成。722
 3-19 三呉線三原～須波間開通。26
 3-25 『芸備青年』（広島県聯合青年団）創刊。
 3-26 中国大衆党，中国無産党に合同。725
 3-31 東京市芝区浜松町の県立物産紹介所廃止〔告示 232〕。
 3- 福山市養老院設立。826
 4- 1 深安郡中津原組合村農民大会開催。765
 4- 7 県農会，硫安価格引上げ反対を関係大臣に陳情。36
 4- 9 帝国人絹と大河漁業組合，淵崎・本浦海苔業組合の紛擾解決〔芸日 4.11〕。
 4-12 深安郡川口村小作争議（干害による小作料減額要求から発生），地主からの見舞金支出等で解決〔芸日 4.17〕。
 4-15 高橋貞雄・中野繁一ら，日本大衆党広島支部準備会を結成。37
 4-17 社会民衆党広島支部・中国無産党・広島合同労働組合・活版親友会・広島水平社・全農広島県聯・日本大衆党組織準備会・広島借家人同盟により対鐘紡広島無産団体闘争同盟

を結成。40

- 4-18 写実派洋画聯盟第1回展覧会，中国新聞社講堂で開催〔朝日 4.18〕。
- 4-22 ロンドン海軍軍縮条約調印。
- 4-22 総同盟逋友同志会土生支部発会式举行。38
- 4-28 広島電気加計発電所（水力1万2600kw）運転開始。29
- 4-29 福山市庁舎・市会議事堂落成祝賀会举行〔朝日 4.29〕。
- 5- 5 廃娯期成同盟会発会式，広島市で安部磯雄を迎えて举行〔芸日 5.7〕。
- 5-16 伊藤貞次，広島市長に就任。1225
- 5-16 県知事，公営事業の調節施行により失業の防止・救済をはかるよう市町村に訓令〔訓令 13〕。
- 5-21 広島自由労働者組合結成。37
- 5-27 尾道港改修起工式举行〔朝日 5.27〕。
- 5- 女人芸術聯盟広島支部結成。37
- 5- 広島高等学校で左翼文芸グループ「友の会」結成。22
- 6- 1 全国労働組合同盟結成。
- 6- 2 婦選獲得同盟広島県支部発会式举行。市川房枝・金子しげり演説〔中国 6.3〕。
- 6- 5 五日市町民大会，海岸埋立て反対を決議〔芸日 6.7〕。
- 6- 7 広島商工会議所，在広資本家約60人を招き，労働組合法案につき懇談会を開催〔芸日 6.10〕。
- 6- 7 政界廓清会，発会式を広島市公会堂で举行〔朝日 6.1〕。
- 6-10 広島電気株式会社，安佐郡中原村～同郡飯室村間の鉄道敷設願を申請。’31-7-10 却下。527
- 6-11 広島市結核療養所設置反対期成同盟会，観音村村民大会を開催〔芸日 6.11〕。
- 6-15 社会民衆党広島支部・呉地方支部・第3区支部(福山分会・因島分会)により社会民衆党広島県支部联合会結成。706
- 6-15 尾道港修築速成同盟会結成。132
- 6-18 広島市町総代聯合会総会，電燈電力料金値下げを要望〔中国 6.19〕。
- 6-19 広島県養鶏聯合会創立総会開催〔朝日 6.21〕。
- 6-25 広島市草津町庚午新開昭和土地会社の土地埋立てに絡まる小作争議，反当り60円の賠償額で解決〔芸日 7.1〕。
- 6-29 全国労働組合同盟中国聯合会創立委員会，福山労組事務所で開催。37
- 6-30 広島市の段原印刷所で解雇反対争議（～7-10）。11人全員活版親友会に加入。失業反対闘争同盟支援。解雇手当支給で解決。38
- 7- 1 広島県税務出張所を広島市ほか8か所に設置〔告示 481〕。
- 7- 2 広島電気，広海軍工廠に大口電力(2500kw)を供給開始。
- 7- 5 総同盟広島労働組合結成。40
- 7-12 国際通運広島合同運送の従業員100人，運搬賃金1割値下げに反対しストライキ。全労広島自由労働者組合指導。8-1 値下げ撤回で解決。38
- 7-20 全国大衆党結成。
- 7-30 賀茂郡三津町の工事現場の日本人土工，朝鮮人飯場を襲撃〔芸日 8.2〕。
- 7- 呉海軍工廠，軍縮により94人を整理。722
- 7- 尾道市実費診療所開設。826
- 8- 5 政界廓清会，役員会で大広島建設期成同盟会組織を決定〔朝日 8.7〕。
- 8- 5 県学務部長，東京府知事の依頼を受け，市町村に対し労働者が求職のため漫然上京することを防止するよう通牒〔社 1419〕。
- 8-11 広島市水道第3期拡張事業着手。’35-3-完成。548
- 8-20 広島商業，全国中等学校優勝野球大会で2年連続優勝〔朝日 8.21〕。
- 8-25 全国町村長会，農村救済宣言を議決し政府に陳情。

- 8-25 臨時県会開会。同日閉会。天皇奉迎に関する予算を可決。14
- 9- 4 平櫛田中、第17回院展(～10-4)に「五浦釣人」を出品。83
- 9- 7 全国大衆党広島県支部聯合会創立大会、広島市朝日倶楽部で開催。中国無産党・日本大衆党広島支部準備会・全国民衆党福山支部合同〔中国9.8〕。
- 9-13 呉市参事会、市営住宅92軒の家賃値下げを決定〔朝日9.14〕。
- 9-15 呉市で海軍労働組合聯盟第8回大会開催。軍縮による失業および減収に絶対反対を決議。707
- 9-20 芦品郡戸手村素盞鳴神社、県社に列格〔告示662〕。
- 9-28 広島県教育会館(広島市国泰寺町)落成式挙行。43
- 9-30 県農会、農村不況対策で大臣・県知事に陳情。36
- 10- 1 第3回国勢調査実施。広島県の人口169万2136人。394
- 10- 3 米価大暴落で大阪・東京米穀取引所立会休止。
- 10-10 呉軍港で海軍大演習実施(～16)〔朝日10.10～17〕。
- 10-15 広島解放運動犠牲者救援準備会結成。38
- 10-18 総同盟因島労組による因島労働会館落成。38
- 10-23 天皇、江田島の海軍兵学校に行幸。21
- 10-23 芸備鉄道、広島～宇品間線路の国鉄との共用を承認される。26
- 10-26 双三郡酒河村で村民大会開催。農村不況打開につき政府・県・村当局へ要望。このころ各地で開催〔中国10.28〕。
- 10-27 広浜鉄道沿線各地の期成同盟会により広浜電鉄期成同盟会聯合会結成〔朝日10.21〕。
- 10-30 教化強調期間(～11-3)。教化団体・市町村・学校等で諸行事を実施〔社時9-11〕。
- 10-31 尾道・世羅・山岡銀行合併し、備南銀行設立。28
- 11- 1 立憲政友会中国四国大会および広島県支部総会、犬養総裁を迎え広島市寿座で開催。351
- 11- 1 全労福山労働組合、「悪工場主征伐デー」闘争週間を実施(～7)。37
- 11- 4 広島県聯合青年団、青年団に対する令旨奉戴10周年の記念式・記念大会挙行〔訓令32〕。
- 11-12 通常県会開会(～12.11)。三部制度下最後の市部会・郡部会が開かれる。広島港湾修築費350万円('31年度より5か年継続)を可決。
- 11-14 浜口首相狙撃され重傷。
- 11-14 陸軍特別大演習、天皇統監のもと広島・岡山両県で実施(～16)。天皇、福山市役所に行幸。459
- 11-25 佐々木英夫、呉市長に就任。295
- 11-25 三神線矢神～東城間開通。26
- 11- 尾道家畜市場、県畜産組合聯合会へ移管決定。'31-3-受渡し完了し県畜聯直営となる。34
- 12- 2 芸備日日新聞社主催婦選問題座談会、広島市公会堂で開催。政友・民政両党県会議員、婦選獲得同盟本部市川房枝ら出席〔芸日12.5～10〕。
- 12- 5 中野繁一『広島県水平運動史』発禁処分となり、全冊押収される。779
- 12- 7 福山市の両社八幡神社で福山師範学校廃止反対の大集会開催。1万人参加。示威行進を行う。58
- 12- 8 福山市民300人、開会中の県会へ示威運動。知事・県会議長・副議長に福山師範学校廃止反対の陳情書を提出。58
- 12-14 厳島国立公園建設期成同盟会発会式、厳島小学校で挙行〔朝日12.16〕。
- 12-15 広島県体育協会創立。30
- 12-20 全農広島県聯小奴可支部・東城支部・全農岡山県聯野馳支部、小作料永久3割減などの要求で共同闘争に突入。37
- 12-21 第一合同銀行と山陽銀行合併し、中国銀行設立。28

- 12-24 県会，婦人公民権付与の意見書を内務大臣に提出。335
- 12-24 呉市で失業対策期成同盟会設立準備会を開催〔芸日 12. 25〕。
- 12-26 広島瓦斯電軌労働者により広島交通労働組合を結成。37
- 12-28 芸南電気軌道先小倉～広海軍工廠間開通〔朝日 12. 19〕。
- 12-29 広島瓦斯電軌で労組結成の中心人物の解雇に反対しストライキ（～30）。-30 争議団デモ行進，警官隊と乱闘し，172 人検束。会社側，37 人を馘首。この争議を機に中間派と左派の対立深まる。38
- 12- 広島市東・西公益質屋，稻荷町・天満町に開設。48

1931 (昭和 6)[辛未]

- 1- 3 芸陽自動車株式会社，豊田郡久芳村に設立(現芸陽バス株式会社)。*
- 1- 7 広電争議批判大演説会，広島市公会堂で開催。37
- 1-11 呉工廠従業員の軍縮整理失業対策同盟会，呉座で演説会を開催〔芸日 1. 12〕。
- 1-12 山陽線河内駅東方で上り急行列車転覆。死者 7 人，傷者 187 人〔朝日 1. 13〕。23
- 1-14 呉町総代聯合会の失業対策委員，軍縮失業対策につき嘆願書を携え上京〔朝日 1. 15〕。
- 1-18 尾道自治協会および大衆党尾道支部・向島労働組合，電燈電力値下げの第 2 次運動に着手〔朝日 1. 30〕。
- 1-19 広島城天守・福山城天守を国宝に指定〔文部省告示 8〕。
- 1- 広島プロレタリア劇場創設。37
- 1- 賀茂郡川尻町小学校教員，町当局の減俸要求を拒絶したため俸給が支払われず，紛糾〔朝日 1. 27〕。
- 2- 1 広島瓦斯電軌宮島線新宮島～宮島口間開通。27
- 2-11 中国新聞社主催福山～広島間駅伝競争（第 1 回中国駅伝）開催。1052
- 2-12 吉田昌晴ら，広島女給同盟結成〔芸日 2. 13〕。
- 2-18 失業救済農山漁村臨時対策資金貸付規程制定〔県令 17〕。
- 2-23 小作料永久 3 割減要求の比婆郡東城町小作争議（小作人数十名，地主 15 名），1～2 割減で解決〔芸日 2. 28〕。
- 3- 1 呉銀行，阿賀銀行の営業を譲受。28
- 3- 3 広島市および付近の台湾貿易業者，台湾貿易協会設立を決定〔朝日 3. 6〕。
- 3- 9 全協広島地方協議会第 1 回協議会，広島市段原町で開催。37
- 3-10 大阪合同紡績広島支店・能美支店，合併により東洋紡績広島工場・能美工場となる。649
- 3-19 広島県立農事試験場で農事電化実現展覧会を開催〔朝日 3. 14〕。
- 3-21 広島県歯科医師会，貧困者に無料診療券発行を決定〔朝日 3. 24〕。
- 3-26 衆議院，広島市に総合大学設置に関する建議書を議決。8
- 3-31 広島県の三部制廃止。218
- 4- 1 重要産業統制法公布。
- 4- 1 尾道常設家畜市場，広島県畜産組合聯合会に移管〔告示 251〕。
- 4- 1 安芸郡焼山村・本庄村を合併し，昭和村設置。本庄村平谷・川角の区域を熊野町に編入〔'30 年告示 811〕。
- 4- 1 安芸郡下瀬野村・上瀬野村を合併し，瀬野村設置〔告示 228〕。
- 4- 1 『彩潮』（総合俳雑誌，呉市）創刊。1074
- 4- 2 工業組合法公布。
- 4- 6 海軍軍縮整理により呉工廠で 3723 人解雇〔朝日 4. 7〕。
- 4- 6 三原町職業紹介所開設。*
- 4- 8 広島商業，第 8 回中等学校選抜野球大会で優勝〔朝日 4. 9〕。
- 4-14 第 2 次若槻礼次郎内閣成立。

- 4-22 尾道市電燈電力料金値下期成同盟会，市民大会を開き電燈料金の値下げを要求〔朝日4.24〕。
- 4-24 広島県信用購買組合联合会，広島県信用購買販売組合联合会と改称。36
- 4-28 三呉線須波～安芸幸崎間開通。26
- 4- 軀鉄道，軀～福山間乗合自動車の営業を開始。*
- 5- 1 福山市野上町に県立東部園芸場，御調郡向島西村に県立向島園芸場を設置〔告示342〕。
- 5- 4 市川忍ら全協関係者百数十名検挙(5.4事件)。37
- 5- 8 川淵洽馬，福岡県知事に転じ，白根竹介(前静岡県知事)，県知事に就任。9
- 5- 9 広島文理科大学の教授ら，広島方言学会を創設し，柳田国男を迎え発会式を挙行〔朝日5.9〕。
- 5-11 東洋工業，本社を安芸郡府中村字新地に移転。646
- 6- 1 芦品銀行解散。28
- 6- 1 広島県代用感化院広島修養院，県に移管され広島学園と改称〔県令35〕。
- 6- 2 第5師団臨時北支派遣隊編成下令。-9宇品港出発。463
- 6- 8 呉海工会，湯銭値下げ運動を起こす〔朝日6.10〕。
- 6- 9 三原製塩で従業員60人中50人解雇に反対し，総同盟三原合同労組によりストライキ。7-1解雇手当支給などで妥結。10-28工場閉鎖され三原合同労組解体。37
- 6-19 深安郡神辺町の小巾備後織14工場，織物業不振で一斉に休業実施〔朝日6.14〕。
- 6-20 呉海工会，呉地方の家主に家賃値下げを要求。708
- 6-25 日本労働倶楽部結成。
- 6-30 沼隈郡鞆町で上水道竣工。10-20竣工式〔朝日10.21〕。549
- 6- 寺尾一幹ら，広島消費組合を結成。40
- 7- 1 広島鉄道株式会社，可部軌道の施設を広島電気株式会社から譲受。26
- 7- 5 全国労農大衆党結成。
- 7- 6 呉市長，海軍助成金増額運動のため上京〔芸日7.3〕。
- 7-20 沼隈郡松永町23木履工場で賃上げ争議。8-13松永警察署長の調停で1割値上げなどで解決。37
- 7-21 賀茂郡下三永村で学童惨殺人肉事件発生。21
- 7-27 広島水産会社所属の仲買人470人組織の広島水産仲買組合，会社に対して不買同盟を実施〔朝日7.28〕。
- 7-28 広島市，己斐水道を2万6600円で買収。548
- 8- 1 健康保険署廃止，事務の県への移管に伴い警察部に健康保険課設置。21
- 8- 8 無産婦人同盟広島支部準備会結成演説会，広島市公会堂で開催。堺真柄演説。38
- 8-13 中国履物労働組合結成大会，沼隈郡松永町で開催。37
- 8-25 プロキノ本部，広島市でプロレタリア映画を公開。-27呉市でも。37
- 8-25 文理科大学および高師廃止の学制改革案に反対し広島市公会堂で市民大会を開催〔朝日8.25〕。
- 9- 1 竹原町職業紹介所開設。*
- 9- 5 広島市三滝町に精神薄弱児教化施設六方学園設立。50
- 9- 8 日系ハワイ市民母国観光団来広〔芸日9.10〕。
- 9-10 軀鉄道，省線福山駅乗り入れが認可され貨客連絡開始〔朝日9.10〕。
- 9-17 呉商工会議所で百貨店の地方出張販売対策に関する座談会を開き，卸と小売商が団結し，商店聯盟を組織することを決定〔朝日9.19〕。
- 9-18 満州事変始まる。
- 9-21 広島株式取引所，立会停止。603
- 9-22 広島市内各所に満州出兵反対ビラ撒布・貼付される。37
- 9-22 大阪朝日新聞社，広島市で満州事変写真展を開催(～24)。以後県内各地で開催〔朝日〕。
- 9-25 県会議員選挙執行(定員45名)。14

- 9-25 広島県臨時行政財政調査会規則廃止〔告示 673〕。
- 9-29 三次実業銀行破産。28
- 9-30 岨常次郎ら、広島市宇品町で日本共産党中国地方委員会を結成。739
- 10- 1 浅野家より寄贈された広島市立浅野図書館開館。89
- 10- 6 広島市広瀬小学校で軍事講演会開催。2000 人の聴衆が県内では一般市民としてはじめて満蒙問題に関する決議を行う〔朝日 10. 8〕。
- 10- 7 広島県織物工業組合設立認可。418
- 10-10 沼隈郡神村今伊勢内宮・今伊勢外宮、県社に列格〔告示 719〕。
- 10-12 失業救済事業県道広島～油木線西野村～坂井原村間改修工事起工。このころ各地で着工〔朝日 10. 11〕。
- 10-14 中国四国商工会議所联合会設立。673
- 10-16 頼山陽先生 100 年祭を広島市西練兵場で挙行〔朝日 10. 17〕。
- 10-20 臨時県会開会（～26）。加藤俊夫（広島市）、第 27 代議長に当選。14
- 10-26 深安郡郷分村の小作人 20 余人、郷分農民協会を結成〔朝日 10. 29〕。
- 10-27 第 6 回神宮大会（～11-3）、中等学校野球決勝で広陵中と広島商が対戦、広陵中優勝。バレーボールで広島二中優勝。一般学生陸上で織田幹雄が三段跳びに 15m58 の世界新記録を樹立。30
- 10- 東洋工業、DA 型マツダ三輪トラックを三菱商事に委託し販売。646
- 11- 2 広島県養蠶水産組合設置認可〔告示 765〕。
- 11- 3 広島市町総代联合会主催時局問題市民大会、比治山御便殿前広場で開催〔朝日 11. 4〕。
- 11- 4 県社会事業協会等により社会奉仕デーを実施。65
- 11- 7 全日本無産者芸術団体広島地方協議会、「無産者の夕」を広島市朝日倶楽部で開催。738
- 11-15 満蒙問題に関する呉市民大会、呉二河公園野球場で開催〔朝日 11. 15〕。
- 11-15 全国労農大衆党広島県支部联合会第 1 回大会開催〔芸日 11. 16〕。
- 11-16 広島・岡山・愛媛除虫菊同業組合联合会設立。
- 11-17 満州派遣の第 8 師団、宇品から出発。数万の市民が歓送〔朝日 11. 18〕。
- 11-17 宇品港に反戦ビラ撒布される〔芸日 11. 18〕。
- 11-21 通常県会開会（～12. 20）。瀬戸内海国立公園区域に鞆・尾道・厳島を包含・拡張の意見書を可決。14
- 11-23 満蒙問題に関する福山市民大会開催〔朝日 11. 24〕。
- 11-23 呉市聯合戸主会創立総会開催〔朝日 11. 25〕。
- 11-24 広島市内の業者 30 余人、広島朝鮮貿易協会の設立を決定〔朝日 11. 26〕。
- 11-27 広島市宇品町に中国グラウンド完成。30
- 11-27 広島県下映画人同盟結成〔朝日 11. 28〕。
- 12-13 犬養毅内閣成立。初閣議で金輸出再禁止決定。高橋財政始まる。
- 12-15 尾道・福山間国道改修期成同盟会結成〔朝日 12. 16〕。
- 12-16 山陽木材防腐株式会社、広島市舟入町に設立。*
- 12-17 第 5 師団臨時天津派遣隊編成下令。-21 宇品港出発。463
- 12-18 白根竹介、兵庫県知事に転じ、千葉了（元長野県知事）、県知事に就任。9
- 12-20 『山県郡巡り道中記』（名田富太郎）刊行。1028
- 12-25 株式会社昭和曲木工場、佐伯郡平良村の創立事務所で創立総会開催。'33-6-19 マルニ木工株式会社と改称。636
- 12-28 救護法施行細則制定〔県令 54〕。
- 12- 大阪鉄工所因島工場の因島病院失火全焼。643
- この年**、救護法施行を控え県内の要救護者調査を実施。該当世帯 2084 世帯、3609 人〔社時 10-6〕。

1932 (昭和 7)[壬申]

- 1- 1 双三郡三良坂町・萩原村を合併し、三良坂町設置〔告示 842〕。
- 1-11 全農県聯，広島市東横町朝日倶楽部で東北地方飢餓農民救援演説会開催。500 人余来聴。765
- 1- 日本プロレタリア文化聯盟（コップ）広島地方協議会結成。2-機関誌『文化の旗』創刊。37
- 2-10 広島女学院専門学校設置認可〔文部省告示 33〕。
- 2-13 県内各婦選団体，共同で婦選デーに取り組む。40
- 2-16 広島市三篠町室鋳物工場で賃上げ争議（～3-14）。広島消費組合・コップ・全協が応援し，争議の激化をはかる。738
- 2-20 第 18 回衆議院議員総選挙執行。1 区岸田正記・名川侃市（以上政友）・荒川五郎・藤田若水（以上民政），2 区渡辺伍・望月圭介（以上政友）・山道襄一・田中貢（以上民政），3 区宮沢裕・米田規矩馬・森田福市（以上政友）・作田高太郎・横山金太郎（以上民政）当選。346
- 3- 1 満州国建国宣言。
- 3- 5 共産党中国地方委員会・全協など一斉検挙。総検挙者 304 人，うち起訴 27 人(3.5 事件)。37
- 3- 9 広島市青年訓練所聯合主催，第 5 師団後援の防空・市街戦演習実施（～10）。広島市初の燈火管制施行〔朝日 3. 11〕。
- 3-26 奥山源三郎，尾道市長に就任。133
- 3-28 第 1 回広島県方面委員総会開催。広島県方面委員聯盟の結成を決議〔社時 11-4〕。
- 3-31 広島県神石支庁廃止〔内務省告示 49〕。
- 3-31 穀物検査規則制定。玄米等の生産検査を強制化〔県令 14〕。
- 3-31 広島県福山師範学校廃止。4-1 広島県広島師範学校，広島県師範学校と改称〔告示 107・234〕。
- 4- 1 広島県穀物検査所，広島県農産物検査所と改称〔告示 242〕。
- 4- 1 安芸郡音戸町・渡子島村を合併し，音戸町設置〔告示 237〕。
- 4- 1 産業奨励館奉天事務所設置。14
- 4- 1 広島県立福山工業学校開校（現福山工業高校）〔告示 106〕。
- 4- 1 三段峡・滝山峡・八幡高原一帯を県立芸北公園に指定。14
- 4-20 森川石粉で解雇反対争議（～5-19）。争議団員，兵庫県明石まで“飢餓行進”。解雇手当支給などで解決。40
- 4-29 時局博覧会，広島市西練兵場・広島県商品陳列所などで開催（～5-15）。入場者 40 万人。673
- 4-30 県知事，小学校・中等学校における野球の対外試合・応援等につき基準を示し，熱狂のあまり常軌を逸することを戒める〔訓令 28〕。
- 5- 6 除虫菊検査規則制定〔県令 20〕。
- 5-15 海軍将校ら，犬養首相射殺(5. 15 事件)。
- 5-25 安芸郡畑賀村への結核療養所設置に対し，周辺町村民，工事現場に押しかけ反対デモ。-26 にも〔朝日 5. 27〕。
- 5-25 鞆錨釘株式会社で賃金値下げ反対等を要求し争議。721
- 5-26 斉藤実内閣成立。
- 5- 保田庄一・村井一夫ら，文芸雑誌『街』発行。37
- 6- 4 広島映画従業員組合結成。37
- 6- 7 厳島国立公園編入期成同盟会結成〔朝日 6. 8〕。
- 6- 9 貴族院多額納税者議員補欠選挙執行。沢原精一当選。14
- 6-14 第 62 帝国議会で太田川改修費（'32 年度より 15 か年継続）を含む追加予算通過。541

- 6-16 呉海工会特殊工大会,海軍工廠長会議で決定した特殊工労働時間1時間延長に反対を決議〔芸日6.17〕。
- 6-19 三原・糸崎・西野・山中4か町村合併期成同盟会結成〔朝日6.21〕。
- 6-24 第5師団臨時北支派遣隊,宇品港に帰還。463
- 6-27 国防展覧会,福山市公会堂で開催〔朝日6.29〕。
- 6-28 千葉了,新潟県知事に転じ,湯沢三千男(前土木局長),県知事に就任。9
- 6- 財団法人喜清会,宇品学園を設立。826
- 7- 5 広島県町村長代表者会,農山漁村および中小商工業者救済対策に関して協議し,決議を政府に発送〔朝日7.7〕。
- 7- 9 広島商工会議所,中小商工業者救済に関し商工大臣・県知事に建議。672
- 7-10 三呉線安芸幸崎～竹原間開通。26
- 7-15 佐伯郡商工団体联合会,創立総会開催〔芸日7.16〕。
- 7-16 太田川改修工事の測量員詰所を設置。'33-4-太田川改修事務所に昇格。
- 7-20 第5師団臨時天津派遣隊,宇品港に帰還。463
- 7-21 『頼山陽全書』全8巻完結。1027
- 7-24 社会大衆党結成。
- 8- 7 県下郡市町村農会大会開催。農村救済対策を決議。36
- 8-16 広島県自動車営業組合広島市支部,道路損傷負担金徴収に反対し,ストライキ〔芸日8.18〕。
- 8-22 「時局匡救議会」召集。
- 8-27 修道中,全日本中等学校水上競技大会で優勝。30
- 9- 6 地方改善事業補助規程制定〔告示608〕。
- 9-10 第7回貴族院多額納税者議員選挙執行。水野甚次郎当選。14
- 9-10 広島市内5映画館の弁士・楽士ら27人,配転反対・諸手当支給などを要求しストライキ(～10-23)。37
- 9-10 三呉線鉄道敷設工事の朝鮮人労働者400人,賃金値下げに反対し争議。-14 1日95銭で妥結。727
- 9-13 安芸郡音戸町で職工通勤船が転覆し,死者20数人にのぼる。65
- 9-21 臨時県会開会(～26)。農山漁村不況対策を講ずるため370余万円の追加予算を原案どおり可決。14
- 9-25 日本労働組合会議結成。
- 9-25 県下教化事業関係代表者会,広島県教育会館で開催。国民更生運動実施要項を決定〔社時12-10〕。
- 9-27 蒟蒻検査規則制定。生芋・切干の任意検査を行う〔県令32〕。
- 9-30 県内全町村長を6か所に招集し,時局匡救対策町村長会同を開催(～10-1)。これを出発点として時局匡救事業・経済更生運動を展開。32
- 9-30 学校給食臨時施設方法を示し,欠食児童に対する給食実施を指示〔訓令18〕。
- 10- 1 広島県主催中国四国10県聯合副業品展示即売会開催(～5)。4万9278人入場〔朝日10.7〕。
- 10- 7 時局匡救のため土木費特別補助規則を制定〔県令34〕。
- 10- 8 国民更生座談会,広島教化事業联合会等により県内各地で開催(～12-1)。43
- 10-21 学校給食委員会規程制定〔告示705〕。
- 10-22 呉市で防空演習実施〔芸日10.25〕。
- 10-24 呉市・広村聯合防空演習を実施〔朝日10.25〕。
- 10-25 広島県・広島市・広島商工会議所・在郷軍人会広島市聯合分会・広島国防研究会共同主催により,リットン報告に対する広島国民大会開催〔朝日10.26〕。
- 10-29 広島県,経済更生協議会を広島市で開催。11-1福山市,-4三次町でも〔芸日10.27〕。
- 10-30 全日本バレーボール選手権で呉水雷クラブ優勝。30

- 10- 日東セメント株式会社，御調郡糸崎町に設立。440
 - 10- 養神館病院(精神病)，佐伯郡五日市町に設立。828
 - 11- 1 広島電気，農事用電気料金値下げ。29
 - 11- 2 共産党中国地方委員会に対する一斉検挙開始。1237
 - 11- 4 ロシア革命 15 周年記念文化の夕べ，広島市公会堂で開催〔朝日 11. 5〕。参加者全員検束される。37
 - 11-12 三原町で帝国人絹工場設置要望町民大会開催。629
 - 11-12 漢詩団体嶺松廬吟社結成。113
 - 11-17 治産銀行解散。28
 - 11-24 通常県会開会（～12-26）。太田川改良工事費負担金 506 万円余（'32 年度より 11 か年継続）を議決。県病院を廃して赤十字病院に建物を無償譲与する議案を否決。14
 - 11-24 預金部広島支部設置。中国 5 県と愛媛県を管轄〔大蔵省令 28〕。
 - 11-28 尾道自動車の路線を買収し尾道市営乗合自動車発足。136
 - 11- 広島師範学校内に新興教育研究グループ暁の会結成。37
 - 12- 1 沼田川改修工事起工式挙行〔朝日 11. 29〕。
 - 12- 6 広島県農村経済更生委員会規則制定〔告示 796〕。
 - 12-10 『広島市報』創刊。282
 - 12-13 宇品港域を拡張し，宇品港を広島港と改称〔内務省告示 320・321〕。
 - 12-13 大日本国防婦人会創立。
 - 12-22 国民同盟結成。
 - 12-24 広島県中小商工業資金融通損失補償規程制定〔告示 878〕。
 - 12-26 渡辺伍，呉市長に就任。295
- この年**，広島県の蒟蒻生産，生産量・生産価額ともに全国第 1 位（～'37 年）。

1933 (昭和 8)[癸酉]

- 1- 1 沼隈郡草戸村・神島村・佐波村・深安郡川口村・深津村・手城村・吉津村・奈良津村・木之庄村・本庄村を福山市に編入〔告示 713〕。
- 1- 5 山中高女，東郷旗全国学校対抗卓球大会で優勝。30
- 1-10 広島港を第 2 種重要港湾に指定〔内務省告示 2〕。
- 1-21 錦華人絹の広島市宇品町への誘致が決定し，広島市と会社の間で仮契約書に調印〔朝日 1. 22〕。
- 1-23 呉海工会，航空機 2 機献納を決定。40
- 1-23 福山城伏見三層櫓・同御湯殿・同筋鉄御門を国宝に指定〔文部省告示 14〕。
- 1- 広島県農産物検査所長ら，丸改米宣伝のため京阪神に出向し，懇談会を開催。32
- 1- 鄭禺甲ら，在広朝鮮人青年会を結成。740
- 2- 1 広島防護団，発会式を兼ね協議会を広島偕行社で開催〔朝日 2. 3〕。以後各地で防護団結成。
- 2- 流行性感冒（スペイン風邪）流行。846
- 3- 8 防護団を中心とした第 5 師管下防空警備演習実施（～9）〔朝日 3. 10〕。
- 3-15 広島洋画協会，広島県商品陳列所で第 1 回展覧会を開催（～21）。49
- 3-27 日本，国際聯盟を脱退。
- 3-28 帝国人絹三原工場起工式挙行。648
- 3-28 呉保生院（呉市阿賀町）を救護施設として認可〔告示 576〕。
- 3-29 宇品港域軍事取締法公布。5-20 施行。宇品港域では漁業・航行・工場建設などに際し陸軍運輸部の許可が必要となる〔法律 29〕。
- 3- 広島鉄管工業株式会社，安芸郡府中町に設立。440
- 4- 1 比婆郡比和村に町制施行〔告示 546〕。

- 4- 1 県立尾道肥料分析所，尾道市久保町築地に設置〔告示 545〕。
- 4- 1 広島県尾道中学校，県へ移管され，広島県立尾道中学校と改称（現尾道北高校）〔告示 539〕。994
- 4- 4 織物織機奨励金交付規程制定〔告示 547〕。
- 4- 6 広島県，少年団の育成を指示。931
- 4- 7 呉市借地人組合発会式挙行〔芸日 4. 8〕。
- 4-13 豊田郡南方村御年代古墳を史蹟に指定〔文部省告示 186〕。
- 4-14 県知事，国際聯盟離脱に際し発せられた詔書奉体につき訓令〔訓令 13〕。
- 4-25 山陽本線と広浜鉄道との連帯運輸を開始。26
- 4-28 錦華人絹字品工場の地鎮祭・起工式挙行〔朝日 4. 29〕。
- 5- 3 広島県蜜柑罐詰工業組合，設立認可。418
- 5-11 第 1 回広島県氏子総代会，広島市袋町小学校で開催。877
- 5-15 福山・西条・甲山・三次の 4 か所で，丸改米の普及講演会を開催。
- 5-16 非常時国民保健博覧会，広島市で開催（～6-6）〔朝日 5. 17〕。
- 5-26 京大滝川事件。
- 6- 1 県内務部に経済更生課と都市計画課を新設〔朝日 6. 1〕。
- 6- 1 芸備鉄道備後十日市～備後庄原間，買収国有化され，庄原線と改称。26
- 6- 2 広島文理科大学，尾道市に付属臨海実験所を設置〔勅令 144〕。
- 6- 5 関西ラミー紡績（安佐郡三川村）の女工 23 人と朝鮮人男工 5 人，工賃の値下げに反対ストライキ（～9）。40
- 6- 7 共産党幹部佐野学・鍋山貞親，獄中で転向声明。
- 6-10 102 の方面地区を設定し，方面委員を全県にわたり設置。6 月 1 日より適用〔告示 714〕。
- 6-14 広島港修築工事，内務省の直轄工事として起工。
- 6-14 福山市で泥酔乱暴を働いた者を警察官が検束，現役将校と判明し憲兵に引渡す。事件が新聞紙に暴露され，軍警対立。-28 和解〔朝日 6. 15, 6. 29〕。21
- 6-15 広島県教育会『県民読本』刊行。1256
- 7-13 呉～広島間第 31 号国道工事の地鎮祭執行。
- 7-15 中国山脈縦断和牛調査実施（～30）。34
- 7-18 滝山川発電所工事起工〔朝日 7. 15〕。
- 8- 1 山県郡戸河内村に町制施行〔告示 818〕。
- 8- 1 広島地方専売局，8 時間労働制実施〔朝日 7. 16〕。
- 8- 6 広島二中クラブ，全日本バレーボール選手権で優勝。30
- 8- 6 広島県教育会，広島県師範学校で思想講習会を開催（～8）。43
- 8-15 安芸郡矢野町尾崎神社，県社に列格〔告示 888〕。
- 8-18 官祭広島招魂社，西練兵場陸軍用地に移転改築起工。'34-10-31 竣工。873
- 8-20 社会大衆党広島県支部联合会第 1 回大会，広島市公会堂で旧労大党系のみで開催。党本部提唱の転換期四大政策に反対の上申書を提出。38
- 8-25 広島県水平社，松本治一郎らを迎え福島町一致協会・尾長説教所で高松差別裁判糾弾演説会を開催〔中国 8・27〕。
- 8-26 両備鉄道神辺～高屋間，神高鉄道(7-11 設立)に譲渡。519
- 8-26 修道中，全国中等学校水上競技大会で 2 連勝。30
- 9- 1 両備鉄道両備福山～府中間，買収国有化され，福塩南線と改称。26
- 9- 2 広島市革屋町交叉点に県内初の交通信号機を設置。21
- 9- 4 広島市昭和ゴム製造所の朝鮮人労働者，同僚の誡首を不当としてストライキ。社大党・全協が応援。-10 妥結〔芸日 9. 6, 9. 13〕。
- 9-18 広島国防婦人联合会発会式挙行〔朝日 9. 19〕。
- 9-22 内務部土木課を改め土木部とし，経理・道路・河港・営繕の 4 課を設置。知事官房統計係を独立して統計課とし，内務部に耕地課を設置。14

- 9-26 児童虐待防止法施行規則制定〔県令 30〕。
- 9- 高田郡小田村学校問題紛糾で反対地区学童 300 人、40 日間にわたり同盟休校。148
- 10- 4 高松差別裁判取消要求請願隊、県内に入る〔芸日 10. 5〕。
- 10- 6 佐伯郡の漁村で被差別部落青年襲撃される(ダイバ事件)。37
- 10- 7 広島市立畑賀病院開院。結核患者の診療を始める。*
- 10-21 蒟蒻検査規則制定。11-1 施行。受渡し、または移出する蒟蒻に強制検査を実施〔県令 33〕。
- 10-26 三原町の上水道通水式挙行〔朝日 10. 18〕。
- 10-27 第 7 回明治神宮大会(～11-3)。男子バレーボール呉工廠優勝。女子軟式庭球広島県女優勝。
- 10- 福山市で周辺 10 か村合併記念事業として全国土産品共進会を開催。58
- 11- 1 広島県立商品陳列所、広島県産業奨励館と改称〔告示 1081〕。
- 11-11 市街地建築物法施行細則制定〔県令 39〕。
- 11-11 県営阿賀港修築工事起工〔朝日 11. 12〕。
- 11-12 『芸備日日新聞』付録『子供週刊』創刊。1072
- 11-13 糸崎港修築工事起工〔朝日 11. 14〕。
- 11-15 福塩北線田幸(現塩町)～吉舎間開通。26
- 11-16 福山市公認青物市場、福山市公設市場と改称し、市の直接管理となる。58
- 11-19 新興人絹株式会社(のち三菱レイヨン)、佐伯郡小方村・大竹町と工場設置に関する契約を締結。650
- 11-21 通常県会開会(～12. 23)。農村救済に関する意見書、地方商船学校国営化の意見書を可決。335
- 11-23 県営竹原港修築工事起工〔朝日 11. 23〕。
- 11-24 全日本商権擁護聯盟広島県大会開催。148 団体代表 700 人参加。680
- 11-30 戸田工業株式会社(除虫剤製造)、広島市に設立。*
- 12- 1 広島市内の町の区域変更ならびに町名改正を実施。282
- 12-17 太田川改修速成福島町期成同盟会、広島市福島町一致協会で発会式を挙行〔芸日 12. 17〕。
- 12-20 広島・尾道・呉各手形交換所を手形法及び小切手法による交換所に指定。85
- 12-21 農村負債整理組合法施行細則制定〔県令 52〕。
- 12-23 三原港湾修築起工〔朝日 12. 24〕。

1934 (昭和 9)[甲戌]

- 1-10 広島校長懇談会発会式挙行。大学・3 高専・中小学校長ら約 70 人出席〔朝日 1. 12〕。
- 1-27 東洋麻糸紡績三原工場で乾燥室火夫の放火により女工寄宿舍全焼、5 人死亡・17 人負傷〔朝日 1. 28〕。
- 1-29 広島電気、出雲電気から太田川発電所を譲受。29
- 1-29 共鳴会三次支部、児童融和教育研究会を開催〔芸日 1. 30〕。
- 2- 3 県内の流感患者 3 万 3000 人、死者 56 人に達する〔朝日 2. 4〕。
- 2-10 広島市土木疑獄事件の捜査開始。4-30 収賄 6 人・贈賄 10 人の予審終結し全員有罪。7-4 広島地裁で有罪判決〔朝日 2. 11, 5. 1, 7. 5〕。
- 2-15 総同盟因島労働組合、労資懇談会を尾道商工会議所で開催。松岡駒吉総同盟会長・湯沢三千男県知事のほか企業代表出席。産業協力運動推進を確認。40
- 2-18 広島市土木疑獄事件を取調中の検事局、錦華人絹誘致について謝礼金を受けとった疑いで伊藤貞次市長を召喚〔中国 2. 19〕。
- 2-19 日本商権擁護聯盟広島支部大会、広島商工会議所で開催。反産業組合を決議〔朝日 2. 20〕。

- 2- 国光レーヨンの海田市町（現海田町）への進出決定。128
- 3- 3 上海・満州事変戦没者記念碑除幕式挙行〔朝日 2. 23〕。
- 3- 9 除虫菊県営検査阻止運動にからまる県会疑獄事件発覚し、県会議員・県除虫菊組合等関係者の取調べ開始。5-8 予審終結〔朝日 3. 10, 5. 9〕。
- 3-15 庄原線備後庄原～備後西城間開通。26
- 3-16 瀬戸内海国立公園指定。県内では鞆の浦周辺が公園区域となる〔内務省告示 135〕。
- 3-24 神竜湖で遊覧船が転覆し、教師・学童 12 人死亡。21
- 3-26 省営広浜線広島～亀山北口間乗合自動車営業を開始。横川自動車所開設。26
- 3-30 広島県養蚕督励委員設置規程制定〔告示 184〕。
- 4- 1 太田川改修工事起工式挙行。541
- 4- 1 広島県産業奨励館大連・新京・ハル濱事務所設置。14
- 4- 1 広島市の電話が度数制になる〔朝日 3. 25〕。
- 4- 1 広島県立盲啞学校を分離し、広島県立盲学校・広島県立聾学校を設置〔告示 198〕。
- 11-23 聾学校、広島市吉島本町に移転。950
- 4- 1 広島県立木ノ江造船学校独立（のち木江工業高校）〔告示 198〕。
- 4- 1 帝釈峡を県立帝釈公園に指定。14
- 4- 1 全国水平社広島県联合会再建大会、福島町一致協会で開催。軍隊内差別糾弾・ファシズム反対などについて討議。37
- 4- 6 工業組合中央会広島県支部創立総会および県下工業組合大会、広島市で開催〔朝日 4. 7〕。
- 4- 7 巖島神社宝物館開館〔朝日 4. 1〕。
- 4-10 町村勤務産業技術員配置規程制定。技術員の設置団体に新たに畜産組合・森林組合・水産会等を加える〔告示 228〕。
- 4-14 広島県立健康相談所、広島市水主町に設置〔告示 318〕。
- 4-14 日鮮労働共助会創立大会、広島市観音町で開催。38
- 4-23 忠海・廿日市・福山・巖島の各港を指定港に編入〔内務省告示 236〕。
- 4-25 県内の仏教各宗派により県聯合仏教会結成〔朝日 4. 21〕。
- 4-26 広島市内の共産党・全協関係者一斉検挙(4. 26 事件)。37
- 4- 芦品郡新市町に児童健康相談所開設。828
- 5-11 広島県繭検定所、芦品郡府中町に設置〔告示 347〕。
- 5-19 第 1 回広島県産業組合婦人大会開催〔朝日 5. 20〕。
- 5-19 広島放送局、広島中央放送局と改称。1023
- 5-28 呉海軍、殉職将兵慰霊祭・傷痍軍人慰安会を開催〔朝日 5. 16〕。
- 5- 比婆郡小奴可村で日本人と朝鮮人の衝突事件起こる〔朝日 5. 30〕。
- 6- 1 庄原町職業紹介所開設。*
- 6- 2 県会議員視察団を満州・朝鮮に派遣。14
- 6- 6 広島高等学校生徒大会、同盟休校、5 教官の辞職勧告等を決議。学校当局、3 日間の休校を決定。6-13 5 教官への辞職勧告を含む学校側の解決案により、生徒大会で同盟休校解除を決議。44
- 6- 8 広島文理科大学長吉田賢龍退任し、後任に文部省普通学務局長武田欽一を任命。この前後より後任学長問題で文部省と広島文理科大学が対立。44
- 6-21 広島電話局設置。25
- 6-23 広島高等学校在校生 42 人、卒業生 7 人の一斉検挙取調べ開始。のち「広高赤化事件」として報道される。44
- 6-30 芸備銀行、預金残高 1 億円突破。28
- 7- 1 広島県牧野協会設立。34
- 7- 7 広島測候所松永臨時出張所設置。藪草刈取期に開設。868
- 7- 8 岡田啓介内閣成立。

- 7-13 広島県柑橘検査規則制定。受渡しまたは移出する柑橘に強制検査を実施〔県令 23〕。
- 7-13 広島偕行社新館で防空展覧会開催（～18）〔朝日 7. 14〕。
- 7-17 牛乳営業取締規則施行細則改正〔県令 25〕。
- 7-21 呉鎮守府・第 5 師団・第 11 師団聯合中国・四国県下防空演習実施〔朝日 7・22〕。
- 7-27 汎太平洋仏教青年会代表一行二百数十人を迎え広島県大会を広島高工講堂で挙行〔朝日 7. 26〕。
- 7-31 広島地裁，県会疑獄事件(除虫菊県営検査阻止運動・県参事会員選挙)で県会副議長ら 13 人に対し有罪判決〔朝日 8. 1〕。
- 7-31 広島商工会議所，庶民金融の施設につき逋信大臣に建議。672
- 7- 広島朝鮮貿易協会，朝鮮郵船と毎日宇品～北朝鮮間 3 回，宇品～南朝鮮間 2 回の定期航路開設を契約。50
- 7- ひとつのみち教団尾道支部設立。132
- 8- 4 山県郡中野村広島電気下山発電所工事現場でダイナマイト爆発し，25 人爆死〔中国 8. 5～7〕
- 8- 9 全農全会派高田支部準備会の南小一，検挙される。37
- 8-10 広島市都市計画道路舟入～皆実線開通〔8. 11〕。
- 8-14 雲芸バス開通式，双三郡十日市町で挙行〔朝日 8. 15〕。
- 8-20 呉港中学，第 20 回全国中等学校優勝野球大会で優勝〔朝日 8. 21〕。
- 8-24 沼隈郡水呑村民 250 人，福山市上水道揚水ポンプ設置に反対して揚水現場に押しかける〔朝日 8. 25〕。
- 8- 日本農民組合総同盟広島県联合会結成。傘下に福山支部・川口支部・郷分農民協会・機織農民組合。組合員 180 余人。21
- 9- 1 省営広浜線大朝～浜田港間乗合自動車営業を開始。これより広島～浜田間直通運行開始。26
- 9-11 交通取締規則制定〔県令 32〕。
- 9-21 室戸台風で関西に大被害。県内では死者 12 人，行方不明 2 人，家屋全壊 425 戸，同半壊 265 戸，同流失 14 戸，船舶流失沈没 234 隻。42
- 10- 5 広島地裁，広島通信局庁舎新築工事請負等にかからまる広島市政疑獄事件で県会議長ら 3 人に有罪判決。'35-2-13 控訴審で 4 人全員有罪判決〔朝日 10. 6，'35. 2. 14〕。
- 10- 6 相生橋 T 字型連絡橋開通式挙行〔朝日 10. 7〕。
- 10-16 帝国人絹三原工場，落成開業式挙行。648
- 10-20 福山市で全国特産品展覧会開幕。全国 100 余都市から出品〔朝日 10. 20〕。
- 10-30 広島県織物工業組合联合会設立認可。418
- 11- 1 県知事，大轟進転 40 周年記念に際し，県民に国民精神作興を求める〔告諭〕。
- 11- 1 広島大本営 40 周年記念式典，西練兵場で挙行。会衆 5 万余人。明治天皇行幸記念展覧会，広島城で開催（～15）。拝観者総数 23 万余人。458
- 11- 3 呉航空隊設置。85
- 11- 4 広島県航空協会発会式，広島偕行社で挙行〔朝日 10. 24〕。
- 11- 4 全日本バレーボール選手権で男子呉工廠，女子一般広島専売，女子中等学校広島県女が優勝。30
- 11- 7 官祭広島招魂社，広島市基町に造営され，落成奉祝祭ならびに落成式を執行。873
- 11- 8 政党解消聯盟尾道支部発会式，偕楽座で挙行〔朝日 11. 9〕。
- 11-10 広島県醸造指導所分室，福山市に設置〔告示 769〕。
- 11-10 全国発明展覧会，広島市で開幕。28 道府県 320 人の発明家による 6000 点を出品〔朝日 11. 11〕。
- 11-18 海工会幹部，社会民衆党を脱し国民同盟呉支部へ加入。37
- 11-18 日本労働組合全国評議会結成。
- 11-21 通常県会開会（～12-22）。県立広島病院(移転)建築費 31 万円を可決。'34 年度時局匡

救済算の減額更正を県会決議蹂躪として追及。14

11-21 広島市三篠町田村工業で収入減に反対してストライキ（～30）。-29 争議団の1人煙突にのぼる。37

12-8 新興人絹株式会社大竹工場，試運転を開始し，初紡糸に成功。'35-9-本格的量産操業体制に入る。650

12-11 県立農事試験場己斐分場，広島県立農事試験場五日市分場と改称〔告示 834〕。

'35-3-23 移転開場式〔朝日 3.14〕。12-28 芸備銀行，備後銀行の営業を譲受。28

12-26 日本農民組合総同盟の指導により沼隈郡松永町で小作料減額要求争議起こる。37

12-28 広島県警察部健康保険駐在所設置〔告示 888〕。

12-29 ワシントン条約廃棄を通告。

1935 (昭和 10)[乙亥]

1- 3 広島地方労働組合同盟創立大会，広島市公会堂で開催。広島統一労働組合など6組合，520人加盟。37

1-15 湯沢三千男，兵庫県知事に転じ，鈴木敬一（前熊本県知事），県知事に就任。9

1-19 地方官官制改正により内務部を総務部と改称，経済部を新設し，経済更生課・農務課・耕地課・林務課・商工課・水産課を置く。14

1-30 第1回県下中等学校射撃大会，広島市江波陸軍射撃場で開催〔朝日 1.31〕。

1-31 安芸郡府中村県社多家神社で神武天皇御上陸 2600 年記念祭執行〔朝日 2.1〕。

1- 『言霊』（短歌雑誌）創刊。49

2- 4 広島県穀物商同業組合，米穀自治管理案への対策を協議，県内 3000 の米穀商の反対請願署名提出の方針を決定〔朝日 2.5〕。

2- 8 広島県立農事試験場千年藺草分場，沼隈郡千年村に設置〔告示 86〕。

2-10 広島市福島町一致協会で松本治一郎を迎え，佐藤中将糾弾大演説会を開催。771

2-11 県立広島高等女学校で愛国子女団結成。以後県内の女学校で愛国子女団の結成進む〔朝日 2.8〕。

2-17 三呉線竹原～三津内海（現安浦）間開通。26

2-23 広島県内 20 の各種商業組合により広島県商業組合聯盟結成〔朝日 2.19〕。

2-26 横山金太郎，広島市長に就任。1225

3- 1 広島測候所，広島市江波町に移転〔告示 144〕。

3- 1 福山に手形交換所を新設〔朝日 1.22〕。

3- 1 全国農村産業組合協会広島県支部，反産運動排撃の声明書を発表〔朝日 3.2〕。

3- 8 全日本商権擁護聯盟広島県支部大会，広島市公会堂で開催。産業組合の拡大強化に反対〔朝日 3.9〕。

3- 8 伝染病予防法による細菌検査施行のため，広島県福山細菌検査所を設置〔告示 175〕。

3-17 広島日鮮労働組合結成。728

3-20 福山製紙株式会社で待遇改善を要求し争議（～30）。711

3-21 錦華人絹字品工場男工 80 人，待遇改善を要求しサボタージュ〔芸日 3.23〕。

3-22 双三郡三良坂町役場，女工保護組合設立を計画し，加入者を募集〔社時 15-6〕。

3-24 三呉線呉～広間開通。26

3-27 呉市主催国防と産業大博覧会，第1会場二河公園，第2会場川原石海軍用地で開催（～5-10）。入場者（両会場観覧者）136 万余人。554

4- 1 県立東部園芸場・向島園芸場を廃止し，県立農事試験場に福山園芸場（福山市野上町）・向島園芸所（御調郡向島西村）を設置〔告示 261〕。

4- 1 広島県産業組合指導員出張所を 5 か所に設置〔告示 262〕。

4- 1 佐伯郡大野村鼓ヶ浜宮島航空研究所に附属航空学校を設置〔朝日 3.12〕。

4- 1 広島県実業補習学校教員養成所，広島県立青年学校教員養成所と改称。44

- 4- 1 広島県立呉夜間中学，広島県立呉第一中学校内に設置〔告示 256〕。
- 4- 1 道後山を県立公園に指定。14
- 4- 5 水平社県聯第 12 回大会，福山市公会堂で開催。軍隊内徹底的融和政策の樹立，無産団体協議会組織などを決定。771
- 4- 6 山県郡雄鹿原村で香米品種の駆逐改良に成功し，香米改善完成祝賀大会を開催。32
- 4-13 『東洋鬼』（呉市本通，白虹社）創刊。1093
- 4-13 仏教済世軍第 12 回全国大会，呉市で開催（～15）〔朝日 4. 14〕。
- 4-19 穀物検査規則改正。玄米の旭・芸備錦・広島錦に「改」の品種証印を押捺〔県令 20〕。
- 4-20 新興仏教青年同盟広島支部結成。741
- 4-23 松永町塩田業者 22 人と従業員 630 余人の間で労資協調団体塩田親和会結成。40
- 4-24 満州国皇帝，厳島に来訪〔朝日 4. 24〕。
- 4-25 広島県立農事試験場吉舎分場，双三郡吉舎町に設置〔告示 352〕。
- 4- 福屋百貨店，もと山下呉服店の建物を借用し，呉支店を開店。651
- 4- 中国新聞社，芸備日日新聞社の経営難打開のため幹部を派遣。1020
- 5- 1 第 16 回メーデー。因島で 500 人デモ行進。戦前最後のメーデー。40
- 5- 5 中国新聞社主催第 1 回中国少年少女体育大会，広島文理大で開催。30
- 5- 6 三次町職業紹介所設置。＊
- 5- 8 選挙粛正委員会令公布。
- 5-15 大日本生産党広島支部，発会式と講演会を広島市公会堂で開催〔朝日 5. 7〕。
- 5-21 芸南バス会社で賃上げなど待遇改善を要求し，ストライキ（～22）。37
- 5-28 青年学校令施行細則制定。県知事，青年学校制度実施に関し訓令〔県令 23・訓令 19〕。
- 5-30 在郷軍人会広島市聯合分会有志，報国同志会を結成〔朝日 5. 28〕。
- 5- JOFK 広島中央放送局の加入者，10 万人突破〔朝日 6. 1〕。
- 6- 1 広島県選挙粛正委員会設置〔告諭 1〕。
- 6- 1 大阪商船別府航路別府～宇品間の呉延長実施〔朝日 5. 29〕。
- 6- 5 御調郡向島西村の製塩業者 19 戸の従業員 99 人，賃上げを要求しストライキ。-11 解決。-20 200 余人，再びストライキ。7-2 浜大工の調停で解決〔朝日 6. 7, 14, 23, 7. 5〕。
- 6- 8 錦華人絹株式会社広島工場の第 1 期工事完成し，開業式を挙行〔朝日 6. 8〕。
- 6- 9 四国連絡を目指し，竹原内港修築工事起工〔朝日 6. 12〕。
- 6-10 高等警察課を廃止し，警察部長書記室を設置。21
- 6-13 松本勝太郎，呉市長に就任。295
- 6-14 広島県木炭検査規則制定。7-1 施行。木炭の県営検査を実施〔県令 24〕。
- 6-14 県知事，社会教育振興に関し訓令〔訓令 20〕。
- 6-14 社会教育委員会設置〔告示 483〕。
- 6-15 県庁内に木炭検査所を設置。-18 出張所を広島・廿日市・加計・三次・庄原・福山に設置〔告示 492・494〕。
- 6-15 三神線東城～小奴可間開通。26
- 6-20 広島県無尽協会創立総会開催〔朝日 6. 21〕。
- 6-20 豊田郡沼田東村ほか数か町村の農民と帝人三原工場との水をめぐる紛争，解決〔朝日 6. 22〕。
- 6-27 広島県各種団体長選挙粛正運動協議会を開催。各団体の運動への参加を促す。221
- 6-27 豪雨により各地で出水（～30）。死者 7 人，行方不明 1 人，家屋全壊 26 戸，同半壊 74 戸，同流失 12 戸，床上浸水 148 戸，床下浸水 2703 戸。42
- 7- 1 青年学校 454 校開校。残り 31 か町村でも設置を準備〔朝日 7. 2〕。
- 7- 3 臨時県会開会（～6）。大原博夫（豊田郡），第 28 代議長に当選。14
- 7- 広島電気王泊ダム竣工。29
- 7- 府中町職業紹介所開設。471
- 8- 1 広島市宇品町に広島鉄道局を新設。岡山・広島・下関各運輸・保線事務所および高松・

- 徳島・高知各出張所を所管。工場は広島鉄道局の所轄となる。26
- 8- 5 県立健康相談所，呉市堺川通に設置〔告示 691〕。
- 8-11 日本バレーボール選手権で女子一般広島専売，女子中等学校広島県女が2連勝。30
- 8-14 広島電気坂発電所，2万5000kw発電機1台増設。国産高速大容量機の世界記録。29
- 8-30 県内で眠り病(真性脳炎)患者68人，死亡30人に達する〔朝日 8.31〕。
- 8-31 帝国人絹広島工場，閉鎖を発表。648
- 9- 1 各市町村で一斉に選挙肅正宣誓式を挙行。221
- 9-10 広島県健康保険相談所，広島市堺町に設置〔告示 706〕。
- 9-12 賀茂郡造賀村青年学校長の差別事件解決〔中国 9.13〕。
- 9-24 安芸郡熊野町で第1回筆祭り開催。1257
- 9-25 県会議員選挙執行(定員45名)。14
- 9-30 広島県糸崎鉄道学校設置認可〔文部省告示 373〕。
- 10- 1 第4回国勢調査実施。広島県の人口180万4916人。394
- 10- 1 広島貯金支局開設。482
- 10- 6 呉エスペラント会発会式挙行。1065
- 10- 8 鞆鉄道，ライオン自動車商会の福山～鞆間乗合自動車路線営業権を買収。両社バス競争に終止符〔朝日 10.10〕。
- 10-11 広島県・芦品郡農会の共催により経済更生展覧会開催(～15)。246
- 10-13 尾道市上水道拡張工事，御調郡山中村字坂谷山堰堤完成し，竣工式挙行〔朝日 10.15〕。
- 10-15 福山屠場起工〔朝日 10.16〕。
- 10-18 臨時県会開会(～24)。望月乙也(豊田郡)，第29代議長に当選。14
- 10-21 1府6県林産共進会，広島県産業奨励館等で開催(～25)〔朝日 10.16〕。
- 10-29 第8回明治神宮大会(～11-3)，バレーボール女子広島専売，中等学校野球呉港中優勝。30
- 11- 5 遊覧地写真撮影取締規則制定〔県令 55〕。
- 11-13 県警察部主催県下労資懇談会，三原市で開催。37
- 11-15 福塩北線吉舎～上下間開通。26
- 11-15 『豊田郡誌』刊行。150
- 11-17 村上清二，広島市鷹野橋に常設油絵陳列場を開設。50
- 11-19 広島県能率研究会発足。会社・店舗等の経営指導にあたる〔朝日 11.21〕。
- 11-21 通常県会開会(～12-21)。県立病院移転建築未執行につき知事を追及。14
- 11-22 三原港修築工事竣工〔朝日 11.23〕。
- 11-24 三呉線三津内海(現安浦)～呉線広間開通し，三原～海田市間海岸線全通，三呉線を呉線に編入。26
- 11-30 芸南経済同盟創立総会，呉市で開催〔朝日 12.1〕。
- 12- 1 広浜鉄道横川町～広浜可部間開通。26
- 12-20 庄原線備後西城～備後落合間開通。26
- 12-23 望月圭介ら政友会脱退派，昭和会を結成。
- 12-23 呉工廠で航空母艦蒼龍の進水命名式挙行〔朝日 12.24〕。
- 12-27 広島瓦斯電軌軌道宇品線専売局～向宇品間，土手下から現在経路に移設し複線化。27

1936(昭和11)[丙子]

- 1-11 司法大臣小原直・選挙肅正中央聯盟理事長永田秀次郎らを迎え，広島一中講堂で選挙肅正大講演会を開催。55
- 1-13 この日より，県聯合婦人会および愛国婦人会支部主催選挙肅正婦人講演会を各地で開催。55

- 1-15 ロンドン軍縮会議を脱退。
- 1-15 全日本労働総同盟結成。
- 1-27 広島社会事業倶楽部，県・広島市・民間の社会事業関係者により結成〔社時 16-2〕。
- 2- 1 昭和会広島県支部，政治結社として届け出〔朝日 2. 2〕。
- 2-10 全国蜜柑罐詰工業組合聯合会創立委員会，広島県産業奨励館で開催〔朝日 2. 12〕。
- 2-10 広島市袋町に建設の山陽記念館，開館式挙行〔朝日 2. 9〕。
- 2-20 第 19 回衆議院議員総選挙執行。1 区古田喜三太・荒川五郎（以上民政）・名川侃市（政友）・岸田正記（昭和），2 区田中貢・山道襄一（以上民政）・肥田琢司（政友）・望月圭介（昭和），3 区土屋寛・作田高太郎・横山金太郎（以上民政）・宮沢裕（政友）・永山忠則（昭和）当選。346
- 2-24 佐伯郡大竹町と同小方村漁業組合役員十数人，新興人絹の工場排水によるノリ・カキの被害につき，県庁に善処を求めて陳情〔朝日 2. 26〕。
- 2-26 皇道派青年将校，クーデター断行(2. 26 事件)。
- 2-28 広島県農林産物販売統制委員会規則制定〔告示 153〕。
- 3- 8 県産業奨励館，台北市で見本市を開催（～9）〔朝日 3. 6〕。
- 3- 9 広田弘毅内閣成立。
- 3-13 内務省，大本教に解散を命令。県内の大本教外廓団体は，昭和神聖会・昭和青年会・昭和坤生会・人類愛善会・大日本武道宣揚会の 5 団体，会員総数 3784 人〔朝日 3. 14〕。
- 3-19 海軍兵学校教育参考館，開館式挙行〔朝日 3. 20〕。
- 3-21 全国特産品展覧会(福山市・商工会議所共同主催)，福山市で開催（～26）〔朝日 3. 22〕。
- 3-26 福山通信診療所開設。*
- 3-27 広島県自動車検査場を広島市大芝町に設置。14
- 3-29 佐伯郡大竹町小島新開に新設の広島飛行場，竣工式を挙行〔朝日 3. 28〕。
- 3-30 工業組合中央会広島県支部，第 1 回工業組合大会を広島市山陽記念館で開催〔朝日 3. 31〕。
- 3-30 呉～広間国道および県道の改修工事竣工。14
- 3- 尾道市職業紹介所開設。471
- 4- 1 広島県修練農場，比婆郡山内東村に設置〔告示 233〕。
- 4- 1 学務部に社会教育課を設置〔朝日 4. 1〕。
- 4- 1 広島陸軍幼年学校，広島市に設置〔勅令 39〕。
- 4- 1 水平社広島県联合会第 13 回大会，佐伯郡高田村で開催。反ファッション戦線統一を決議〔中国 4. 3〕。
- 4- 7 金光平，第 20 回 I L O 総会（ジュネーブ）に労働代表顧問で出席（～8-7）。40
- 4- 8 県特高課，大本教信者 25 人を検挙〔朝日 4. 10〕。
- 4-14 広島鉄道局福山保線区事務所，開業式挙行〔朝日 4. 14〕。
- 4-14 広島地方労働組合同盟，広島労働組合と改称。38
- 4-18 全国一斉に観光祭開催。広島・呉・尾道・鞆・厳島・庄原参加〔朝日 4. 17〕。
- 4-22 鈴木敬一，京都府知事に転じ，早川三郎（前鹿児島県知事），県知事に就任。9
- 4-24 広島県治水砂防協会創立〔朝日 4. 23〕。
- 4-26 広島市上水道第 3 期拡張工事，竣工式挙行〔朝日 4. 23〕。
- 4-29 東洋工業，25 日間にわたり三輪トラックによる鹿児島～東京間宣伝キャラバンを実施。646
- 4-30 生徒児童の校外教化善導を目的とする尾道教護聯盟結成〔朝日 5. 2〕。
- 4- 三原町営運動場竣工〔朝日 4. 16〕。
- 5- 1 メーデー，2. 26 事件で禁止され，広島で座談会(90 人)，因島で家族慰安会(3000 人)，福山で記念茶話会開催。40
- 5- 6 広島県立農事試験場吉舎分場，開場式挙行〔朝日 5. 7〕。
- 5- 8 広島県美術協会の役員問題をめぐる内紛のため，5-10 開催予定の春の県美展，開催不

能となり秋まで延期を決定〔朝日 5.9〕。

5-12 第二帝国人絹三原工場，落成開業式挙行〔朝日 5.13〕。

5-16 思想転向者指導機関丙子会，発会式を広島県教育会館で挙行〔朝日 5.17〕。

5-25 東方会結成。

5- 広島愛国交通労働組合結成。3支部 250人。40

6- 1 広島市に岡山米穀事務所広島出張所設置〔農林省告示 177〕。

6- 8 第1回広島県青年学校男子専任教員大会，県教育会館で開催（～9）〔朝日 6.7〕。

6-30 江田島汽船従業員 70人，待遇改善を要求し，ストライキ。7-4会社側，解雇下船を命令〔芸日 7.1，7.5〕。

7- 4 太田川改修および広島港修築事業起工式，広島市宇品町広島港埋立地で挙行〔朝日 7.5〕。

7- 6 太田川改修速成聯盟会，広島市三篠小学校で臨時総会を開催し，工事の繰上げなどを決議。-7 県庁・市役所・改修事務所に陳情〔朝日 7.8〕。

7- 7 広島県肥料審議会規程制定〔告示 489〕。

7-22 社会大衆党所属代議士全国遊説隊，広島市寿座で演説会開催〔芸日 7.25〕。

7-25 『KURE—ESPERANTO』創刊。1065

7-28 電気協会中国支部，電力問題調査第1回地方委員会で中央委員会の電力国営反対決議を支持。29

8- 6 広島県，第1回教化指定町村として佐伯郡平良村・豊田郡久友村・世羅郡神田村・芦品郡宜山村・比婆郡比和町の5か町村を決定し，関係者打合せ会を県教育会館で開催。314

8- 8 広島瓦斯電軌，楽々園の営業を開始。27

8-18 福山工業試験場，福山市野上町に移転〔告示 571〕。

8-24 広島県および広島県共鳴会，融和事業完成10か年計画樹立委員会を三次町で開催〔芸日 8.25〕。

8- 広島県産業調査委員会，産業経済指導方針を決定。35

8- 広島県，'34年以来の産業調査をまとめ『産業調査書』発行。32

8- 県内の無医村は65か村と発表〔社時〕。

9- 1 学務部に職業課を設置。'42-11-1 警察部に移管。22

9- 1 広島に中国ブロック犯罪手口庁設置。'45-3-廃止。21

9- 1 広浜鉄道横川町～広浜可部間を買収，国有化，可部線と命名。26

9- 1 広島一中，全国中等学校サッカー大会で優勝。30

9- 2 市立尾道診療所，久保町に建設の新病院の開院式挙行。名称を尾道厚生病院と改称〔朝日 9.3〕。

9- 2 山田金属文房具製造機株式会社（広島市西蟹屋町）女工 54人，県工場課へ陳情書を提出後，ストライキ。-4 女工の勝利で解決〔朝日 9.4〕。

9- 3 賀茂郡吉土実村安芸国分寺塔趾・広島市袋町頼山陽居室を史蹟に指定〔文部省告示 314〕。

9-12 『全農広島県联合会十四年苦斗史』刊行。765

9-14 日本銀行広島支店，広島市袋町に新築移転。28

9-15 2市5郡（広島・呉・安佐・安芸・佐伯・賀茂・高田）の防護団員による防空演習実施〔朝日 9.16〕。

9-16 東洋工業機械部工場職工，待遇改善を要求し，ストライキ。-17 要求の一部認められ解決〔芸日 9.18〕。

9-17 大藤軍一・岨常次郎ら，新協劇団広島後援会を結成。37

9-18 尾道市尾崎町浄土寺の木造聖徳太子立像を国宝に指定〔文部省告示 326〕。

9-27 旧社民・労大両党支部合同し，社会大衆党福山支部結成。10-4 広島支部，10-11 呉支部結成。38

10- 1 広島県物産販売改善大阪出張所設置。販路の維持・開拓，市場・市況の調査にあた

る〔告示 669〕。

10- 1 広島県立尾道健康相談所開設〔告示 684〕。

10-10 三神線小奴可～備後落合間開通。26

10-13 可部線可部～安芸飯室間開通。26

10-20 広島県職業紹介指導協会，発会式を県教育会館で挙行〔朝日 10. 21〕。

10-22 広島県，満州国に単独で広島村を建設するため「300 戸 1 単位満州農業移民奨励計画」を発表し，市町村に協力を依頼。300

10-23 三原養老院落成式挙行〔朝日 10. 23〕。

10-27 帝国発明協会広島県支部創立総会開催。11-13 発会式。669

10-27 三原市内の小作人，埋立工事に反対し小作人組合を設立〔芸日 10. 28〕。

10-31 竹原港修築工事竣工〔朝日 10. 27〕。

11- 1 第 1 回広島県総合体育大会，広島市で開催(～3)。13 種目 36 競技を行う〔朝日 11. 1〕。

女子走り高跳びで呉精華高の山内リエが 1m55 の日本新記録。30

11- 1 全日本バレーボール選手権で男子一般呉工廠，男子中等広島二中が優勝。30

11- 2 太田川改修に伴う強制立退きに反対し，福島町民大会開催。542

11-12 通常県会開会(～12-12)。県会議事堂・県庁舎・警察庁舎の改築に反対意見続出するも，原案(2 か年継続 260 万円)どおり可決。14

11-15 御調郡三原町・糸崎町・山中村・西野村，豊田郡田野浦村・須波村を合併し，三原市設置〔内務省告示 602〕。

11-18 在広朝鮮人 50 人により消費組合広島共興組合を設立。729

11-20 広島保護観察署設置。'37-1-30 開庁〔朝日'37. 1. 31〕。472

11-25 日独防共協定調印。

11-27 天皇，江田島の海軍兵学校に行幸。21

12- 1 キリンビール広島工場(安芸郡府中町)起工。'38-3-1 工場落成。1258

12- 1 太田川改修により全町の西半分を収用される福島町の借家人代表 14 人，広島市長に悲惨な実情を訴え救済を懇請〔朝日 12. 2〕。

12- 5 平原甚松ら 11 人，共産党関係者として検挙される。739

12- 9 旧社民・社大両党県聯合同し，社会大衆党広島県支部联合会結成。

12-11 広島県澁海苔検査規則制定〔県令 35〕

12-14 広島カフェ聯盟国防婦人会創立総会と発会式を広島偕行社で挙行。85 業者の女給 551 人参加〔朝日 12. 15〕。

12-14 比婆郡田森村で神龍湖殉難記念館落成披露式挙行〔朝日 12. 16〕。

12-18 農山漁村経済更生特別助成規程制定〔告示 912〕。

12-19 広島県観光協会創立総会，広島市山陽記念館で開催。県内 35 観光団体を統合〔朝日 12. 20〕。

12- 備後本場畳表同業組合・備後本口畳表同業組合合併し，備後畳表同業組合と改称。136

12- 東洋工業，小型四輪自動車の試作研究開始。'40-5-試作完了。

この年，海田市町の耕地 15 万坪・海面(漁業権)8 万坪を陸軍が買収。これにより同町ぶどう作・養蠶業不振となる。163

1937(昭和 12)[丁丑]

1- 1 安芸郡府中村に町制施行〔'36 年告示 946〕。

1- 8 早川三郎，警視總監に転じ，富田愛次郎(前三重県知事)，県知事に就任。9

1-11 斉藤勤治，尾道市長に就任。133

1-12 広島県修練農場，第 1 回練習生 31 人の入場式を挙行〔朝日 1. 16〕。

1-15 麒麟麦酒株式会社広島営業所開設。*

1-27 渡辺庄三郎，三原市長に就任〔朝日 1. 28〕。

- 2- 1 旧藩主浅野長勲没 (96 歳)。50
- 2- 2 林銑十郎内閣成立。
- 2-12 在日朝鮮人児童教育のため広島市福島町に簡易学校を開設〔芸日 2. 11〕。
- 2-15 松永商工会発会式举行〔朝日 2. 17〕。
- 2-28 広島市皆実町に初のアイススケート場オープン。30
- 3- 1 双三郡十日市町・八次村を合併し、十日市町設置〔告示 202〕。
- 3-11 労農無産協議会、政党へ転換。日本無産党と改称。
- 3-13 呉海軍共済組合病院で看護婦などに腸チフス発生。-29 患者 70 人に達する。843
- 3-20 日本興業銀行広島支店開設。28
- 3-25 広島県農工銀行、日本勧業銀行と合併し解散、日本勧業銀行広島・福山両支店開設。
28
- 3-27 三次信用組合設立 (のち三次信用金庫)。*
- 3-31 広島市工業学校および広島市第二商業学校 (市立) 設置認可〔文部省告示 184・185〕。
- 4- 1 高田郡向原村に町制施行〔告示 302〕。
- 4- 1 豊田郡瀬戸田町・西生口村を合併し、瀬戸田町設置〔告示 318〕。
- 4- 1 御調郡吉和村・栗原町を尾道市に編入〔告示 328〕。
- 4- 1 福山市立実費診療所を移管し、日赤広島支部福山診療所開設〔朝日 4・2〕。
- 4- 5 防空法公布。
- 4- 9 広島県水産試験場鞆支場廃止〔告示 350〕。
- 4-13 満州国第 1 広島村建設先遣隊、広島を出発。6-17 建設予定地 (東安省密山県六人班地区) に入植〔朝日 4. 14〕。
- 4-16 広島県傷痍軍人会を改組し、大日本傷痍軍人会広島支部創立。会員 1000 人余〔朝日 4. 17〕。
- 4-24 三原市糸崎町日東セメント従業員約 50 人、賃上げを要求しストライキ。-25 日給 5 銭値上げで解決〔朝日 4. 27〕。
- 4-30 第 20 回衆議院議員総選挙執行。1 区古田喜三太・藤田若水 (以上民政)・名川侃市 (政友)・岸田正記 (昭和)、2 区木原七郎・山道襄一 (以上民政)・肥田琢司 (政友)・望月圭介 (昭和)、3 区土屋寛・作田高太郎 (以上民政)・宮沢裕・森田福市 (以上政友)・永山忠則 (昭和) 当選。346
- 4- 広島通信講習所高等科 2 部制となる。第 2 部は一般より募集。25
- 5- 1 広島電気協会広島試験場開設 (のち日本電気計器検定所広島試験場)。*
- 5- 1 県知事、ひとのみち教団の県内 5 支部・7 支所・2 出張所に対し、設立許可取消を指令〔朝日 5. 3〕。
- 5- 2 ひとのみち教団福山支部、解散命令で祭壇を撤去〔朝日 5. 3〕。
- 5- 4 水野甚次郎、呉市長に就任。295
- 5-20 県下 2 号国道改修促進期成同盟会、広島・尾道・福山・三原など 4 市 31 町村により結成〔朝日 5. 21〕。
- 5-22 ヘレン・ケラー来広。袋町小学校講堂で講演〔朝日 5. 23〕。
- 5-25 商工組合中央金庫広島支所設立。
- 6- 4 第 1 次近衛文麿内閣成立。
- 6- 4 体位向上方策調査委員会規則制定〔告示 503〕。
- 6- 7 県東部自動車検査所、尾道市吉和町に完成し、落成式举行〔朝日 6. 8〕。
- 6- 7 警察部書記室を廃し、情報課設置。21
- 6-30 宇品港域地方防諜団結成。軍民一致の防諜組織としては全国初〔朝日 7, 7〕。
- 7- 1 芸備鉄道広島～備後十日市間を買収国有化、広島～備中神代間を芸備線と命名。26
- 7- 1 耕地整理出張所、県庁内ほか 5 か所に設置〔告示 538〕。
- 7- 1 広島・尾道両水上警察署廃止。21
- 7- 2 広島市の山陽木材防腐会社従業員、ストライキに突入。-5 ハンスト決行〔芸日 7. 3〕。

- 7- 3 全日本労働総同盟広島労働組合北備一般支部結成〔芸日 7. 8〕。
- 7- 5 広島市西白島町私立半田救護所で火事，留置精神病者のうち 22 人焼死〔朝日 7. 6〕。
- 7- 7 蘆溝橋事件勃発（日中戦争の発端）。
- 7- 9 県社会事業協会，佐伯郡地御前村など 5 か所に，児童健康相談所の設置を決定〔朝日 7. 10〕。
- 7-14 県庁内に北支事変事務委員会を組織〔朝日 7. 16〕。
- 7-14 広島市・尾道市・三次町で北支事変を全面的に支持する市（町）民大会を開催。-15 三原市，-16 福山市でも〔朝日 7. 15～17〕。
- 7-15 県知事，県民に北支事変への協力を求める〔告諭〕。
- 7-21 県知事，県内の報道機関・産業金融・教育・宗教・社会事業など 30 団体の代表者に銃後の支援など協力を要請。460
- 7-22 非常労務需給対策協議会開催。軍部および県の関係者出席。460
- 7-26 北支事変後初の傷病兵，宇品に上陸し，県兵事係長が出迎える。460
- 7-26 非常時事変労務奉仕団結成のため広島市長と賀茂・佐伯・安芸・安佐郡内の関係 32 町村長・青年学校長・男女青年団長ら約 1000 人を県会議事堂に招集〔中国 7. 25〕。
- 7-27 第 5 師団に動員下令。7-31 動員完結。463
- 7-30 全総広島労働組合，社会大衆党広島支部合同緊急執行委員会，軍事救護法実施対策，出征軍人家族慰問会設置を決定。
- 7-31 広島県・広島市・広島商工会議所，出征将校歓送会を開催。460
- 7- 昭和鉱業株式会社創業（のち三井金属鉱業所竹原製錬所）。28
- 8- 1 広島駅裏側に軍用ホーム 2 本と軍用線を敷設。26
- 8- 1 第 5 師団歩兵第 11 聯隊・歩兵第 41 聯隊の応急動員主力，北支派遣のため宇品港出發。463
- 8- 3 広島県方面委員聯盟，広島県聯合方面委員会と改称〔訓令 18〕。
- 8- 5 中国融和聯盟結成。
- 8- 9 広島二中，全日本バレーボール選手権男子中等で 2 連勝。広島市女，関西女子庭球大会で優勝。30
- 8-10 社会大衆党芸北支部，大会で軍事扶助法を広範囲に適用することなどの要求をまとめ，町村当局に実施をせまる。761
- 8-12 全総広島労働組合・同備北一般支部・社大党双三支部，北支事変出征家族救援資金 27 円 58 銭を集め三次警察署に渡す。
- 8-20 広島・呉両市とその周辺で防空演習を実施（～21）。460
- 8-24 臨時県会開会（～25）。支那事変に伴う経費 14 万余円を含む追加予算を可決。14
- 8-24 広島防衛司令官，管内官民に空襲に対する準備と訓練を求める。317
- 8-31 広島地方資金自治調整銀行団発足。芸備・呉・備南・三次・長周・大島の 6 銀行参加。28
- 8- 朝鮮人融和団体広島県協和会設立。21
- 9- 7 尾道市防護団の防空演習で全市の燈火管制を実施〔朝日 9. 8〕。
- 9-10 広島測候所松永支所設置〔告示 808〕。
- 9-12 在郷軍人会福山聯合分会，福山公園内招魂社で戦勝祈願祭執行〔芸日 9. 13〕。
- 9-13 広島市福島町で銃後の守りのため町民大会を開催〔芸日 9. 15〕。
- 9-18 広島市でコレラ患者発生し，同市および安芸郡で流行（～30）。患者 40 人，うち 15 人死亡。460
- 9-26 第 9 回神宮大会，バレーボール男子中等で広島二中優勝。30
- 9-28 国民精神総動員広島県実行委員会結成。460
- 9-29 満州農業移民のため第 1 広島村建設本隊 240 人の募集に着手。本隊募集懇談映画会開催（～10-6）〔朝日 10. 1〕。
- 9-30 県知事，出征・応召軍人遺家族の救護に関し訓令〔訓令 26〕。

- 9- 支那事変勃発以来、ラジオ受信機が次々と売れ、品切れ状態となる〔朝日 9.11〕。
- 10- 1 警察部に防空課設置。21
- 10- 1 全総三原労働組合結成。38
- 10- 4 非常時教育推進のため国民精神文化短期講習会を開催(～7)〔朝日 10.1〕。
- 10- 5 防空計画を設定すべき市町村長として広島市長・呉市長を指定〔告示 891〕。
- 10- 6 広島県、八幡8社巡りの廃止を、各町村にあて通牒〔朝日 10.7〕。
- 10-10 賀茂郡竹原町で国防・愛国・仏教・天理教・華頂の5婦人団体および母の会を統合し、竹原婦人会を結成〔朝日 10・12〕。
- 10-12 国民精神総動員中央聯盟結成。
- 10-13 第1回国民精神総動員強調週間実施(～19)。460
- 10-19 広島県立診療所規則制定。開業医の存しない町村に診療所を設置することを定める〔告示 916〕。
- 10-21 コレラ終息によりすべての海面使用を解禁〔朝日 10.22〕。
- 10-24 国威宣揚県民大会を広島市西練兵場で開催。460
- 10-24 呉市ではじめてのアイス・スケート場、河内スケート場開場〔朝日 10.26〕。
- 10-29 中国四国都市農会聯合会(9県17市農会)、創立総会を県農会事務所で開催〔朝日 10.28〕。
- 11- 4 国民精神総動員婦人強調週間実施(～10)。460
- 11- 5 県下中等学校聯合野外演習実施(～6)。36校4500人の生徒が参加〔朝日 10.30〕。
- 11- 6 日独伊防共協定成立。
- 11- 9 太原陥落。第5師団、太原攻略戦に参加。463
- 11-10 井伏鱒二『ジョン万次郎漂流記』(直木賞受賞作品)刊行。83
- 11-15 呉市内5女子中等学校の愛国子女団合同発団式挙行〔朝日 10.16〕。
- 11-16 前田陸雄ら、新興仏教青年同盟事件で検挙される。37
- 11-18 通常県会開会(～12-17)。出征軍人遺家族援護、銃後産業振興、その他事変関係の審議を行う。14
- 11-19 呉工廠で航空母艦千代田の進水命名式挙行〔朝日 11.19〕。
- 12- 1 広島県立緑井孵卵場、安佐郡緑井村に設置〔告示 1013〕。
- 12- 3 国民精神総動員産業週間実施(～9)。460
- 12-12 木次線八川～備後落合間開通し、陰陽連絡なる。26
- 12-12 広島市で南京陥落を祝い10万人が提燈行列。県内各地で祝賀行事挙行〔中国 12.13〕。
- 12-13 日本軍、南京を占領。大虐殺事件起こる。
- 12-15 第1次人民戦線事件。
- 12-15 大日本国防婦人会広島本部第1回総会、広島偕行社で開催。2市6郡220分会より会員700人出席〔朝日 12・16〕。
- 12-17 広島県地方工業化委員会規程制定〔告示 1064〕。’38-3-22 初会合〔朝日 3.23〕。
- 12-22 日本無産党・日本労働組合全国評議会結社禁止。
- 12-27 広島電気、株主総会で電力国家管理反対を決議。29
- 12-28 自作農創設維持奨励規則制定〔県令 51〕。
- 12- 東洋工業、三八式歩兵銃および九二式騎兵銃の部品生産開始。646
- この年**、交通事故による死者51人に達する。21

1938(昭和13)[戊寅]

- 1- 1 安佐郡祇園村に町制施行〔’37年告示 1091〕。
- 1- 2 宇品～大君間定期船緑丸、元宇品沖で沈没、死者43人。21
- 1- 5 広島高、全国高校サッカーで優勝。30
- 1- 5 比婆・双三両郡内小中学校教員50人を集め吾妻山で第1回スキー指導講習会を開催

(～7) [朝日'37. 12. 28]。

1-11 厚生省設置。

1-14 広島県，全国初の傷痍軍人職業相談所を開設 [朝日 1. 22]。

1-15 電気協会中国支部，臨時総会で電力国家管理絶対反対を決議。29

1-22 県下興業組合聯合会臨時総会，観覧税撤廃要望を決議。55

1-25 東洋工業，陸海軍共同管理工場に指定。646

2- 1 広島瓦斯電軌，広島乗合自動車を合併し自動車部を創設。27

2- 1 人民戦線第2次検挙で佐竹新市(県会議員，社会大衆党県連書記長)・村井一夫，逮捕される。742

2- 6 大日本農民組合結成。

2-11 国民精神総動員第2回強調週間実施(～17)。460

2-11 県知事，紀元2600年記念青年勤労報国運動に関する声明を発表。932

2-21 警報伝達および燈火管制を目的とする防空訓練を実施(～23)。460

3- 1 麒麟麦酒広島工場竣工。-14 醸造開始。1258

3- 5 中国産業株式会社(佐伯郡廿日市町)創立総会開催。7-25 中国酒類醸造株式会社と合併し，中国醸造株式会社と改称。638

3- 5 全農広島県連，農民組合広島県聯合会と改称し，単独組合として組織の存続をはかる。765

3-11 満蒙開拓青少年義勇軍壮行式を広島市の武徳殿広場で挙行。茨城県内原訓練所へ220人を送り出す [朝日 3. 12]。

3-18 広島電機学校(広島市大手町)設置認可。-31 広島高等学院廃止。1008

3-22 呉海軍地区を除く全県下で総合的防空訓練を実施(～25)。460

3-25 呉市主催支那事变博覧会，二河公園で開催(～4-23) [朝日 3. 25]。

3-28 第1回防空委員会，広島市山陽記念館で開催 [朝日 3. 26]。

3-28 臨時県会開会(～29)。大原博夫(豊田郡)，第30代議長に当選。支那事变費56万余円など追加予算を可決。14

3-30 広島県社会事業協会府中救護院設置認可 [告示 255]。'39-1-11 開院式 [朝日 1. 13]。

3-31 海員組合因島支部，海上国民精神総動員聯盟発会式を挙行。40

4- 1 国家総動員法公布。

4- 1 広島県立機械工養成所，福山市野上町に設置 [告示 228]。

4- 1 福屋百貨店，地上8階，地下2階，全館冷暖房つき店舗を完成させ開店。651

4- 1 国民健康保険法公布。

4- 1 格致中学校，県へ移管され，広島県立格致中学校と改称(現庄原格致高校) [告示 241]。1000

4- 1 土生高等女学校，県へ移管され，広島県立土生高等女学校と改称(現因島高校) [告示 244]。

4- 3 青年勤労報国運動の宣誓式挙行 [朝日 4. 5]。

4-13 イタリア政府派遣ファシスト訪日親善使節団一行来県 [朝日 4. 14]。

4-17 自治制公布50年記念式典，東京で開催。広島県から知事代理はじめ市町村長300余人が出席 [朝日 4. 17]。

4-21 ガソリンの節約を期し第1回消費規正委員会，県農会で開催 [朝日 4. 22]。

4-25 賀屋興宣蔵相を迎え広島市で経済大講演会を開催 [朝日 4. 26]。

4-27 大連・奉天・新京・ハ爾濱・天津・上海・神戸に広島県産業奨励館事務所を設置 [告示 318]。

4-28 尾道市で木炭バス1台運転開始。予期以上の好成績挙げる [朝日 5. 1]。

4-30 第5師団，徐州作戦に参加(～5-29)。463

4- '26年以来閉鎖の大阪鉄工所三庄工場操業再開。643

5- 1 東洋工業，GA型三輪トラック“グリーン・パネル”発売。三輪トラック市場に不動

の地位を築く。646

- 5- 1 広島県水産試験場草津支場，本場に昇格〔告示 327・328〕。
- 5- 1 広島県立青年学校専任教員臨時養成講習所設置。8-5 広島県立青年学校教員養成所臨時養成講習科に改組。44
- 5-17 国民精神総動員健康週間実施(～23)〔朝日 5.17〕。
- 5-19 県内各中学校の校長，訓練主任者および生徒代表を召集し，勤労報国運動の起興式を挙行〔朝日 5.20〕。
- 5-21 広島県総務部に貯蓄奨励課を新設し，国民貯蓄奨励運動を開始。14
- 5-22 社大党広島支部，国民精神総動員演説会を広島市楠木町大芝説教所で開催。38
- 6- 1 広島県軍事援護中央相談所設置。市町村相談所事業の指導・援助等にあたる〔告示 368〕。
- 6-16 満州第2 広島村建設先遣隊，壮行式挙行〔朝日 6.17〕。
- 6-21 広島県応召商業者援護委員会規程制定〔告示 420〕。
- 6-21 国民精神総動員貯蓄報国強調週間実施(～27)〔朝日 6.21〕。
- 7- 1 恩給金庫広島支所開設。28
- 7- 1 職業紹介所，国に移管され，広島・呉・尾道・福山・三次の各職業紹介所と広島・呉の各労働紹介所設置〔厚生省告示 88〕。
- 7- 3 広島市で国防競走大会開催。30
- 7- 7 広島県主催支那事変戦没者慰霊祭，広島市西練兵場で執行〔朝日 7.8〕。
- 7-15 広島県木材検査規則制定。8-1 施行〔県令 27〕。
- 7-16 広島県女子中等学校勤労報国運動起興式，広島市武徳殿で挙行〔朝日 7.17〕。
- 7-20 広島県木材検査所，県庁内に設置〔告示 478〕。8-1 出張所を9か所に，木材検査員駐在所を90か所に設置〔告示 490〕。
- 7-28 府中町(現府中市)～上下間開通し，福塩南北両線全通，福塩線と改称。26
- 7-30 産業報国聯盟創立。
- 7-31 警察部保安課に経済警察係5人，県内各警察署に42人の専務員を置く(経済警察の発足)。21
- 7-31 株式会社占部造船鉄工所創業(現内海造船株式会社田熊工場)。*
- 7-31 日本赤十字社広島療院，佐伯郡大野村に竣工〔朝日 7.27〕。
- 8- 1 地方物価委員会，商品別の公定価格を決定。9-15 告示〔告示 625・626〕。いわゆるマル公時代に入る。1238
- 8- 9 福山市軍事援護相談所，事務を開始。戦没者遺族間の金銭問題をめぐる紛争の調停・防止，応召軍人家族の生活保護等にあたる〔朝日 8.11〕。
- 8-10 広島県満州農業移民訓練所，七塚原に竣工〔朝日 8.12〕。
- 8-20 広島県立福山保健所，福山市入船町に開設〔告示 565〕。
- 8- 庶民金庫広島支所開設。28
- 9- 1 大日本国防婦人会広島地方本部機関誌『広島国婦』創刊。797
- 9- 6 人民戦線事件で検挙の県会議員佐竹新市，辞表を提出〔朝日 9.7〕。
- 9- 8 警察部長，風俗営業取締要綱を制定。料理屋・貸座敷・遊戯場等の新設を認めず，営業時間を夜12時まで制限。ダンスホールは国情に反するとして禁止。21
- 9-14 第5師団，広東攻略戦に参加(～11-10)。463
- 9-15 福山三原間国道改修速成同盟联合会，関係市町村長代表を上京させ，内務・大蔵両省に陳情〔朝日 9.17〕。
- 9-24 福山市・福山商工会議所共催福塩線全通記念時局博覧会開催(～10-23)〔朝日 9.24〕。
- 9-28 広島商工会議所議員総会，政府当局に統制経済の是正に関する建議を可決〔朝日 9.29〕。
- 10- 1 深安郡中津原村・森脇村・下岩成村・上岩成村を合併し，御幸村設置〔告示 616〕。
- 10- 1 農地調整法にもとづき276市町村に農地委員会を設置。-28 71 町村に設置〔告示 666・

736]。

- 10- 1 広島県傷痍軍人職業再教育所，広島市基町に設置〔告示 651〕。12-13 所屋竣工し開所〔朝日 12. 7〕。
- 10- 6 鮮満案内所主催鮮満土産品展覧会広島県産業奨励館で開催〔朝日 10. 4〕。
- 10- 9 大阪朝日新聞社尾道・福山両通信部主催・県体育協会後援により県下中等学校ならびに青年団第 1 回福山・尾道・三原 3 都往復大駅伝競争実施〔朝日 10. 9〕。
- 10-15 広島県・内務省共催防空展覧会，広島市福屋百貨店で開催(～21)〔朝日 10. 12〕。
- 10-25 広島 Y M C A 発会式挙。 49
- 10-30 呉～広島第 1 回軍都連絡少年駅伝実施。 30
- 11- 4 全日本バレーボール選手権で広島二中・広島市女が連続優勝。 30
- 11- 8 第 1 回広島県金融懇談会開催。 11 月 15 日より金利引下げ実施を決定。 28
- 11- 9 富田愛次郎，退任し，飯沼一省（前静岡県知事），県知事に就任。 9
- 11-12 転向者団体中四思想報国同友会結成。 1240
- 11-16 通常県会開会(～12-14)。日本軍の広東入城・武漢三鎮攻略に祝電。’39 年度予算総額 1402 万 7914 円は前年度より 125 万余円減。知事は国策に順じ物資労力の需給調整，消費節約の徹底を期したと説明。 14
- 11-19 可部・竹原・庄原・府中各職業紹介所設置〔厚生省告示 153〕。
- 11-24 広島県中央商工相談所，広島県産業奨励館内に開設〔告示 829〕。
- 11-26 中国吹奏楽団聯盟を結成し合同演奏会・市中行進を行う。 49
- 11- 大阪商船宮島遊覧線，配船難となり廃止。 640
- 11- 神石郡農会長，県知事あてに精粉検査要望の陳情書を提出。 35
- 11- 三原市の平田薬物研究所で県内初の産業報国会結成。 21
- 12- 1 広島県工業製品高級化委員会設置。中小工業製品の高級化に関する事項を調査・審議〔告示 825〕。
- 12- 1 各界関係者を網羅した広島県貯蓄奨励委員を任命。 176
- 12- 8 呉軍港防諜週間始まり，ドイツ映画「スパイ団を衝く」を地球館で上映。業種別防諜団体の結成相次ぐ。 55
- 12-14 小林寿夫，福山市長に就任。 343
- 12-17 神高線存続期成同盟会，鉄道存続を広島鉄道局長に陳情。 519
- 12-27 農地調整法施行細則制定〔県令 59〕。
- 12-27 佐伯郡平良村・高田郡可愛村・世羅郡神田村・比婆郡敷信村に国民健康保険組合設立。 833
- 12-27 救護施設尾道市立清風園設置認可〔告示 10〕。

1939 (昭和 14)〔己卯〕

- 1- 5 平沼騏一郎内閣成立。
- 1- 7 無医村の甲奴郡領家村で県立診療所の開院式挙。県内 55 か村にのぼる無医村では最初〔朝日 1. 11〕。
- 1- 9 広島県肥料卸商業組合，肥料配給統制案の実施にあたり「深甚なる考慮」を払うよう政府その他に陳情書を発送〔朝日 1. 11〕。
- 1-10 東洋機械株式会社，安佐郡祇園町に設立(のち三菱重工業広島造船所祇園工場)。 657
- 1-10 呉署特高係，発禁図書に関し，市内各書店を臨検。 56
- 1-12 農業報国聯盟広島県支部結成〔朝日 1. 13〕。
- 1-15 大相撲春場所 4 日目，安芸海が双葉山の 70 連勝を阻む。 30
- 1-22 尾道市営バス，ガソリン節約のため石油バスの試験運転を開始〔朝日 1. 25〕。
- 1-23 七塚原修練道場で大日本聯合青年団銃後勤労報国運動の協議懇談会を開催(～25)。広島県はこの運動を他県に率先して実践〔朝日 1. 25〕。

- 1-26 広島県、各市町村長に銃後奉公会を設置するよう指示〔社時 19-2〕。
- 1-27 広島県経済更生委員会規則・広島県郡経済更生委員会規則制定。委員会は生産・販売・配給統制を含む時局に伴う重要農林対策にあたる〔告示 45・46〕。
- 2- 1 広島栄養食配給組合、栄養食の配給を開始〔朝日 1. 27〕。
- 2- 9 傷兵保護院傷痍軍人広島療養所、賀茂郡寺西村に設置。11-27 新館竣工し、開所式〔朝日 11. 28〕。*
- 2-10 尾道石工組合従業員 22 人、賃上げを要求しストライキ。3-警察の調停で適当な時期に賃上げすることで解決。雇主・従業員の円満を図るため組合を解散し、尾道石材親和会を結成〔芸日 2. 11, 3. 19〕。
- 2-21 県経済警察協議会、第 1 回協議員会を開催〔朝日 2. 22〕。
- 2-26 自動式交換の広島西電話局開局〔朝日 2. 25〕。
- 2- 広島県地方病撲滅組合結成。21
- 3-14 上京中の尾道市助役・同市会議員一行、尾道鉄道尾道～市間の国営移管と市～下川辺間の国有鉄道敷設とを貴衆両院に請願〔朝日 3. 15〕。
- 3-15 県内初の三原市商業報国会結成式挙行〔朝日 3. 17〕。
- 3-18 広島昭和高等女学校設置認可〔文部省告示 138〕。4-15 開校。
- 3-20 神戸税関広島出張所、広島税関支署に昇格。476
- 3-21 広島県結核予防協会、中央結核予防協会広島県支部に改組。846
- 3-23 佐伯郡小方村で大竹町との合併反対派、合併反対村民大会を開催。-26 にも。139
- 3-25 広島県皇軍慰問団を華北・華中方面に派遣。14
- 3-25 中国新聞社、興亜聖戦博覧会を開催。1020
- 3-27 呉市立工業学校設置認可(現呉工業高校)〔文部省告示 167〕。
- 3-27 広島控訴院管内中国・四国 6 県の弁護士联合会、認可され、各県代表会を開催。4-1 発会〔朝日 3. 29〕。
- 3-30 土屋寛、尾道市長に就任。133
- 3-31 警防団施行細則を制定し、消防組を廃し、各市町村単位に警防団の結成を促す〔県令 27〕。
- 3-31 特設自衛団体規則制定。工場・会社・商店・病院・興行場・官公庁・学校に防空に従事する特設自衛団を結成させる〔県令 28〕。4-1 施行。
- 3-31 賃金統制令公布。県内では 582 工場(就業人員 2 万 3896 人)に適用。128
- 4- 1 薄荷検査規則制定〔県令 29〕。県営検査は北海道・岡山県について 3 番目。35
- 4- 1 広島県林産物検査所、県庁内に設置(広島県木炭検査所・広島県木材検査所は廃止)〔告示 213〕。
- 4- 1 広島県機械工養成所、広島県機械工訓育所と改称〔告示 221〕。
- 4- 1 日本発送電株式会社設立。同広島出張所開設。29
- 4- 1 広島県立臨時小学校教員養成所、広島県師範学校に併置〔告示 212〕。
- 4- 1 広島県師範学校に、満州・中国派遣教員の養成を目的とする本科第二部大陸科を設置。
- 44
- 4- 1 広島招魂社を広島護国神社、福山招魂社を福山護国神社と改称〔内務省告示 142〕。
- 4- 5 広島電気、島根電力を譲受。29
- 4- 5 国防婦人会第 5 師管本部発会式挙行。会員広島・山口・島根 3 県、40 万人〔朝日 4. 6〕。
- 4- 8 宗教団体法公布。
- 4-20 広島県立青年学校教員養成所に女子部を設置(広島県立吉田高等女学校に併設)。44
- 4-23 宇品凱旋館、第 1 期工事竣工〔朝日 4. 22〕。
- 4-26 広島市立工業学校開校。282
- 4-29 大阪鉄工所因島工場産業報国会発会式挙行。38
- 5- 1 日本赤十字社広島支部病院開院。*
- 5-12 ノモンハン事件。

- 5-14 県体育協会主催の体操大会，広島・呉・尾道・福山・三原の5市および三次町で開催。集団体操の普及，団体訓練の強化，国民の体力増進をはかる〔朝日 5.14〕。
- 5-15 福山協和会館，新築落成式挙行。朝鮮人の修養道場〔朝日 5.16〕。
- 5-16 警察部に経済保安課を設置。防空課を警防課と改称。22
- 5-23 臨時工業教員養成所，広島高等工業学校に附設。44
- 6- 5 在郷軍人会福山支部，警察署区域を単位に豊田・賀茂・比婆・沼隈の聯合分会を改組〔朝日 6.8〕。
- 6- 7 臨時県会開会（～9）。軍事援護費など追加予算総額 192 万 7733 円，総合運動場建設費などを可決。14
- 6-12 県貯蓄奨励課を国民精神運動課と改称〔朝日 6.13〕。
- 6-30 広島県水産物検査規則制定〔県令 39〕。
- 7- 1 広島県種畜場を広島県油木種畜場，広島県種畜場七塚原分場を広島県七塚原種畜場と改称〔告示 433～5〕。
- 7- 1 沼隈郡山波村を尾道市に編入〔告示 399〕。
- 7- 1 賀茂郡西条町・吉士実村・御菌宇村・下見村・寺西村を合併し，西条町設置〔告示 401〕。
- 7- 1 広島県興行協会設立。21
- 7- 3 広島県，干害対策の特別事務および督励活動を開始。32
- 7- 6 干害に悩む備後路で一斉に大焚火を燃やし雨乞いを行う〔朝日 7.9〕。
- 7- 7 広島県協和会，支那事変勃発 2 周年を記念して武運長久祈願式を挙行。広島市内の協和会員（朝鮮人）600 人を動員〔社時 19-8〕。
- 7- 8 国民徴用令公布。
- 7-10 深安郡神辺町川南地区と御幸村中津原地区の農民，堰門を開くか否かで水争い〔朝日 7.12〕。
- 7-11 尾道市で排英市民大会開催。「打倒英国，頑張れ現地」「断じて譲るな東京会談」をスローガンに全市中デモ行進〔朝日 7.13〕。
- 7-21 日本発送電，広島地区電力制限実施。広島電気・中国合同電気，自主的電力制限実施（～31）。29
- 7-22 広島県特設教員養成所を三原女子師範学校に併設〔告示 497〕。
- 7-25 広島県総合運動場建設事業計画閣議決定される。8
- 8- 4 戦没者の遺児 21 人，靖国神社参拝のため上京。-8 帰県〔朝日 7.28〕。
- 8- 5 三原市西野町アトライト工場で労働者が産報共済部委員をつきあげ賃上げ争議。1 割 5 分賃上げで解決。同市主要工場中最高賃金となる〔芸日 8.7〕。
- 8- 8 広島県郷学振興委員会規則制定〔告示 537〕。
- 8-21 沼隈郡松永町で経済更生促進協議会を開催し，干害対策として国費・県費の助成を要望する陳情書を知事に発送〔朝日 8.23〕。
- 8-21 広島一中，全国中等学校サッカー選手権で優勝。30
- 8-21 広島県社会事業協会，社会館を広島市大手町に新設〔朝日 8.22〕。
- 8-22 県参事会，干害対策費 55 万 815 円を可決〔朝日 8.23〕。
- 8-30 阿部信行内閣成立。
- 8-31 広島県立青年学校教員養成所，県立西条農学校より高田郡吉田町に移転（広島県立吉田農学校に一時併設。'40-8-4 新校舎完成）。44
- 8- 広島電気，立岩ダム竣工。29
- 9- 1 第 2 次世界大戦始まる。
- 9- 1 第 1 回興亜奉公日。県知事，自粛自戒を実生活に具現し，禁酒・禁煙，一汁一菜の食事，早起，徒歩主義等の実行を奨励〔朝日 9.1〕。
- 9- 5 飯沼一省，神奈川県知事に転じ，相川勝六（前宮崎県知事），県知事に就任。9
- 9- 6 第 5 師団，満州転進のため青島港出発。463

- 9- 7 県内町村長・農会長大会，早魃救済対策につき決議。36
- 9- 8 干害に伴う食糧対策のため臨時米穀配給統制部を設置。14
- 9-10 7～8月の雨量45.6mm(平年の14%)，未曾有の干魃のため，この日までに田植見込面積7万3722町に対し，田植不能地4623町，枯死面積3万8993町，枯渇面積2072町に達する。42
- 9-13 全日本労働総同盟広島労働組合解散。38
- 9-25 県会議員選挙執行(定員46名)。14
- 9-26 タクシーの深夜営業を停止。56
- 10-15 海軍官業労働組合聯盟，海軍工員勤労興国組合聯盟と改称。731
- 10-17 県知事，干害復興・精神振興祈願祭を執行〔朝日10.12〕。
- 10-18 価格等統制令・地代家賃統制令・賃金臨時措置令・電力調整令公布。9月18日の水準に価格等を据置き(9-18ストップ令)。
- 10-18 久松侍従，干害視察のため来県。21
- 10-18 広島県商工更生委員規程制定。商工業者の休失業対策にあたる〔告示701〕。
- 10-19 水平社県聯中野繁一を取調べの検事が差別発言。糾弾運動展開され，'40-1-8解決。725
- 10-20 全日本労働総同盟福山労働組合解散。38
- 10-21 臨時県会開会(～23)。民政党，加藤・大原両派對立し，役員改選を行なわぬまま会期満了となる。14
- 10-28 第5師団，南支転進のため大連港出発。463
- 10-30 県内官・公・私立の大学・専門学校および中等学校の学生・生徒5000人を動員し，連合野外演習を実施(～11-1)〔朝日10.27〕。
- 10- 肥料配給統制規則の施行により肥料割当制となり，県段階は産組県聯60%，商業組合40%，町村は産組一元化に決定。36
- 11- 1 県立広島測候所，国営に移管される〔文部省令51〕。
- 11- 1 『広島県総動員』創刊。
- 11- 1 紀元2600年奉賛大展覧会，広島市福屋百貨店で開催(～13)〔朝日10.27〕。
- 11- 1 第3回興亜奉公日にあたり県内5市の商店街一斉に休業〔朝日11.1〕。
- 11- 3 三谷文太郎，産業報国倶楽部創立宣誓式(伊勢宇治山田・猿田彦神社)に出席，理事に選出される。38
- 11- 7 中国・四国医師聯盟結成大会，広島市で開催。846
- 11-10 地代家賃統制令施行細則制定〔県令61〕。
- 11-14 尾道商工業組合協会主催により中四国商業組合大会を開催。商権擁護を決議し，中国四国商業組合聯盟結成を決定〔朝日11.15〕。
- 11-18 通常県会開会(～12-16)。加藤俊夫(広島市)，第31代議長に当選。干害対策事業費810万余円など可決。広島工業港築設要望の意見書を可決。14
- 11-18 賃金臨時措置令施行細則制定〔県令64〕。
- 11-20 広島県実業教育振興会発足〔朝日11.21〕。
- 11- 油谷機械工作所広島工場，安佐郡祇園村に設立(のち油谷重工広島製作所)。*
- 12- 1 三原市で大豆の産地高を理由に豆腐の値上げを断行。-6 当局の注意により撤回〔朝日12.8〕。
- 12- 6 小作料統制令公布。
- 12-12 浅野家，泉邸を広島県に寄贈することを申し出る。336
- 12-15 広島など瀬戸内の8県知事連名で企画院総裁に応急・恒久の干害対策を要望〔朝日12.16〕。
- 12-21 少年犯罪防止座談会，広島県社会館で開催〔社時20-2〕。
- 12-26 神高鉄道株式会社，神辺～高屋間の鉄道を井笠鉄道に譲渡。519
- 12-26 藤田若水，広島市長に就任。1225

1940 (昭和 15)[庚辰]

- 1- 5 豊田郡吉名村，米の自主的消費規制，1人1日3合平均配給の通帳制実施。85
- 1-12 広島県参事会，干害対策応急費 1008 万円を最終決定。32
- 1-15 岡山米穀事務所広島出張所，広島米穀事務所に昇格〔農林省告示 16〕
- 1-15 広島県総合グラウンド（広島市南観音町）地鎮祭・起工式挙行〔朝日 1. 16〕。
- 1-16 米内光政内閣成立。
- 1-18 県知事以下県庁幹部総出動して，県内 31 か所で郡部の常会指導者講習会を開催（～2-4）。249
- 1-19 賀茂郡西高屋村で産業組合取扱いの一般商品の切符制を実施。603
- 2- 1 紀元 2600 年の奉祝記念事業として毎月興亜奉公日に各市町村を中心に，「広島県号」飛行機献納・廃品回収運動を展開することになり，この日，第 1 回実施。248
- 2- 1 広島共興購買組合（朝鮮人の消費組合）の幹部権永準ら 12 人，玖島三一とともに治安維持法違反で検挙される。40
- 2-10 中国地区に電力調整令による電力消費制限発動。3-10 解除。29
- 2-10 県内各地に単位産業報国会成立し，広島県産業報国会聯合会（のち広島県産業報国会）結成〔中国 2. 11 夕刊〕。
- 2-12 広島臨時教員養成所を広島文理科大学に設置。4-1 開設。44
- 2-17 県知事，紀元 2600 年にあたり，聖旨奉体・聖戦完遂を訴える〔告諭 1〕。
- 2-20 高田郡吉田町，帰郷者の健康診断を実施し，結核撲滅運動を展開。846
- 2-27 広島県干害対策委員会規則制定。176
- 2- 芸南電気軌道呉～長浜間電車開通。52
- 3- 1 広島県醸造試験場分室を賀茂郡三津町に設置〔告示 133〕。
- 3- 8 県農会，農繁期栄養食共同炊事講習座談会を開催。562
- 3-18 呉市で家庭（海軍関係者を除く）用砂糖の切符制を実施。603
- 3-20 福山市で，銃後奉公会結成〔朝日 3. 21〕。
- 3-20 中国新聞社，紀元 2600 年奉祝博覧会を福屋旧館で開催（～5-31）。1020
- 3-25 豊田郡名荷村で肥料の切符制を実施。603
- 3-29 蒟蒻検査規則を改正し，生芋・切干検査のほか精粉を強制検査とする〔県令 14〕。
- 3-30 『尾道市史』（上・中・下）完結。134
- 3-30 広島県三原工業学校設置認可。5-5 開校（のち三原工業高校）。1015
- 3- 広島県綿糸配給協議会を結成し，綿糸の割当制をはじめめる。33
- 4- 1 広島陸軍兵器支廠，広島陸軍兵器補給廠と改称。463
- 4- 1 宇品陸軍糧秣支廠，広島陸軍糧秣支廠と改称。
- 4- 1 広島県自動車学校設立。23
- 4- 1 広島県立臨時教員養成所，広島県立臨時小学校教員養成所と改称〔告示 216〕。
- 4- 1 宗教団体法施行細則制定〔県令 17〕。
- 4- 1 風俗営業時間の短縮実施。21
- 4- 2 広島県大柿実科高等女学校（大柿町立）設置（現県立大柿高校）〔告示 220〕。
- 4- 2 広島県音戸実科高等女学校（音戸町立）設置（現県立音戸高校）〔告示 218〕。
- 4- 4 宇品港域軍事取締法を陸軍輸送港域軍事取締法と改め，広島市周辺町村・佐伯郡沿岸部一帯に規制区域を拡大〔法律 91〕。
- 4-10 広島県醸造試験場分室を三次町に設置〔告示 286〕。
- 4-22 広島工業港修築期成同盟会，広島市袋町小学校で創立総会開催。総裁相川勝六県知事，会長加藤俊夫県会議長。538
- 4-24 広島県物価統制協力会議結成。673
- 4-25 呉脳病院設立。844

- 5- 2 広島県米穀配給統制組合を廃し，広島県食糧配給統制組合を結成。603
- 5- 5 三原商工会議所，創立総会を開催し，設立許可を申請〔朝日 5. 7〕。6-20 認可。673
- 5-17 府県制発布 50 周年記念式典，県会議事堂で開催〔朝日 5. 18〕。
- 5-24 県学務部長，児童生徒の勤労奉仕に関し各学校長に通達。933
- 5-29 日満経済広島懇談会，満州国民生部大臣一行 34 人を迎えて広島商工会議所で開催。
- 222
- 6- 2 軍事保護院・広島県主催，護れ銃後展覧会開催（～6-9）。250
- 6- 4 大竹町上水道建設地鎮祭執行。’41-9-完成。139
- 6- 6 臨時県会開会（～8）。広島工業港修築事業費 1972 万円（’40 年度以降 4 か年度継続）を可決。14
- 6- 6 米穀調査規則制定〔県令 26〕。
- 6-11 国民精神総動員本部・農業報国聯盟・広島県共催により戦時食糧報国運動協議会開催。
- 251
- 6-11 広島恩照塾（広島市比治山）竣工。青少年の修養と官吏の錬成にあたる。14
- 6-14 小作料統制令施行細則制定〔県令 28〕。
- 6-15 米穀調査実施。生産者・取引業者・倉庫業者・飯食店・一般消費者等各流通段階における米穀数量を調査〔県令 26・告示 412〕。
- 6-18 国民精神総動員広島県本部設置。7-1 役員を委嘱。14・176
- 6-18 福山地方産業報国会联合会結成〔朝日 6. 20〕。
- 6-20 広島鉄道診療所，広島鉄道病院と改称。26
- 6-24 近衛文磨，枢密院議長を辞任，新体制運動推進を表明。
- 6-24 広島工業港漁業補償問題につき，関係漁業組合代表，県・市当局と懇談し，知事へ白紙一任を決定。538
- 6-26 広島東署管内全工場に産業報国会結成され，広島東産業報国会联合会結成。工場懇話会支部解散。247
- 6-27 芦品郡の天然痘終息。真性患者 47 人，うち死亡 7 人〔朝日 6. 28〕。
- 6-28 日本農民組合総同盟広島県联合会解散。21
- 7- 1 広島地方専売局三原出張所廃止され，尾道出張所に合併〔大蔵省令 47〕。
- 7- 1 広島県立商船学校，文部省に移管，広島商船学校と改称。’42-1-1 通信省に移管。967
- 7- 6 社会大衆党解散。
- 7- 8 日本労働総同盟解散。
- 7-12 広島市上流川町縮景園を名勝に指定〔文部省告示 510〕。
- 7-16 広島県広島工業港建設事務所設置〔告示 550〕。
- 7-16 県内の共同炊事場，170 か所に達する〔朝日 7. 17〕。
- 7-17 社会大衆党広島県支部联合会ならびに広島市支部，解体式を挙行。64
- 7-18 三菱重工業三原車両製作所，工場建設の地鎮祭執行。654
- 7-22 第 2 次近衛文磨内閣成立。
- 7-23 日本発送電広島出張所，広島支店に昇格。29
- 7-23 賃金統制令により 12 歳以上 20 歳未満男子未経験労働者の初給賃金を定める。15 歳の場合，最高 92 銭・最低 58 銭，標準 75 銭。8-1 適用〔告示 572〕。9-27 女子についても定める〔告示 884〕。
- 7-30 政友会中島派広島県支部解散。21
- 8- 1 陸軍管区表改正により 4 軍管区が設定され，第 5 師管は広島師管と改称され，西部軍管区の隷下に入る〔軍令陸 20〕。
- 8- 1 広島県庁女子青年団，報国挺身隊を組織。隊員 70 人，4 班に分れて街頭で戦時下の生活改善を訴える。253
- 8- 2 広島県，節米実行要項を示し，麦飯・雑炊を奨励，飲食店・料理屋を除き米食の供給・販売を禁止。934

- 8-10 広島市主催の反英市民大会を護国神社前広場で開催。-12 尾道市でも〔朝日 8. 11, 14〕。
- 8-11 政友会久原派広島県支部解散。21
- 8-11 総同盟因島労働組合解散。38
- 8-15 民政党広島県支部解散〔朝日 8. 16〕。
- 8-15 大日本農民組合解散。
- 8-19 この日より新協劇団関係者多数検挙。県内では広島後援会の大藤軍一ら 9 人。725
- 8-27 広島県中小商工業共同施設奨励規程制定。工業組合を対象に奨励金を交付〔告示 694〕。
- 8-28 臨時県会開会(～29)。県会の各派解散。14
- 8-30 高田郡吉田町郡山城址を史蹟に指定〔文部省告示 546〕。
- 9- 1 青年学校生徒・男女青年団員を中心に肥料飼料増産青年勤労報国運動を実施。253
- 9- 1 広島県、国民奢侈生活抑制実施要綱制定。14
- 9- 1 県共鳴会の革新派 40 余人、興亜運動国民同志会を結成〔朝日 9. 3〕。
- 9-11 内務省、部落会・町内会・隣保班・市町村常会整備要綱を府県に通達。
- 9-17 広島県臨時米穀配給統制規則施行細則制定〔県令 39〕。
- 9-18 特殊駅弁代用食弁当の 10 月中旬実施が決定され、尾道の鯛飯、宮島のかき飯など廃止となる〔朝日 9. 21〕。
- 9-23 日本軍、北部仏印に進駐。第 5 師団も参加。450
- 9-27 日独伊 3 国同盟調印。
- 9-28 広島工業港関係漁業補償・救済金、434 万余円と発表。538
- 10- 1 株式会社瀬戸田船渠創業(現内海造船瀬戸田工場)。*
- 10- 1 第 5 回国勢調査実施。広島県の人口 186 万 9504 人。394
- 10- 9 新生活実践要綱を定め、各市町村長等に通牒。115
- 10-12 大政翼賛会発足。
- 10-13 大政翼賛三国結盟国民大会、各市町村ごとに開催〔朝日 10. 13〕。
- 10-15 広島商工会議所、公益優先と利潤抑制について日本商工会議所会頭に建議。672
- 10-21 広島県産業経済会議、県内外の財界名士を集め広島市袋町精養軒で開催(～22)。538
- 10-24 米穀管理規則公布。
- 10-25 聖戦美術展、中国新聞社主催・陸軍省後援のもとに広島県産業奨励館で 2 週間にわたり開催。1020
- 10-31 広島県国民健康保険組合联合会設立認可。12-2 設立総会。833
- 11- 1 広島県主催紀元 2600 年奉祝展覧会開催(～15)。252
- 11- 1 市町村男女青年団、市町村各種婦人団体、重要国防資源金属類献納運動を実施。254
- 11- 1 広島県砂糖配給統制規則施行細則制定〔県令 53〕。
- 11- 3 広島工業港修築起工式、県立広島商業学校で挙行〔朝日 11. 5〕。
- 11- 3 大和報国運動発足大会(東京)に水平社県聯から高橋貞雄・中野繁一ら幹部出席。40
- 11- 5 米穀管理規則施行細則制定〔県令 54〕。
- 11-10 神石郡牧村・草木村・福永村・田頭村を合併し、牧村設置〔告示 1030〕。
- 11-10 県内各地で紀元 2600 年記念式典を挙行〔中国 11. 11〕。
- 11-12 地代家賃統制令施行細則制定〔県令 55〕。
- 11-17 紀元 2600 年奉祝第 1 回広島県産業人総合体育大会、広島県産業報国会联合会等の主催により広島高校で開催〔朝日 11. 19〕。
- 11-18 全県会議員により県政協力会を組織。14
- 11-19 通常県会開会(～12-14)。県会各政派を解消し、県政協力会結成後初の会議。'41 年度予算を県政協力会で審議したのち、本会議で可決。14
- 11-23 大日本産業報国会創立。
- 11-26 部落会・町内会等整備要領制定〔訓令 19〕。
- 11-28 広島県土木部、三菱重工業に広島工業港工場用地への進出を要請。656
- 11- 上旬から中旬にかけて第 5 師団、中支転進のため仏印ハイフォン出発。450

- 12- 1 広島市内米穀小売業者 380 人，企業合同のうえ 60 か所の共同配給所を設置し共同販売を実施。603
- 12- 5 広島市の東・西・宇品，呉，尾道，福山各警察署に，時局経済相談所を開設。'41-4-28 郡部警察署に特設。256
- 12- 8 大政翼賛会広島県支部，県会議事堂で結成式挙行。
- 12-10 農業報国推進隊 390 人，内原訓練所に入所。36
- 12-17 貯蓄奨励のため，広島県国民貯蓄組合長大会を県教育会館で開催。255
- 12-18 広島県立三良坂保健所開設〔'41 年告示 4〕。'41-4-17 落成式挙行〔朝日'41. 4. 16〕。
- 12-23 中小商工業者の転業・転職の相談に応じるため，広島市猿楽町に中央職業更正相談所，県内 17 か所に職業更正相談所を設置〔告示 1244〕。
- 12-28 広島市で通帳による米の配給実施。603

1941(昭和 16)[辛巳]

- 1-14 広島市で木炭の通帳制配給実施。603
- 1-25 結婚改善聯盟，市長および各郡町村長会長を委員として初会合〔朝日 1. 26〕。
- 1-27 八原昌照，三原市長に就任。*
- 1-30 広島県，税務課・拓務課・経済統制課新設。257
- 2- 1 広島地方のトラック業者合同し，広島貨物自動車株式会社と広島陸運会社を設立。50
- 2- 7 広島文理科大学教授長田新，スイス政府よりペスタロッチ賞を授与される。44
- 2-11 『広島県警察史』刊行。21
- 2-11 深安郡八尋村・上竹田村・下竹田村を合併し，竹尋村設置〔告示 125〕。
- 2-14 広島県立広島第二高等女学校，広島市宇品町広島女子専門学校内に設置。広島県立広島高等女学校，広島県立広島第一高等女学校と改称（現広島皆実高校）〔告示 147〕。
- 2-18 尾道放送局開局〔朝日 2. 19〕。
- 2-20 豊田郡大長（おおちょう）村，大長（だいちょう）村と改称〔告示 161〕。
- 2-20 矯正院法の施行により広島少年院を設置〔司法省告示 5〕。
- 2-25 広島県自作農組合奨励規程制定〔告示 189〕。
- 2- 広島県，小作料統制令にもとづく「小作料改定の手びき」を作成。572
- 3- 1 国民学校令公布。
- 3- 9 広島市文化協会発会式挙行〔朝日 3. 7〕。
- 3-10 大政翼賛会県支部，市郡支部の役員・支部協力会議員を決定。これにより大政翼賛会の下部組織完成〔朝日 3. 11〕。
- 3-11 広島県勤労報国隊要項制定〔告示 251〕。
- 3-11 広島市町内会結成式，広島市公会堂で挙行〔中国 3. 12 夕刊〕。
- 3-24 広島県青少年団の結成代議員会開催〔朝日 3. 23〕。
- 3-25 安芸郡奥海田村ほか 7 か村の小作料統制令による小作料改定を認可（県内初）〔告示 508～15〕。
- 3-26 相川勝六，愛知県知事に転じ，吉永時次（前茨城県知事），県知事に就任。9
- 4- 1 広島県立臨時小学校教員養成所，広島県立臨時国民学校教員養成所と改称し，広島県三原女子師範学校内に移転。44
- 4- 1 広島県立広島第二工業学校，広島県立広島工業学校内に設置〔告示 410〕。
- 4- 5 広島県貨物自動車運送事業組合創立総会開催。22
- 4- 6 愛国婦人会県支部，福山市兵士ホームを開設〔朝日 4. 8〕。
- 4- 7 広島県乗合自動車運送事業組合結成。22
- 4- 7 県知事，東京で開催の広島工業港開発座談会に出席し，各業界に進出を慫慂。6-2 大阪でも。538
- 4-13 日ソ中立条約調印。

- 4-14 広島・芸備・双益・山陽の4無尽の合併により広島無尽株式会社設立。608
- 4-17 広島商業実践女学校開校（現鈴峯女子高校）。*
- 4-21 賀茂郡広村・仁方町を呉市に編入〔告示401〕。
- 4-21 広島県商業報国会結成。603
- 4-25 県内の遺族710人，靖国神社春の臨時大祭に参列〔朝日4.26〕。
- 4-26 広島県共鳴会解散。829
- 4-27 因島消費組合，因島産業報国会購買部と改称。40
- 4- 海軍潜水学校，大竹町に設置。22
- 5- 4 華道会竹原支部結成〔朝日5.6〕。
- 5- 6 尾道の食肉業者，毎月1日の興亜奉公日のほか7・14・21の4日間を肉なし日とし休業することを決定〔朝日5.8〕。
- 5-20 広島県産業奨励館大連事務所ほか在外5事務所廃止〔告示568〕。
- 5-24 全国女教員興亜教育研究会，広島市袋町国民学校で開催〔朝日5.25〕。
- 5-25 大和報国運動備南支部結成〔朝日5.27〕。
- 5-26 第1回広島県協力会議開会。14
- 5-27 全国水平社広島県联合会，広島市山陽記念館で大和報国運動広島県本部の結成大会を開催。-28 全国水平社広島県联合会解散。730
- 6- 9 広島兵站部，広島市に設置。463
- 6-13 広島県農作物作付制限規則制定〔県令43〕。
- 6-20 宇品埠頭の凱旋館落成式ならびに陸軍への献納式挙行〔朝日6.21〕。
- 6-22 独ソ戦始まる。
- 6-22 倉敷〜三原間国道改良工事起工〔朝日6.24〕。
- 6-24 大政翼賛会広島県支部規程制定。225
- 6-25 前線停滞し県西部を中心に豪雨（〜29）。死者11人，行方不明1人，堤防決壊71か所，田畑冠水5731町。42
- 6-26 福山健康保険出張所設置。832
- 6-30 広島県織物工業組合設立総会開催。県内の織物工業組合を統合〔朝日6.26〕。
- 7- 1 県内一斉に米穀の通帳制を実施。22
- 7-15 広島心学振興会結成。1259
- 7-16 広島税務監督局，預金部広島支局を統合し，広島財務局と改称〔勅令760〕。
- 7-16 尾道署が検挙した賭博事件，連累者640人に達する〔朝日7.17〕。
- 7-18 第3次近衛文磨内閣成立。
- 7-22 賃金統制令により職員の最低賃金・最高初給賃金を定める。最低賃金25〜26歳の男子1円9銭，20〜29歳の女子60銭。8-1適用〔告示831〕。
- 7- この月ごろ，広島県永年防空計画を作成。461
- 7- 料理屋における米食の販売を禁止。934
- 8- 1 福山市で1万2000人がラジオ体操に参加〔朝日8.2〕。
- 8- 3 県神職会・県教育会主催日本精神講座，広島市で開催（〜5）。-8福山市でも（〜10）〔朝日8.3〕。
- 8-18 県社会教育課主催により各郡市別に宗教報国時局懇談会を開催（〜9-13）〔朝日8.31〕。
- 8-20 三原市・三原体育協会，第1回体操実演の夕を開催〔朝日8.22〕。
- 8-23 広島県酒類販売統制会社発起人会開催。603
- 8- 広島瓦斯電軌，広島郊外自動車（海田市線・府中線・深川線）を吸収。27
- 9- 1 尾道鉄道経営の尾道〜三原間乗合自動車路線，尾道市営として運転を開始〔朝日8.31〕。
- 9- 1 『芸備日日新聞』廃刊。『呉新聞』が紙齢を継承。1020
- 9- 8 広島地方防空学校開校。防空指導者の訓練機関〔告示1349〕。
- 9-12 航空局水上飛行機練習場（深安郡大津野村）建設地鎮祭執行〔朝日9.12〕。
- 9-15 広島県師範学校，広島市東雲町新校舎に移転。44

- 9-20 朝日新聞社・大日本飛行協会により広島地方航空大会開催〔朝日 9.21〕。
- 9-29 第2回広島県協力会議開会。14
- 9- 広島市上水道第4期拡張事業着手(原爆により中断)。548
- 10- 1 広海軍工廠航空機部, 第11海軍航空廠に改組。1241
- 10- 1 深安郡下加茂村, 法成寺村を合併し, 加法村設置〔告示 1063〕。
- 10- 1 広島県幹部機械工養成所, 広島県立広島工業学校内に設置〔告示 1071〕。
- 10- 1 呉市八幡通村社亀山神社, 県社に列格〔告示 1133〕。
- 10- 6 金属回収広島事務所開設〔朝日 10.8〕。
- 10-18 東条英機内閣成立。
- 10-19 片倉製糸三原製糸所閉鎖〔朝日 10.21〕。
- 10-29 大日本国防衛生協会広島県支部発会。846
- 10-31 菟藟出荷統制規則制定され, 産組県聯が一元的集荷にあたる〔県令 89〕。
- 10-31 中国新聞社, 山陽日日新聞の発行権を買収。1020
- 11- 1 福山地方の4つのバス会社合併し, ニコニコ自動車株式会社設立。58
- 11- 1 呉新聞社, 呉新興日報の発行権を吸収。1020
- 11- 3 海軍工員勤労興国組合聯盟, 呉市で会議を開き解散を決議。これにより呉海工会・広工僚会も解散。725
- 11-11 呉・呉洋の両無尽, 合併により呉無尽株式会社設立。608
- 11-17 第5師団, マレー作戦参加のため上海港出発。463
- 11-18 通常県会開会(〜12-5)。望月乙也(豊田郡), 第32代議長に当選。14
- 11-18 興亜国防経済展覧会, 福山市で開催(〜22)〔朝日 11.16〕。
- 11-20 大竹海兵団設置〔軍令海 24〕。
- 11-24 松永に真空式合同製塩工場が落成し操業を開始。591
- 11-25 呉軍港域, 福山要港境域内における一般の撮影・模写, 地理案内の発行などを禁止〔朝日 11.25〕。
- 11-27 中国無尽聯合会発会式挙行。中国5県下9会社加盟。608
- 11-28 株式会社北川鉄工所設立。*
- 12- 1 広島県森林組合聯合会設立。*
- 12- 7 広島県総合運動場完成し, 竣工式挙行〔朝日 12.7〕。
- 12- 7 三原市で第1回婦人錬成講習会開催〔朝日 12.4〕。
- 12- 8 太平洋戦争始まる。
- 12- 8 日本軍, マレー半島に上陸開始。第5師団も参加。450
- 12- 8 県知事, 開戦に関する声明を発表し, 「聖戦」の完遂について県民の覚悟を促す〔朝日 12.9〕。
- 12- 8 県内一円に燈火管制規則による燈火準備管制を実施。屋外燈類はすべて消燈〔告示 1289〕。
- 12- 8 フォルム美術協会・広島ローマ字文学会・国民詩人協会の会員ら, 検挙される。37
- 12-10 対米英戦必勝広島県民大会, 広島護国神社前で開催。258
- 12-12 三次町に敵国人抑留所を開設し, 50人余を収容。22
- 12-15 巖島・速谷・沼名前・吉備津各神社で, 米英宣戦布告奉告, 戦争祈願の臨時大祭執行〔朝日 12.16〕。
- 12-16 戦艦大和, 呉海軍工廠で竣工。83
- 12-17 第5師団, 濠北作戦のため昭南港出発。
- 12-20 防空監視隊令施行。これにもとづき県庁に広島県防空監視隊本部, 広島・尾道に防空監視隊, 28か所に防空監視哨を配備。22
- 12-21 広島県方面委員聯盟, 歳末同情週間を庶民生活強化運動と改称し, 実施(〜25)〔朝日 12.20〕。
- 12-22 広島県食糧国防団結成。県米穀商業組合聯合会, 県信用購買販売利用組合聯合会,

米穀配給機関ならびに運輸機関全従業員 800 余人で組織〔朝日 12.23〕。

12-23 広島県振興主事を県内 16 か所（各郡）に駐在させる〔告示 1348〕。

12-24 県拓務協会，海外移住組合主催，海外引揚県人慰安激励大会，広島市で開催〔朝日 12.17〕。

12-26 広島県広島港務所設置〔告示 1366〕

12- 広島県防空本部，県庁内に設置。22

1942(昭和 17)[壬午]

1- 6 県内一斉に決戦防空訓練を実施〔朝日 1.7〕。

1- 8 初の大詔奉戴日。官公衙・学校・会社・工場などで詔書捧読式を挙行〔朝日 1.7〕。

1- 8 大東亜戦争必勝祈祷広島県青少年団動員大会，広島第一県女講堂で開催。各地から代表 1000 人参加〔朝日 1.9〕。

1- 9 賃金統制令施行細則制定〔県令 3〕。

1- 9 銃後奉公国民総進軍大会，広島市で開催〔朝日 1.10〕。

1-11 鈴木登，呉市長に就任。295

1-20 産業組合中央金庫広島出張所，広島市大手町に設立(のち農林中央金庫広島支店)。*

1-31 県庁各部課長集まり，南方進出基本計画を樹立〔朝日 2.1〕。

1- 芸陽自動車，芸備自動車を合併。12-竹原交通，中海運送など 7 社を合併し県南部地域のバス運行を統合。692

2- 1 地方味噌統制機関に広島味噌統制株式会社，地方醤油統制機関に広島醤油統制株式会社を指定〔告示 85・86〕。

2- 1 中小商工業者の満州開拓移民を奨励・推進するため，広島県大陸帰農開拓団建設本部を広島商工会議所内に設置。673

2- 2 大日本婦人会結成。

2- 5 広島・呉・尾道・福山・三原の 5 市で味噌・醤油の通帳制を実施〔朝日 2.5〕。

2- 6 広島通信診療所，広島通信病院と改称。482

2- 9 広島県繊維製品配給消費統制規則施行細則制定〔県令 11〕。

2-11 比婆郡西城町・美古登村を合併し，西城町，同郡本村・峰田村を合併し，本田村設置〔告示 100・103〕。

2-12 愛国婦人会広島県支部および大日本国防婦人会広島地方本部解散し，大日本婦人会広島県支部に統合〔朝日 2.13〕。5- 8 発会式〔朝日 5.9〕。796

2-15 日本軍，シンガポール占領。

2-18 第 1 次戦捷祝賀日。県内 3000 の神社・仏閣・教会で戦捷奉告祭ならびに大東亜戦争完遂祈願祭を執行。官公衙・学校・工場で戦捷祝賀式を挙行。このほか，旗行列，感謝貯蓄，慰問文・慰問袋の発送，遺家族の慰問などを行う〔朝日 2.19〕。

2-23 翼賛政治体制協議会成立。

2-24 広島県翼賛壮年団，広島第一県女講堂で結成式を挙行〔中国 2.25〕。

2-24 南洋協会広島県支部発会式挙行。南方事業相談所開設などを計画〔朝日 2.25〕。

3- 7 広島県選挙粛正委員会，広島県翼賛選挙貫徹運動実施要綱を決定。223

3- 8 中国新聞社，大東亜戦争聖戦美術傑作展を開催。1020

3-10 大竹・広島西条・甲山・吉田・加計各国民職業指導所新設〔厚生省令〕。

3-10 広島県立呉第三中学校（現広高校）・同海田高等女学校（現海田高校）・同竹原商業学校（現竹原高校）設置〔告示 185〕。

3-11 広島合同運送・己斐運送，日本通運に合併し，日本通運広島支店・己斐支店として発足。*

3-14 国民学校令施行細則制定〔県令 18〕。

3-14 広島市で，県学童大会を開催（～15）。各学校から上級児童男女各 1 名参加〔朝日 3.14〕。

- 3-16 佐伯郡平良村教化振興会第3区部落会・広島市牛田南町町内会、内務省の第1回全国表彰で優良部落会、町内会の表彰をうける〔朝日 3.3〕。226
- 3-17 東洋紡績広島工場、政府の転用指令により工場敷地および建物を売却。649
- 3-18 県内初の大陸帰農開拓団、鯉城開拓団の先遣隊12人、広島護国神社で壮行式を挙行し、広島を出発〔朝日 3.19〕。
- 3-23 頼山陽祭祀の別格官幣社創建に関する建議案、衆議院建議委員会で可決〔朝日 3.24〕。
- 3-24 翼賛政治体制協議会広島県支部結成式挙行。223
- 3-28 福山聯隊区司令部を廃し、広島聯隊区司令部に編入。463
- 3-30 県中小商工業再編成協議会の第1回会合を開催〔朝日 3.31〕。
- 3-31 省営厳島巡遊船の運航を廃止。26
- 4- 1 山口県・出雲電気・山陽配電・広島電気の電気事業を統合し、中国配電株式会社設立。資本金1億7000万円。29
- 4- 1 賀茂郡野呂村・中切村を合併し、野路村、神石郡小島村・上村・阿下村・常光村・亀石村を合併し、小島村設置〔告示 259・262〕。
- 4- 1 広島市立中学校を中広町に、同実科高等女学校を翠町に設置。282
- 4- 1 広島県立加計保健所開設〔告示 361〕。'48-8-31 廃止〔告示 345〕。
- 4- 1 福山市の各町の協同組合、町内会と改称。58
- 4- 7 県経済部に生活必需品課設置。259
- 4-10 広島瓦斯電軌、広島電鉄株式会社と広島瓦斯株式会社に分割し新発足。27
- 4-15 海軍潜水学校大竹分校開設。11-23 本校に昇格。'43-6-8 開校式。86・139
- 4-15 県内5市で牛肉配給統制実施〔朝日 3.29〕。
- 4-15 東洋工業に第1次徴用工員250人入社。646
- 4-18 米軍機、日本本土を初空襲。
- 4-23 大東亜戦争博覧会、広島県体錬場で開催(～5-31)〔朝日 4.23〕。
- 4-27 広島県立呉第一夜間中学・同広島夜間中学・同呉第二夜間中学設置〔告示 401〕。
- 4-30 第21回衆議院議員総選挙執行(翼賛選挙)。1区古田喜三太・奥久登・岸田正記(以上推薦)・加藤俊夫(非推薦)、2区永野護・木原七郎(以上推薦)・田中貢・肥田琢司(以上非推薦)、3区永山忠則・土屋寛・作田高太郎・宮沢裕(以上推薦)・森田福市(非推薦)当選。346
- 4-30 尾道市会議員13人、市長選挙の強行に抗議し、辞職〔朝日 5.6〕。
- 5- 1 住宅営団広島出張所、広島支所に昇格。中国5県と愛媛・香川両県を管轄〔朝日 5.1〕。
- 5- 5 中山幾太郎、尾道市長に就任。294
- 5- 5 尾道市会、内務大臣より解散を命ぜられる〔朝日 5.6〕。
- 5- 5 中国新聞社、創刊50周年記念に中国文化賞を制定。1020
- 5- 8 尾道市翼賛壮年団、県立尾道高女講堂で市政刷新の講演会を開催〔朝日 5.7〕。
- 5-13 '40年2月以来興亜奉公日に実施した廃品回収運動による回収品売却代金6万円で献納した陸軍戦闘機の命名式を広島護国神社前広場で挙行〔朝日 5.14〕。
- 5-13 三原中学校建設期成同盟結成〔朝日 5.13〕。
- 5-25 安芸ノ海、横綱に昇進。30
- 5-28 三菱糸崎車輛工場沖合海面埋立の漁業権補償金問題、補償金額の査定を県当局に無条件一任することで解決〔朝日 5.30〕。
- 5-28 尾道翼賛市会建設同盟婦人部発会式挙行。選挙粛正中央聯盟派遣の市川房枝講演〔朝日 5.29〕。
- 5-29 広島県民増強委員会規程制定〔告示 497〕。
- 6- 1 県内5市で菓子の切符制を実施。13歳以下1か月1人30銭以内、14歳以上20銭以内〔朝日 5.29〕。
- 6- 5 ミッドウェー海戦。
- 6-15 吉永時次、警視總監に転じ、宮村才一郎(前神祇院教務局長)、県知事に就任。9
- 6-18 広島合同汽船統制会(23会社加盟)設立。50

- 7- 1 県内に 12 の地方事務所設置。安芸（海田市）・佐伯（廿日市）・安佐（可部）・山県（加計）・高田（吉田）・賀茂（西条）・豊田（忠海）・御調世羅（尾道）・沼隈深安（福山）・芦品神石甲奴（府中）・双三（三次）・比婆（庄原）〔内務省告示 490〕。
- 7- 1 沼隈郡山手村・郷分村を福山市に編入〔告示 561〕。
- 7- 1 安佐郡可部町・中原村を合併し、可部町、沼隈郡田尻村・鞆町・走島村を合併し、鞆町設置〔告示 558・562〕。
- 7- 1 省営安芸線広島～呉～仁方間乗合自動車営業を開始。海田自動車営業区新設。26
- 7- 1 広島県女子拓植訓練所、比婆郡山内東村に設置〔告示 642〕。
- 7- 7 陸軍運輸部を廃し、船舶司令部設置。463
- 7- 7 支那事変 5 周年記念日。各地で記念行事挙行。広島市では、在広各部隊・市内中等学校・青年学校生徒 2000 人参加の連合大演習を実施〔朝日 7. 8〕。
- 7- 9 広島県金融協議会創立総会開催。28
- 7-15 三原市内の防諜 6 団体により三原防諜聯盟を結成〔朝日 7. 17〕。
- 7-19 広島で陸上戦技大会行われ、崇徳中優勝。30
- 7-31 東洋紡績能美工場、呉海軍建築部へ工場敷地・建物を売却。649
- 8- 3 代用品協会県支部創立総会開催〔朝日 8. 4〕。
- 8- 7 広島県食糧管理法施行細則制定〔県令 62〕。
- 8- 8 大東亜戦争完遂国民総力結集大講演会、広島一中講堂で開催〔朝日 8. 7〕。
- 8-22 戦時災害保護法施行細則制定〔県令 71〕。
- 8-25 防空法施行細則制定〔県令 72〕。
- 8-27 台風による暴風雨と高潮により大被害。死者 24 人、行方不明 155 人、家屋全壊 1159 戸、同半壊 218 戸、同浸水 4 万 3020 戸、船舶流失沈没 473 隻。42
- 8- 軍人援護会県支部、靖国神社に参拝の遺児を広島県誉の子会に組織〔朝日 8. 28〕。
- 9-10 橋本龍一、尾道市長に就任。294
- 9-20 広島で水上戦技大会行われ、広島一中優勝。30
- 10- 1 県内 5 市の商工会議所と 12 地方事務所に常設の物価相談所を開設〔朝日 9. 20〕。
- 10-21 福山・尾道・三原・広島 の 4 市で市部町内会中堅指導者錬成講習会開催（～31）〔中国 11. 1〕。
- 10-22 翼賛会、傘下に産報・商報・農報・青少年団・婦人会・海報・翼壯の 7 団体を吸収〔朝日 10. 24〕。
- 10-27 三井造船、賀茂郡三津町に進出決定。321
- 10-29 第 13 回明治神宮国民錬成大会のバレーボール男子で呉工廠優勝（～11-3）。30
- 11- 1 地方官官制改正により総務部と学務部を廃し内政部を設置〔勅令 768〕。
- 11- 4 尾道市で紀元 2600 年記念事業として新設の運動公園竣工〔朝日 11. 15〕。
- 11-21 通常県会開会（～12-16）。銃後体制強化を中心に審議、大東亜戦争完遂に関する決議文を可決。14
- 11-24 広島県食糧営団出資者総会開催。12-1 事業開始〔朝日 11. 26〕。
- 11-27 県内の警防団員・防空監視隊員 1 万 5000 人、広島市東練兵場で梨本宮大日本警防協会総裁の視閲を受ける。22
- 11-27 呉市吉浦町で中四国 9 県の団員による中四翼壯訓練講習会開催（～30）〔中国 11. 29〕。
- 11-28 大政翼賛会主催第 1 回中国地方文化協議会、広島県教育会館で開催〔朝日 11. 29〕。
- 12- 1 呉市、芸南電気軌道を譲受。522
- 12- 2 東条英機首相来広、一般状況を視察。17
- 12- 8 開戦 1 周年記念広島県国民大会、広島市西練兵場で開催〔朝日 12. 9〕。
- 12- 8 広島県産業報国会、全県下生産工場で、生産力増強総進軍運動を実施〔中国'43. 1. 13〕。
- 12-22 厚生省、健民特別指導地区に深安郡引野村を指定〔中国'43. 1. 13〕。
- 12-23 広島県医師会・広島県歯科医師会再発足〔'43 年告示 1〕。
- 12-24 広島県農産物検査所、広島県食糧検査所と改称〔告示 1062・1063〕。

12-28 県内 27 業者を統合し広島県汽船株式会社創立総会開催〔中国'43. 1. 7〕。

12-31 海軍艦政本部、三菱重工業へ広島造船工場新設を示達。656

1943(昭和 18)[癸未]

1- 1 賀茂郡三津町・早田原村、豊田郡木谷村を合併し、賀茂郡安芸津町設置〔'42 年告示 1049〕。

1-13 広島工業大学設置期成同盟会発会式、広島市袋町精養軒で挙行〔中国 1. 14〕。

1-15 広島市に東・西、呉市に呉・広各特設消防署設置〔告示 27〕。

1-23 広島市営工業港起工式、草津国民学校講堂で挙行〔中国 1. 24〕。

1-26 音響使用取締規則制定。空襲警報・同解除の信号と同様または類似の音響を禁止〔県令 1〕。

1-26 広島県労務報国会結成。土木建築交通運輸などの業者 2000 人とその所属日傭労務者約 3 万人を組織〔朝日 1. 27〕。

2- 1 日本軍、ガダルカナル島からの撤退開始。

2- 1 県立尾道肥料分析所、県立肥料分析所と改称し県庁内に移転〔告示 101〕。

2- 1 三菱電機福山製作所操業開始。*

2- 1 福山市の市内バス・トラック会社合同。58

2- 1 広島県機械工訓育所、広島県立機械工養成所と改称〔告示 73〕。

2- 1 呉市内の理髪店、一斉に翼賛型整髪を実施〔中国 2. 7〕。

2- 2 生活必需品物価展示展、広島県ならびに広島県物価協力会議主催により、呉商工会議所で開催（～3）〔中国 2. 3〕。

2- 6 呉市上水道第 2 期拡張工事竣工（三永貯水池完工）。547

2-18 内原訓練所長加藤完治、広島第一県女講堂で講演し、満州国の開発を説く〔中国 2. 19〕。

2-22 大阪営林局主催の宮島国有林経営方策協議会、県庁で開催。軍事方面に役立てる目的で厳島国有林の伐林を決定〔中国 2. 23〕

2-23 三原・尾道・忠海・河内・甲山各警察署管内貨物自動車営業者統合し、山陽陸運株式会社設立〔朝日 2. 26〕。

2-24 広島県西部管理米供出促進協議会、大政翼賛会ならびに農林省共催により広島市で開催。県西部の関係者約 500 人参加し、供米強化を決議〔中国 2. 25〕。

2- 福島紡績福山工場、三菱に売却。1254

2- 福山市内の目抜き通りに米国大統領ルーズベルト、英国首相チャーチルを模した藁人形登場。58

3- 6 呉軍港新聞防謀団結成〔中国 3. 7〕。

3-10 至誠興亜女学校設置認可（のち至誠女子高校）〔文部省告示 160〕。

3-16 県内 22 か所で山火発生。御調郡八幡村で 504.9 町歩焼失。42

3-20 尾道港修築工事竣工〔朝日 3. 21〕。

3-20 呉市少年産業戦士壮行式大会、二河公園で開催〔中国 3. 21〕。

3-21 広島市東練兵場で大型焼夷弾 8 個を発火させ消火訓練を実施。見学者 5 万人。22

3-23 広島鉄道局広島工機部開設。蒸気機関車の修繕を開始。26

3-27 米穀俵装取締規則廃止〔県令 28〕。

3-末 県内のバス・トラック事業整備統合完了。バス事業では広島地区・広島電鉄、呉地区・呉市営バス、中部地区・芸陽自動車、尾道・尾道鉄道、福山地区・ニコニコ自動車、沼隈地区・鞆鉄道、県北地区・備後旅客自動車〔朝日 4. 6〕。

4- 1 神石郡高光村・古川村を合併し、高光村設置〔告示 172〕。

4- 1 警察署を統廃合し、従来の 36 署を 28 署とする〔告示 273〕。

4- 1 広島県、金属回収課を設置。227

4- 1 三菱重工業三原製作所開所。654

- 4- 1 官立広島師範学校発足。元広島県師範学校を本部および男子部、元三原女子師範学校を女子部とする。44
- 4- 1 広島県立満州報国農場，満州国吉林省舒蘭県上金馬川に設置〔告示 268〕。8-1 開所式〔朝日 8. 15〕。
- 4- 1 広島県立畑賀病院，日本医療団畑賀病院となる。*
- 4- 5 東洋工業，航空発動機部品の大量生産受注を決定。635
- 4- 7 安芸郡中野村熊谷組で朝鮮人労働者 30 人，賃金値上げを要求。日給 50 銭値上げで解決。732
- 4-10 広島電鉄，三段峡自動車など 7 業者を買収。27
- 4-13 広島県立新市畜産指導所処務規程制定〔訓令 22〕。
- 4-20 広島県立三原中学校(現三原高校)・同呉第二高等女学校(現広高校)設置。広島県立呉高等女学校，同呉第一高等女学校と改称〔告示 331〕。
- 4-21 呉市町内会長会同，全国都市にさきがけて爆撃機 9 機献納を決定。-23 鎮守府司令長官に 90 万 2000 円を献納〔中国 4. 23〕。
- 4-22 三菱重工業広島造船所・広島機械製作所起工。658
- 4-27 広島県軍事援護相談所設置〔告示 347〕。
- 4-29 日本新聞会広島県編集部会創立総会・発会式举行〔朝日 4. 30〕。
- 4-30 広島県信用購買販売利用組合联合会吉田病院開院式举行。850
- 5- 5 満蒙開拓西条訓練所開所式举行〔中国 5. 6〕。
- 5- 5 中国少年少女錬成大会開催。30
- 5- 7 満州開拓花嫁塾の創始者熊井竹代，開拓花嫁を求めて来広〔中国 5. 8〕。
- 5- 9 人民代表という署名の在京英米公使館あて反戦投書，賀茂郡乃美尾村乃美尾郵便局で発見。8-5 投書主をわりだし検挙。734
- 5-10 県内の転廃業者により広島航空機株式会社設立準備結成式を広島市小町白神社で举行〔中国 5. 11〕。
- 5-12 広島師管報道連絡協議会創立総会開催。広島師団報道部と同師団管内の新聞通信社および放送局・映画配給関係者の連絡機関〔朝日 5. 7〕。
- 5-17 第 2 回軍港都市市会議長会議，呉市会議事堂で開会。鎮守府所在地軍港都市への護国神社創建等協議〔中国 5. 18〕。
- 5-18 福山高等航空機乗員養成所開所〔朝日 5. 20〕。
- 5-20 呉市警防団防諜団ならびに各警防分団防諜団，呉市五番町で結成式举行〔中国 5. 21〕。
- 5-28 三井造船安芸津工場起工〔朝日 5. 29〕。
- 5-30 大政翼賛広島芸術音楽協会結成〔朝日 5. 30〕。
- 5- 備後一円の貨物自動車営業者合同し，備後陸運株式会社設立。58
- 6- 1 呉市国民学校長会，呉市国民学校児童の 1 日 1 銭の貯蓄で「呉市国民学校号」献納を決定〔中国 6. 5〕。
- 6- 5 大日本学徒海洋教練振興会，学徒海洋航空訓練を実施。広島高師・広島師範・広島高校・広島高工の学生・生徒 98 人が呉海軍航空隊に「1 日入営」〔朝日 6. 8〕。
- 6-12 広島県内の学徒・商報・翼壯・会社・官庁などの勤労報国隊計 15 万人，麦刈奉仕に出動〔中国 6. 13〕。
- 6-20 広島県勤労訓練所，賀茂郡西条町に設置〔告示 492〕。
- 6-23 広島県体育協会を発展的に解消し，官民一体の県民体育総合団体として，大日本体育会広島県支部の発会式を举行〔中国 6. 25〕。
- 6-23 広島瓦斯株式会社阿賀工場で朝鮮人労働者 27 人，賃上げを要求しサボタージュ（～24）。733
- 6-25 この日より職業協会，「一億皆労」運動のため移動展を広島市内各地で開催〔中国 6. 28〕。
- 6-30 広島県林産物検査所廃止。業務は各地方事務所が担当〔告示 534・532〕。

- 7-1 宮村才一郎，国土局長に転じ，横山助成（前貴族院議員・元本県知事・元警視総監），県知事に就任。9
- 7-1 地方行政協議会令公布され，広島市に中国地方行政協議会を設置〔勅令 548〕。8-2 初会合〔中国 8.3〕。
- 7-1 県庁に生産増強対策部を設置（部長県知事）〔朝日 7.3〕。
- 7-1 広島税関支署呉出張所設置。476
- 7-1 広島株式取引所，日本証券取引所広島支所に改組〔朝日 7.2〕。
- 7-1 県内 14 地区の木材会社を統合し，広島県木材株式会社設立〔朝日 7.2〕。
- 7-1 健康保険組合联合会広島県支部設立。832
- 7-1 組合立庄原病院，日本赤十字社に移管され，日本赤十字社広島県支部庄原療院開設。
- *
- 7-3 広島県商工団体联合会，商工経済会設立を前に発展的解消〔中国 7.4〕。
- 7-10 栗屋仙吉，広島市長に就任。1225
- 7-13 国民徴用援護会広島県支部発会式挙行〔朝日 7.9〕。
- 7-19 県内 58 県立中学校長，教育翼賛のために広島市に集合し，県立中学校長会を結成〔中国 7.20〕。
- 7-21 台風通過に伴う豪雨（～25）で大被害。広島の総雨量 497.8 mm。死者 46 人，家屋全壊 157 戸，同半壊 175 戸，同流失 15 戸，床上浸水 1846 戸，田畑流失埋没 185 町，同冠水 6192 町。42
- 8-1 省営西条線，広交叉点～西条間乗合自動車営業を開始。26
- 8-1 県内に，中学校 26，郡支部 23，工場 10，県産報 3，県直轄 2，計 64 か所の健民修練所を開設〔朝日 7.20〕。
- 8-5 県庁で各郡町村長会長同僚会開催。町村機構を総務・経済・文化・経理の 4 部制に整備することなどを協議〔中国 8.6〕。
- 8-5 中国新聞社主催により呉海兵団で少国民の海軍軍事講習を開催（～7）。広島・山口両県から児童 300 人が参加〔中国 8.6〕。
- 8-23 呉市内の男女中等学校生徒約 3 万人を動員し，飼料ならびに堆肥増産の草刈運動を各校輪番で開始（～9-26）〔中国 8.25〕。
- 8-24 広島市，報国海軍機広島市民号建造資金 68 万円を呉鎮守府へ献納〔中国 8.27〕。
- 8-31 日立造船，向島船渠を吸収合併。643
- 8- 新設の福山護国神社の外苑設備としての総合運動場竣工〔朝日 8.8〕。
- 9-3 広島県商工経済会，創立総会開催。-17 設立認可。これにより広島・尾道・呉・福山・三原の各商工会議所解散。673
- 9-8 イタリア無条件降伏。
- 9-20 台風通過による暴風雨で大被害。死者 39 人，行方不明 8 人，家屋全壊 471 戸，同半壊 754 戸，同流失 459 戸，床上浸水 1 万 6128 戸，田畑流失埋没 737 町，同冠水 3 万 2811 町。42
- 9-25 広島県立西城保健所開設〔告示 733〕。
- 9-26 広島市航空青少年隊，尾長国民学校で結成式挙行。総員 2 万 2000 余人〔中国 9.27〕。
- 10-1 広島県商工経済会および同呉・三原・福山支部，府中・三次出張所開所。673
- 10-1 安佐郡三川村に町制施行，古市町設置〔告示 732〕。
- 10-16 日本医療団結核療養所（佐伯郡原村）建設工事に着手。'45-3-20 診療開始。*
- 10-18 中国配電製作所，広島市大洲町に竣工。29
- 10-20 朝鮮農業報国青年隊広島隊一行 92 人来広。約 1 か月間勤労奉仕〔中国 10.20 夕刊〕。
- 11-1 軍需省・運輸通信省・農商省各官制公布。
- 11-1 軍需省の地方機関として広島軍需監理部設置。中国 5 県を管轄〔軍需省告示 1〕。
- 11-1 内務省中国・四国土木出張所，広島市に設置〔内務省告示 636〕。

- 11- 1 税関・海務局を統合し海運局設置。神戸海運局の下に広島・三原・尾道・木ノ江・因島各支局設置〔運輸通信省告示 6〕。
- 11- 3 安佐郡長束村・山本村・祇園町・原村を合併し、祇園町設置〔告示 810〕。
- 11- 4 歩兵第 41 聯隊，朝鮮で復員完結。463
- 11-11 電力消費規制実施。'44-4-1 解除。29
- 11-11 南方への進出者の斡旋団体，東亜開発協会広島県支部発会式挙行〔朝日 11. 10〕。
- 11-15 広島測候所，広島地方气象台と改称〔運輸通信省令 14〕。
- 11-22 通常県会開会（～27）。'44 年度予算と議案 50 件を予算委員会で 6 日間審議し，本会議で可決。本会議では 1 人が賛成演説をしたのみ。14
- 11-23 芸備文化研究会広島支部，広島文理大で発会式挙行。郷土文化の発展をめざす〔中国 11. 24〕。
- 11-25 広島・呉両市の町内会に消費経済部を設置〔朝日 11. 25〕。
- 11-27 広島県薬剤会設立〔告示 985〕。
- 12- 1 帝国染料福山工場，合併により日本化薬福山工場となる。659
- 12- 1 第 1 回学徒兵入隊(学徒出陣)。
- 12- 8 陸軍美術協会・中国新聞社主催の聖戦美術傑作展，広島県産業奨励館で開催（～22）〔中国 12. 8 夕刊，16〕。
- 12-10 県農業会を組織すべき団体（広島県信用購買販売利用組合联合会以下 71 団体）に解散を命じ，同時に県農業会設立委員を任命。36
- 12-10 県水産会，県漁聯等を統合し，広島県水産業会発足〔朝日 12. 11〕。
- 12-16 株式会社菱備製作所設立（現リョービ）。*
- 12-21 閣議，都市疎開実施要綱決定。
- 12-26 広島市内電車土橋～舟入本町間の新設線開通〔中国 12. 26〕。
- 12-28 県農業会設立総会開催。'44-1-1 発足。36

1944(昭和 19)[甲申]

- 1- 1 豊田郡高根島村・瀬戸田町・北生口村・名荷村を合併し，瀬戸田町設置〔'43 年告示 974〕。
- 1- 1 豊田郡乃美村・川源村を合併し，豊栄村設置〔'43 年告示 977〕。
- 1- 1 神石郡高蓋村・木津和村・父木野村・光末村・光信村を合併し，高蓋村設置〔'43 年告示 980〕。
- 1- 1 賀茂郡野路村・内海町・三津口町を合併し，安浦町設置〔'43 年告示 1022〕。
- 1- 1 通信防衛本部，広島逓信局に設置。482
- 1- 1 中国配電広島支店廃止。
- 1-18 軍需会社第 1 次指定。三菱重工業・三井造船・日立造船・日本製鋼所・東洋工業・日本化薬製造など 150 社。
- 1-26 大政翼賛会県支部・大日本婦人会県支部，電力節約運動を展開。318
- 2- 1 警察部に輸送課を設置し，保安課廃止。22
- 2-14 広島県，分散疎開対策要項を決定〔朝日 2. 15〕。
- 2-19 広島県，日本製鋼所の工場防空視察を実施。以後月末まで県内各工場で実施〔朝日 2. 19〕。
- 3- 7 各種学校の第 1 次整理で広島高等予備校ほか 19 校廃止認可〔告示 220〕。
- 3-15 三菱重工業広島造船所・広島機械製作所，独立開所式挙行。658
- 3-25 広島市防衛課に疎開相談所を設置〔中国 3. 30〕。
- 3-27 第 1 回女子挺身隊 108 人，東洋工業に入社。646
- 3-28 広島高等工業学校，広島工業専門学校と改称。44
- 3-31 広島県産業奨励館の業務廃止〔告示 205〕。建物を県土木部が使用。17

- 3- 広島県，空地利用徹底運動要綱を決定〔中国 3. 12〕。
- 4- 1 広島県立農事試験場，広島県立農業指導所と改称。福山・吉舎支所設置〔告示 265〕。
- 4- 1 蚕業試験場庄原支場，広島県立蚕業指導所と改称。芦品郡広谷村の蚕業試験場廃止〔告示 273・277〕。
- 4- 1 広島青年師範学校設置。従来の広島県立青年学校教員養成所は廃止。44
- 4- 1 広島鉄道局管内中四国各県の乗車人員，前年比 46%減の 19 万人〔朝日 4. 5〕。
- 4- 7 広島県立呉保健所・同尾道保健所開設〔告示 304〕。
- 4-11 県食糧営団食糧科学研究所，開所式挙行〔朝日 4. 12〕。
- 4-12 歩兵第 41 聯隊，再編成下令。5-8 フィリピン派遣のため平壤出發。463
- 4-15 広島県，外食券制を実施，県内 5 市とその近郊に 281 か所の外食券指定食堂の設置を認可〔朝日 4. 15〕。
- 4-20 県農業会，甘藷 40 万貫の生産目標を達成するため市町村増産懇談会を開催〔朝日 4. 16〕。
- 4-27 軍需会社第 2 次指定。中国塗料・広島瓦斯・油谷重工業など 422 社。
- 4-28 広島県立緑井孵卵場，広島県立種鶏場と改称〔告示 378〕。
- 4- 三原市，市営運動場等を畑にし食糧増産をめざす〔朝日 4. 9〕。
- 4- 広島・呉両市の警防団に防空小区を新設〔中国 4. 13〕。
- 5- 1 広島県広島工業試験場・同福山工業試験場，それぞれ広島県立工業指導所・同福山支所と改称〔告示 386・396〕。
- 5- 1 広島県醸造試験場，広島県醸造指導所と改称〔告示 390〕。
- 5- 1 広島県農業会，満州報国農場を開設。第 1 次隊員 30 人を派遣。36
- 5- 1 賀茂海軍病院開設。*
- 5- 3 広島県，呉市役所内に呉地区防空総司令部を設置。県内政部長を総司令にあてる〔中国 5. 4〕。
- 5- 3 内務省，呉市の建物疎開を告示〔内務省告示 210〕。
- 5- 5 広島県水産物検査所廃止〔告示 416〕。
- 5- 8 三原市でぬきうち防空訓練，完全な落第点に終わり，市民の防空心構えが不十分であることが判明〔朝日 5. 10〕。
- 5-10 建築物利用統制規則制定〔県令 22〕。同規則第 8 条の規定による施行区域に呉市を指定。11-18 広島市を指定〔告示 436・799〕。
- 5-12 警察部に警備隊設置。-25 結成式〔中国 5. 26〕。22
- 5-13 満蒙開拓青少年義勇軍広島中隊渡満壮行式を尾道市で挙行。302
- 5-21 豊田郡吉名村，吉名煉瓦工場第一工場の朝鮮人労働者 10 人，賃上げを要求し，ストライキ。735
- 5-30 広島県立尾道商業学校を同尾道工業学校と，同竹原商業学校を同竹原工業学校と，同深安実業学校を同神辺農学校とそれぞれ改称〔告示 486〕。
- 5-30 広島県学徒勤労働員本部規程制定〔告示 476〕。
- 5- 朝鮮人徴用工 1500 人，三菱広島造船所・同広島機械製作所に入所。658
- 6- 1 広島県水産試験場，広島県立水産指導所と改称〔告示 484・485〕。
- 6- 6 農業問題研究会関係者 3 人，治安維持法違反で検挙(〜7)。40
- 6-11 高田郡来原村に大日本飛行協会広島第三滑空訓練所を設置。148
- 6-20 広島電鉄軌道江波線舟入本町〜舟入南町間開通。27
- 6-26 広島第七日基督再臨教会，国体否認・安寧秩序妨害を理由に設立認可取消〔告示 586〕。
- 6-28 呉鎮守府，呉・広島両郵便局の通信検閲を実施(〜7-15)。1600 通以上の通信を摘発〔中国 8. 18〕。
- 6-30 閣議，学童の集団疎開決定。
- 6- 太田川改修工事中止。541
- 7- 1 三原信用組合設立(のち三原信用金庫)。28

- 7- 7 広島県自作農創設促進報奨規則制定。4-1 より適用〔県令 47〕。
- 7- 7 防空法施行規則第 2 条の規定による建築規制規則制定〔県令 49〕。
- 7- 8 県経済部を経済第 1 部、経済第 2 部に改組〔内務省告示 403〕。
- 7-14 東洋工業、内山コルク工業所と共同出資で東洋コルクを設立し、コルク部門を分離。

646

- 7-15 広島県、総動員警備を実施。22
- 7-18 東条内閣総辞職。
- 7-21 広島電鉄宮島線廿日市～宮島口間の軌条を撤去し単線とする。27
- 7-22 小磯内閣成立。
- 7-31 市町村農業会の設立 337 に達する。36
- 7- 広島県果実組合聯合会設立。36
- 7- 呉工廠職場決死防衛隊を結成〔中国 7. 23〕。
- 7- 広島県国民詩歌協会発足。50
- 8- 1 横山助成、退任し、松村光磨(前東京都次長)、県知事に就任。9
- 8- 6 中国人労働者 357 人、山県郡安野村の日本発送電株式会社安野水力発電所建設作業現場に到着。22
- 8- 7 広島県戦時食糧推進本部設置〔朝日 8. 9〕。
- 8- 8 県商業報国会、闇取引・物々交換・横流しなどの撲滅運動を開始〔朝日 8. 5〕
- 8- 9 警察補助員規程制定。22
- 8-15 職域等貯蓄主幹設置令制定。従業員 100 人以上の事業場に貯蓄主幹を置き、貯蓄増強にあたらせる〔県令 52〕。
- 8- 県翼賛壮年団、県内各地で軍需生産増強隘路打開懇談会を開催(～9-)。224
- 8- 呉・広両警察署、蔬菜類の買出し部隊を取締る。呉市電、広署の申入れにより買出し部隊の乗車を断る〔朝日 8. 18〕。
- 9- 1 安浦海兵団、賀茂郡安浦町に設置〔軍令海 4〕。
- 9- 5 広島県配給挺身隊結成協議会開催〔中国 9. 6〕。
- 9-15 県知事、大轟進転 50 周年に際し、明治天皇の聖徳を仰ぎ戦意の昂揚を図るよう告諭〔告諭 2〕。
- 9-21 大阪市からの学童疎開の第 1 陣 2400 人、備南地方に到着。58
- 9-22 広島に中国地方防衛本部を設置(本部長中国地方行政協議会長)〔中国 9. 23〕。22
- 9-26 三谷一二、福山市長に就任。343
- 9-29 中国電気工事株式会社設立。29
- 9- 特設広島男子中等教員養成所を広島高等師範学校に設置。44
- 9- 広島県読書指導本部を広島県内政部教育課内に設置。302
- 10- 5 工業学校実業科教員養成所を広島工業専門学校に開設。44
- 10-16 県内 5 市で代替食としてパンの配給を開始〔中国 10. 14〕。
- 10-20 広島県立広島保健所および廿日市・可部・八重・甲立・三次・小島・府中・甲山・竹原・西条の 11 保健所を設置(県立健康相談所廃止)〔告示 754〕。
- 10- 宇品に船舶砲兵団司令部設置。22
- 11- 1 神戸海運局広島支局、広島海運局に昇格〔運輸通信省告示 539〕。
- 11- 6 泉邸内の観古館、郷土館と改称。116
- 11-11 県内初の空襲。米軍機 B29、御調郡原田村山中に焼夷弾を投下。22
- 11-14 一億憤激米英撃擢大会、広島市で開催〔朝日 11. 15〕。
- 11-18 内務省、広島市・呉市の疎開を告示〔内務省告示 556・557〕。
- 11-24 マリアナ基地の B29、東京初空襲。
- 11-24 通常県会開会(～12-4)。決戦県会と称され、戦争完遂、台湾比島沖戦果感謝決議文を可決。14
- 12- 6 大阪市福島区海老江東・西両国民学校の集団疎開第 2 陣、尾道駅に到着。御調郡市国

民学校ほか9校へ分宿〔朝日 12. 8〕。

12-11 広島地区鉄道司令部，広島市に設置。463

12-11 広島県，各地区ごとに労力調整協議会を開催（～15）。今冬，600 余万人動員を計画〔朝日 12. 11〕。

12-27 広島電鉄軌道皆実線（的場～比治山下～皆実町3丁目）複線開通。27

12-27 芸備・呉・備南・三次・広島合同貯蓄の5銀行，合併覚書を交換。28

12- 大竹に海軍機関学校設置。22

12- 広島県，松根油増産推進本部を設置。'45年3月までに480万貫の採掘を計画〔朝日 12. 7〕。

この年，広島市の建物疎開400件，人員疎開1029件（4210人）。47

1945(昭和20)[乙酉]

1- 日本製鋼所広島製作所，広島市西蟹屋町の東洋紡績広島工場を買収し，分工場として一部操業を開始。50

2- 1 造幣局広島支局，佐伯郡五日市町に設置〔大蔵省告示37〕。

2- 1 広島県立工業指導所，広島県立工業研究所と改称〔告示39・42〕。

2- 1 県，10億貯蓄総攻撃運動を実施（～31）。3-31 '44年度広島県貯蓄実績12億円を突破。28

2- 8 文理科大学文科系学生に対する入営延期の措置解除。44

2-10 広島県立燃料研究所，広島市東白島町に設置〔告示51〕。

2-10 広島県貨物自動車株式会社設置。貨物自動車事業の県一本化が実現。22

2-10 広島市の衣料疎開開始（～3-31）〔中国2. 11〕。128

2-11 陸軍管区表改定施行により，広島師管，中部軍管区に編入〔軍令陸1〕。

2-13 臨時県会開会，同日閉会。望月乙也（豊田郡），第33代議長に当選。県立医学専門学校設置問題を審議。15

2-13 広島県立医学専門学校設置許可。44

2-21 広島勤労働員署，管内の軍・官代表者を招き，出勤督励隊の結成・悪質者の名簿作成などの方策を協議〔中国2. 22〕。

2- 呉海軍工廠，水中高速潜水艦「伊201」を竣工。（ブロック式溶接，水中19ノット）。83

3-19 米艦載機のべ約350機，呉軍港を中心に爆弾を投下。呉海軍諸施設に大被害。民間の死者185人。22

3-19 学童疎開強化要綱によって広島市の学童を安佐・山県・佐伯・双三・比婆の5郡に3月中に疎開させることとなる。50

3-25 広島県立戦時生産技術者養成所，福山市野上町に設置〔告示168〕。

3-31 広島市長および東・西・宇品警察署長，広島市内各町内会長にあて空襲時の大避難実施要領を示す。303

3-31 呉市の学童疎開第一陣出発〔中国3. 31〕。949

4- 1 米軍，沖縄本島に上陸。

4- 1 鉄道沿線付近を中心に故繊維（ボロ類）特別回収を実施（～4-30）。303

4- 1 広島女子高等師範学校，広島市に設置。7-21開校式。山中高等女学校は同校付属山中高等女学校となる。44

4- 1 広島県立医学専門学校設置〔告示128〕。

4- 1 広島市立工業専門学校，広島市東雲町に設置。6-9開校式。44

4- 1 広島県立上下保健所設置〔告示176〕。

4- 3 広島市の学童疎開第一陣出発〔中国4. 4〕。

4- 7 鈴木貫太郎内閣成立。

- 4- 7 総軍制発令。日本本土を鈴鹿山系で二分し、東の諸軍を第1総軍（司令部東京）、西の諸軍を第2総軍（司令部広島）が統轄。462
- 4-20 中国新聞県外版を廃止。1020
- 4-21 松村光磨、退任し、大塚惟精（前貴族院議員・陸軍司政長官）、県知事に就任。9
- 4- 吉田町ほか4か村学校組合立青年学校および郡山実践女学校、広島青年師範学校附属青年学校として移管される。44
- 5- 1 芸備・呉・備南・三次・広島合同貯蓄の5銀行合同し、（新）芸備銀行設立。28
- 5- 1 中国地方電力総合運営本部発足。29
- 5- 1 三篠・広陵・広島第一・共立・共済・広石・昭和・牛田・白島の9信用組合合併、広島市信用組合として発足（現広島信用金庫）。609
- 5- 5 B29のべ約130機、呉市広町方面を爆撃。第11海軍航空廠の大半焼失。民間の死者・行方不明32人。22
- 5- 7 ドイツ、無条件降伏。
- 5-10 尾道市・広島市・双三郡十日市町の3か所で、国民義勇隊の結成協議会を開催（～12）〔中国5.14〕。
- 5-15 資金統合銀行広島支店開設。’51-1-30廃止。28
- 5-22 広島地区特設警備隊創立式挙行。県内25地区で編成。937
- 5-23 第224師団編成され、司令部を広島市に設置。450
- 5-23 広島陸軍病院、広島第1陸軍病院・広島第2陸軍病院に分割。*
- 6- 1 広島海運局、中国海運局と改称〔勅令328〕。
- 6- 1 広島市国民義勇隊結成〔中国6.2〕。
- 6- 1 田坂寧邦、尾道市長に就任。294
- 6- 1 広島市集団疎開学童保護者慰問規定制定。936
- 6- 6 広海軍工廠、第11海軍航空廠に合併。1241
- 6- 7 広島県国民義勇隊、広島護国神社前で結成式挙行。ひきつづき、大政翼賛会広島県支部の解散式挙行〔中国6.8〕。
- 6-10 中国地方総監府を広島市に設置。庁舎は広島文理科大の校舎を使用。中国地方行政協議会を廃止〔勅令350〕。
- 6-10 大塚惟精、中国地方総監に転じ、高野源進（前大阪府次長）、県知事に就任。9
- 6-11 瀬戸内海汽船株式会社、広島市宇品町に設立。*
- 6-15 中国軍管区・第59軍の各司令部を広島市に設置（司令官兼任）。450
- 6-15 学徒に対する手榴弾の投擲、銃剣術など白兵戦技の訓練を開始。県主催学徒体錬特別措置要綱伝達講習会、関係教師を召集し、広島二中で開催〔中国6.16〕。
- 6-20 手形交換所を日本銀行に吸収。28
- 6-22 B29のべ約290機、海軍施設を中心に呉市・安芸郡音戸町を空襲。民間の死者・行方不明70人。22
- 6-29 空襲により県庁舎が罹災した際の移転計画を発表。市役所・本川国民学校・商工経済会・安芸高等女学校・福屋4階の順序で移転を計画。22
- 7- 1 B29のべ約80機、呉市を空襲（～2）。市街の大半を焼失。死者・行方不明1869人、家屋全焼2万2052戸。22
- 7- 1 尾道信用組合設立（のち尾道信用金庫）。28
- 7- 2 県知事、呉空襲に際し防空態勢の強化、職場の死守を県民に訴える。22
- 7- 2 中国地方総監府管下官衙長初会合、広島県教育会館で開催〔中国7.3〕。
- 7- 6 建築物利用統制規則第8条の規定による施行区域に三原市・尾道市・福山市を追加〔告示348〕。
- 7- 7 県庁機構改革。内政部庶務・地方・教育・社寺兵事・社会・拓務・調査の各課を廃し、内政・兵事教学・援護課設置。経済第1部農政・農産・畜産課を廃し、農務課設置。経済第2部商政・造船・金属回収課を廃し、生活物資課設置。土木部砂防課廃止。227

- 7-10 高田郡根野村下根に海軍飛行場の第1期工事完了。148
- 7-14 このころ広島市の学童疎開，ほぼ完了〔中国7.14〕。
- 7-16 アメリカ，ニューメキシコ州アラモゴードで史上初の核（プルトニウム）爆発実験に成功。
- 7-17 ポツダム会談開催。
- 7-20 日本発送電，西部地区給電指令所を広島に設置。29
- 7-24 米艦載機等のべ約870機，呉市および呉港内艦艇を爆撃。軍艦伊勢・日向，空母葛城等沈没・大破。死者・行方不明64人。22
- 7-25 逓信院西部逓信総局，広島逓信局内に設置。大阪・広島・松山・熊本の各逓信局を管理。8-30廃止。482
- 7-28 米艦載機のべ約950機およびB29・B24のべ約110機，呉市・安芸郡江田島村・御調郡土生町の軍事施設・工場を爆撃。死者・行方不明64人。広島上空ではじめてB24を撃墜。22
- 7- 三原・尾道・福山の各市で学童の縁故疎開を実施。128
- 8- 1 広島郵便局電信課を独立させ，広島電信局設置。25
- 8- 3 中国地方総監および広島県知事，広島地区司令部要請により義勇隊・学徒隊の大量投入を決定。連日義勇隊約3万人，学徒隊1万5000人の出動を命令。128
- 8- 5 広島県立医学専門学校，広島市皆実町の校舎で開校式挙行。ただちに高田郡小田村高林坊に疎開。44
- 8- 6 広島市に原子（ウラン）爆弾投下される（午前8時15分炸裂）。
- 8- 6 広島県警察部長，県下各警察署に広島市への食糧の応援，警察官・警防団員・救護班員の応援を命じる。1130
- 8- 6 午後，第2総軍司令部，独断で市内に戒厳令を施くことを決し，船舶司令官を広島警備担任司令官に任命。128
- 8- 6 夕刻（原爆投下から約9時間後），警察部長，県防空本部を比治山多聞院に設置。1130
- 8- 7 船舶司令官，広島警備命令第1号を発する。広島戦災処理を総指揮。1130
- 8- 7 県庁，広島市下柳町東警察署に移転。1130
- 8- 8 ソ連，対日宣戦布告。
- 8- 8 B29のべ約50機，福山市を空襲。市街の大半を焼失。死者・行方不明275人，家屋全焼1万0154戸。22
- 8- 8 大本営の広島爆撃調査団，広島入り。参謀本部有末精三（团长），理研仁科芳雄ら。1129
- 8- 8 陸軍省広島災害調査班，広島入り。陸軍軍医学校・臨時東京第一陸軍病院の軍医ら5人。1127
- 8- 8 大本営海軍部調査団，広島入り。1126
- 8- 9 長崎市に原子（プルトニウム）爆弾投下される（午前11時2分炸裂）。
- 8- 9 中国新聞社，本日付から代行印刷紙を頒布。口伝隊を編成し市内にニュースを流す。1020
- 8-10 日本政府，スイス政府を通じ，新型（原子）爆弾使用につきアメリカ政府に抗議〔朝日8.11〕。
- 8-10 陸海軍合同特殊爆弾研究会（広島市），新型爆弾は原子爆弾であると断定。1125
- 8-10 広島市比治山国民学校に孤児収容保育所を開設。293
- 8-11 広島地方气象台，広島管区气象台となり中国5県を管轄。'49-11-1広島地方气象台と改称。869
- 8-12 広島市宇品国民学校に戦災者収容所を開設。293
- 8-14 御前会議，ポツダム宣言受諾を決定。
- 8-15 戦争終結の詔書を放送。
- 8-15 県知事高野源進，休戦に関する告諭を発表。323

- 8-16 県、市内各所に設置された救護所の経営を引き受ける。847
- 8-17 東久邇宮稔彦内閣成立。
- 8-20 県庁、安芸郡府中町の東洋工業に移転。1130
- 8-21 広島市本川国民学校で緊急全市国民学校長会同を開催、広島市周辺部残存国民学校を利用して9月1日より授業再開を決定。50
- 8-23 『毎日新聞』、原爆爆心地域70年間生物不毛説を伝える。-24『朝日新聞』『読売報知』、75年間生物不毛説を報道。
- 8-30 中国新聞社、31日付を自力印刷。1020
- 8-30 東京帝大都築正男ら広島戦災再調査班、原子爆弾を医学的に分析するため来広。原爆の「毒素」は爆発瞬間のみで、広島居住は無害と語る〔中国9.4〕。
- 8-31 大田洋子の手記「原子爆弾を浴びて」、『朝日新聞』（大阪本社版）に全文掲載〔朝日8.31〕。
- 8-31 天皇、被爆者救護関係者を激励するため、広島市へ永積侍従を、長崎市へ久松侍従を派遣する旨沙汰〔中国9.2〕。
- 8- 広島市、犯罪防止を目的として青壮年層より自警団員を採用、広島市特設自警団設置。以後各地で自警組織結成。22
- 9- 1 中国軍管区司令部、旧広島城焼跡から佐伯郡五日市町岩国燃料廠五日市出張所跡へ移転。50
- 9- 2 GHQ、軍需生産全面停止を指令。
- 9- 2 ミズリー号上で降伏文書調印。
- 9- 3 広島県都市計画課、広島市罹災地復旧方針を発表し、仮小屋・住宅の建築を統制〔中国9.3〕。
- 9- 3 広島県主催原子爆弾症講演会、広島市で開催。東京帝大の都築正男・三宅仁が講演。1146
- 9- 3 連合軍従軍記者団広島入り。W・バーチェット記者、単独で広島入りし、広島の惨状を報告〔中国9.5〕。76
- 9- 8 呉の疎開学童の復帰開始。949
- 9- 9 マンハッタン管区調査団、広島を調査〔中国9.10〕。-12 団長ファーレルによる記者発表（東京）。原爆の持続的影響を否定。77
- 9-12 第2総軍解隊。462
- 9-12 疎開学童帰還の第一陣、広島市に帰着〔中国9.15〕。
- 9-14 文部省、学術研究会議に原子爆弾災害調査研究特別委員会を設置。1131
- 9-17 枕崎台風で大被害。死者1229人、行方不明783人、家屋全壊2127戸、同半壊3375戸、同流失1330戸、床上浸水2万4168戸、床下浸水2万8359戸、堤防決壊1252か所、田畑流失埋没3875町、同冠水1万0651町。42
- 9-18 連合軍進駐対策本部、県庁内に設置。22
- 9-18 旧総同盟幹部、因島で組合再建を呼びかける。10-4 金光平ら、組合再建第1回協議会を開催。748
- 9-19 安佐郡緑井村元村長吉本修三ら、太田川治水期成同盟を結成〔中国11.23〕。
- 9-19 GHQ、プレスコードを指令。以後、原爆関係報道が影をひそめる。
- 9-20 広島県特殊慰安協会設立。進駐軍に対する慰安施設を一元的に運営。10-7 慰安所営業開始。22
- 9-22 日米合同調査団、東京帝大で初会合。10-12 広島調査を開始。1133
- 9-24 県警察部、連合軍進駐に関する警備計画を樹立、部内に広島県警備本部を設置。22
- 9-26 米第6軍第10軍団先遣隊一行6人、呉に到着。進駐の準備開始。464
- 9-26 可部警察署長、各町村長に連合軍進駐をめぐる事故防止に関し通達。301
- 9-29 芦品郡の府中文化連盟、綱領を起草し、文化・経済・社会の3部を設置。1046
- 9-30 中国地方総監府、連合軍進駐対策連絡会議を開催。486

- 10- 1 広島地方の救護所を草津・矢賀・仁保・大芝・江波・袋町・通信病院の7か所に統合，経営を広島県より日本医療団に移す。289
- 10- 4 GHQ，政治犯釈放・特高警察全廃等を指令。
- 10- 6 県庁機構改革。内政部兵事教学課を廃止し，教学課・転用課・渉外課を設置。警察部特別高等課，国民動員課を廃止し，勤労課を設置。10-8 情報課廃止。227
- 10- 6 米第6軍第10軍団第41師団，広島県進駐を開始。-7 呉・広・海田市に本格的進駐。464
- 10- 9 幣原喜重郎内閣成立。
- 10-10 陸軍々人・軍属の復員処理等のため，広島市元陸軍運輸部内に広島上陸地支局を設置。836
- 10-10 阿久根台風により被害。死者11人，行方不明1人。田畑流失7363町，同冠水2万2255町。42
- 10-11 県知事高野源進，警視總監に転じ，中国地方総監児玉九一，県知事を兼務。9
- 10-11 マッカーサー，5大改革指令。
- 10-14 三菱三原車輛で高津正道を招き講演会を開催。745
- 10-20 海軍省，元大竹海兵団内に呉海軍復員収容部を設置。837
- 10-20 広島県内政部長，9月20日付文部次官通牒「終戦ニ伴フ教科用図書取扱方ニ関スル件」を依命通牒。以後いわゆる墨ぬり教科書使用。468
- 10-22 木原七郎，広島市長に就任。289
- 10-22 上栗頼登，中国上陸地支局・広島県・広島市の依頼により引揚孤児の収容を正式に開始（のち新生学園）。*
- 10-24 ダバオから1500人，宇品に引揚げる。836
- 10-24 国際連合正式発足。
- 10-27 児玉九一，知事兼官を免ぜられ，楠瀬常猪（前近畿地方副総監），県知事に就任。9
- 10-30 広島県立油木農学校男子部の3年生徒120人，学校に農園生産物の処分問題等につき意見書を提出し，同盟休校に突入〔中国11.5〕。
- 10- 呉海軍病院，進駐軍の接收により安浦海兵団内，ついで大竹潜水学校内に移転。471
- 11- 2 日本社会党結成。
- 11- 2 連合軍米第10軍41師団162連隊の歩兵大隊ノートン大尉以下約1000人，大津野の旧海軍航空隊施設に進駐。465
- 11- 2 福山市長，各町内会長に連合軍将兵との紛議・事故防止につとめるよう通達。467
- 11- 3 中国新聞社，安芸郡温品村の疎開工場から広島市上流川町の社屋に帰り復興祭を開催〔中国11.5〕。
- 11- 5 広島鉄道郵便局従業員組合結成。40
- 11- 6 内務省中国地方商工処理部設置。*
- 11- 6 GHQ，財閥解体指令。
- 11- 6 中国総監府を廃し，中国地方行政事務局を設置（長官楠瀬県知事）。486
- 11- 6 広島県，都市疎開者・戦災者・復員者および外地引揚者の帰農促進をはかるため，県庁内の広島県帰農対策部の業務を開始〔中国11.9〕。
- 11- 8 厚生省の指令により，広島市凱旋館内に広島県引揚民事務所設置。836
- 11- 8 賀茂郡西条町に県内初の農村青年連盟結成〔中国11.8〕。
- 11- 9 日本自由党結成。
- 11-11 中国復興財団発足。673
- 11-12 日本社会党広島支部連合会組織準備委員会，『中国新聞』に「新日本建設運動に参加せよ」を掲載〔中国11.12〕。
- 11-12 鈴木呉市長，呉海軍工廠跡に民営の平和産業工場を開設するよう政府へ陳情のため上京〔中国11.15〕。
- 11-13 広島市会全員協議会，広島市の早期復興を目的とする，全員による復興委員会の結

成およびマッカーサー元帥等に復興補助の最高率支給を要請する意見書の提出を議決〔中国 11. 16〕。

11-15 三菱広島造船所・広島機械製作所合併，広島造船所と呼称。三菱第二十製作所，広島工作機械製作所と改称。655

11-16 日本進歩党結成。

11-20 在日本朝鮮人連盟広島県本部，「朝鮮人同胞有志（広島県）ニ告グ」を『中国新聞』に掲載〔中国 11. 22〕。

11-21 日本化薬福山染料工場労働組合結成。40

11-23 中国造船労働組合因島支部（日立造船）結成。749

11-23 尾道文化協会結成。1084

11-24 厚生省，呉地方引揚援護局設置。838

11-24 米国戦略爆撃調査団一行，広島入り。289

11-27 広島鉄道局工機部で待遇改善，物資の不正配給反対，官僚的風習の払拭を要求しストライキ（～28）。745

11-28 呉市復興委員会，初会合で市に復興事務局設置を決定〔中国 12. 2〕。

11-30 海軍官制の廃止に伴い呉鎮守府廃庁。12-1 跡地に呉地方復員局開設。835

11-30 県内陸海軍応召の内地部隊関係者，復員を完了〔中国'46. 8. 17〕。

11-30 広島県，この日現在で原爆による人的被害をまとめる。一般市民の死者 7 万 8150 人，行方不明 1 万 3983 人，重軽傷者 3 万 7425 人，一般罹災者 17 万 6987 人。1128

11-30 学術研究会議原子爆弾災害調査研究特別委員会第 1 回報告会開催。1132

11-30 産業報国会広島県支部，解散を命ぜられる〔中国'46. 8. 20〕。

12- 1 陸海軍病院・傷痍軍人療養所を厚生省に移管し，国立広島療養所，国立賀茂・広島・大竹各病院新発足〔厚生省告示 142・143〕。

12- 5 日本社会党広島県支部連合会結成大会，広島市で開催。会長前田栄之助・書記長保田庄一〔中国 12. 8〕。

12- 7 広島戦災者同盟主催広島戦災者大会開催〔中国 12. 11〕。

12- 8 広島鉄道局，広の第 11 海軍航空廠跡に広島工機部広分工場設立準備を開始。'46-2-操業開始。531

12- 8 広島県戦災都市復興委員会初会合〔中国 12. 11〕。

12- 9 GHQ，農地改革を指令。

12-10 日本共産党広島地方委員会結成。760

12-10 戦災援護会総裁高松宮，広島県の戦災者ならびに引揚者救護状況を視察（～12）〔中国 12. 11〕。

12-10 芦品郡府中町で備北人民解放連盟結成大会開催。社会党高津正道，共産党岡田重夫演説。129

12-10 広島戦災者同盟，県知事に戦災者の最低生活確保を要請する決議文を提出〔中国 12. 12〕。

12-11 尾道市で日本自由党県支部結成準備会を開催〔中国 12. 15〕。

12-11 大日本教育会広島県支部，教員・市町村吏員・農業会役員を対象に民主政治の特別講習を開始〔中国 12. 11〕。

12-11 広島県災害復旧推進協力会を設け，9 月の風水害復旧事業の進捗をはかる。5

12-12 戦後初の通常県会，東洋工業株式会社内仮県会議事堂で開催（～22）。天野彦三（尾道市），第 34 代議長に当選。15

12-12 三菱三原車輛従業員組合結成。待遇改善・団体交渉権等を要求してスト突入。-22 組合に有利な条件で解決。38

12-12 浅野樹脂工業従業員組合結成。工場閉鎖反対，団体交渉権承認，賃金 2 倍増を要求してスト突入。'46-1-18 工場再開，団体交渉権承認，賃金 5 割増などの条件で解決。745

12-13 進駐軍パブスト大尉ら，三原市に出張し，三原市学務当局に対し職員・児童の自由

意志尊重と自発的活動の奨励などを注意〔中国 12. 14〕。

12-14 厚生省，呉地方引揚援護局を廃止し，大竹地方引揚援護局および同局宇品出張所設置。836

12-15 GHQ，呉市旧工廠施設使用につき指令。632

12-15 県，この日から年末までを新日本建設国民貯蓄増強期間とし，貯蓄運動を展開〔中国 12. 17〕。

12-17 広島県，広島地区進駐軍の通告(16日)により，全国にさきがけ，約700人の娼妓解放を指令〔中国 12. 22〕。

12-18 県庁機構改革。内政部教学課を廃し，学務課・社会教育課を設置。警察部輸送課・経済保安課・刑事課を廃し，警察部長書記室・監察室・警備課・防犯課を設置。227

12-18 広島県呉渉外事務所を設置。連合軍の進駐に伴う渉外事務を処理。'47-5-2 広島県呉渉外局に昇格〔告示 382・'46年告示 159〕。

12-22 広島銀行協会創立総会開催。28

12-22 労働組合法公布。

12-23 広島戦災児育成所，佐伯郡五日市町で事業開始〔中国'46. 1. 23〕。

12-24 石原善三郎，尾道市長に就任。294

12-26 長田新，広島文理科大学長に就任。44

12-26 御調郡久井村で久井村農民委員会結成。このころ供米管理闘争を行う。38

12-28 占領軍将兵との物品交換などを禁ずる物々交換等取締規則公布施行〔県令 49〕。

12-28 広島県海田市地方渉外協会，県下一元的な日米交歓運動の展開を期し，新日本協会結成式を海田市町公会堂で挙行〔中国 12. 25〕。

12- 大竹市小島新開に朝鮮人学校，国語講習会創立。1019

この年，赤痢流行。患者 5148 人，死者 249 人。864